

第2章 調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査

～経年比較について～

*平成16年度から平成28年度までは、調査の対象が64歳以下であったが、令和元年度は調査の対象が65歳以上も含むこととなった。そのため、令和元年度の調査結果を64歳以下に限り、経年変化は平成16年度から平成28年度との比較とする。

注) 選択肢の表記は令和元年度を基本とした。選択肢が当該年度調査にない場合は「-」と表記している。

1 基本属性

(1) 性別・年齢(問1)

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

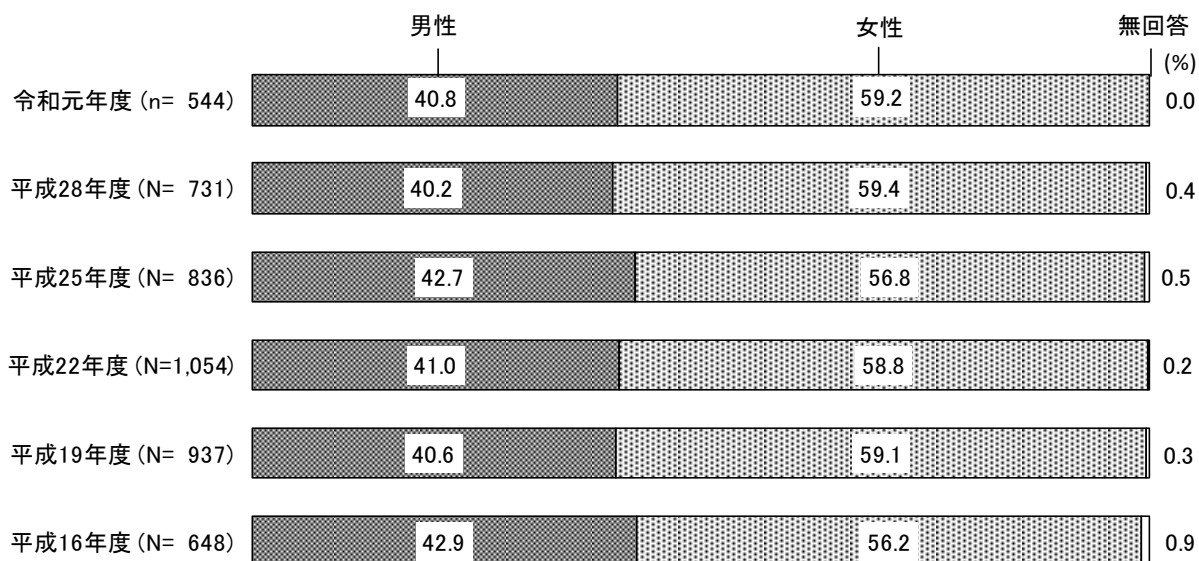
また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

- 性別は、男性が4割、女性が6割である。
- **経年**で比較すると、令和元年度は、男女比は、平成16年度から平成28年度までの調査とほぼ同様の傾向であり、性別は女性が男性に比べて約20ポイント高くなっている。

図表 2-1 性別(全体)



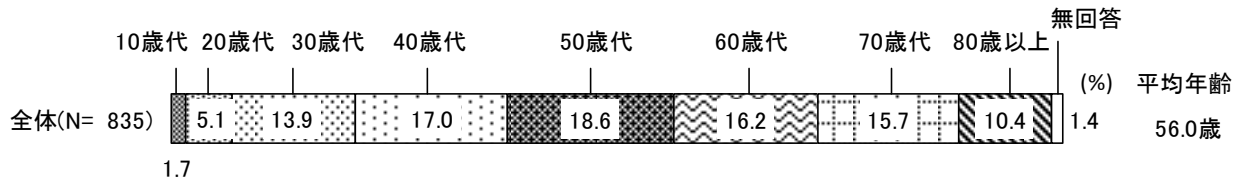
図表 2-2 性別(全体)【経年比較】



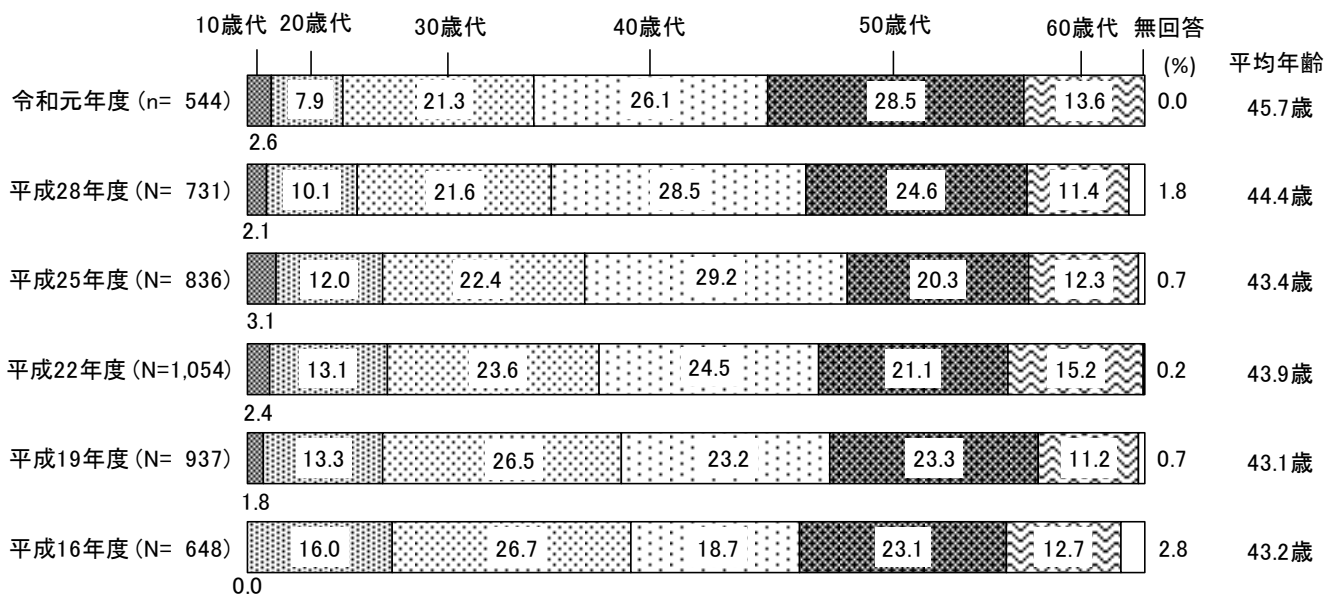
II アンケート調査の結果

- 平均年齢は、56.0歳である。
- **経年**で比較すると、令和元年度は45.7歳で、過去6回の調査で最も高くなっている。

図表 2-3 年齢（全体）



図表 2-4 年齢（全体）【経年比較】

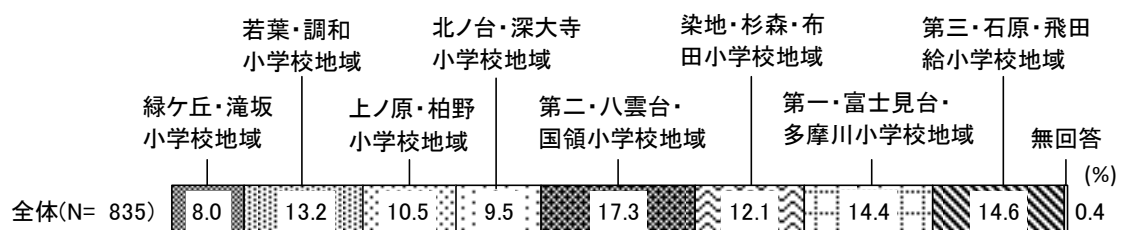


(2) 居住地域（問 2（1））

問 2（1） お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に、【町名】、【丁目】をご記入ください。

- 居住地域は、「第二・八雲台・国領小学校地域（17.3%）」が最も多く、「第三・石原・飛田給小学校地域（14.6%）」、「第一・富士見台・多摩川小学校地域（14.4%）」が続いている。

図表 2-5 居住地域（全体）



※それぞれの地域の対応する町名・丁目及び小学校区は、6ページを参照。

(3) お住まいの近くにある公立小学校 (問2 (2))

問2 (2) お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)

○ 住まいの近くにある公立小学校は、「第一小学校 (7.3%)」が最も多く、「若葉小学校 (6.8%)」, 「上ノ原小学校 (6.7%)」と続いている。「分からない」は 5.7% である。

図表 2-6 お住まいの近くにある公立小学校 (全体)

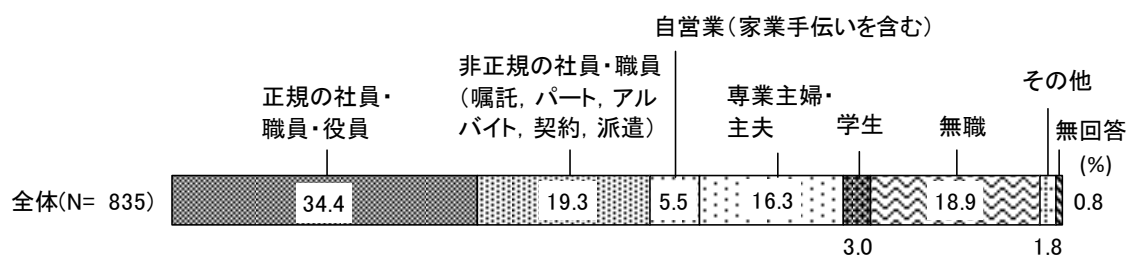
	第一小学校	第二小学校	第三小学校	八雲台小学校	富士見台小学校	滝坂小学校	深大寺小学校	上ノ原小学校	石原小学校	若葉小学校	緑ヶ丘小学校
全体(N= 835)	7.3	5.0	5.4	5.5	2.6	3.7	3.0	6.7	4.3	6.8	3.0
	染地小学校	北ノ台小学校	多摩川小学校	杉森小学校	飛田給小学校	柏野小学校	国領小学校	布田小学校	調和小学校	分からない	無回答
全体(N= 835)	2.4	5.9	3.6	4.4	3.6	3.7	5.4	4.6	5.1	5.7	2.3

(4) 職業 (問3)

問3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに○)

○ 職業は、「正規の社員・職員・役員 (34.4%)」が最も多く、「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) (19.3%)」, 「専業主婦・主夫 (16.3%)」が続いている。「無職」は 18.9% である。

図表 2-7 職業 (全体)



2 住まいや居住の様子

(1) 家族構成 (問4)

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

- 家族構成は、**全体**では、「夫婦と子ども (38.5%)」が最も多く、「夫婦のみ (27.7%)」、「ひとり暮らし (13.9%)」が続いている。
- **年代別**にみると、10歳代から50歳代で「夫婦と子ども」、60歳代から80歳以上で「夫婦のみ」が最も多くなっている。また、20歳代と80歳以上で「ひとり暮らし」が約3割で、全体と比べ10ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、上ノ原・柏野小学校地域では「ひとり暮らし (3.4%)」が全体と比べて10.5ポイント低くなっている。

図表 2-8 家族構成 (全体, 年代別, 福祉圏域別)

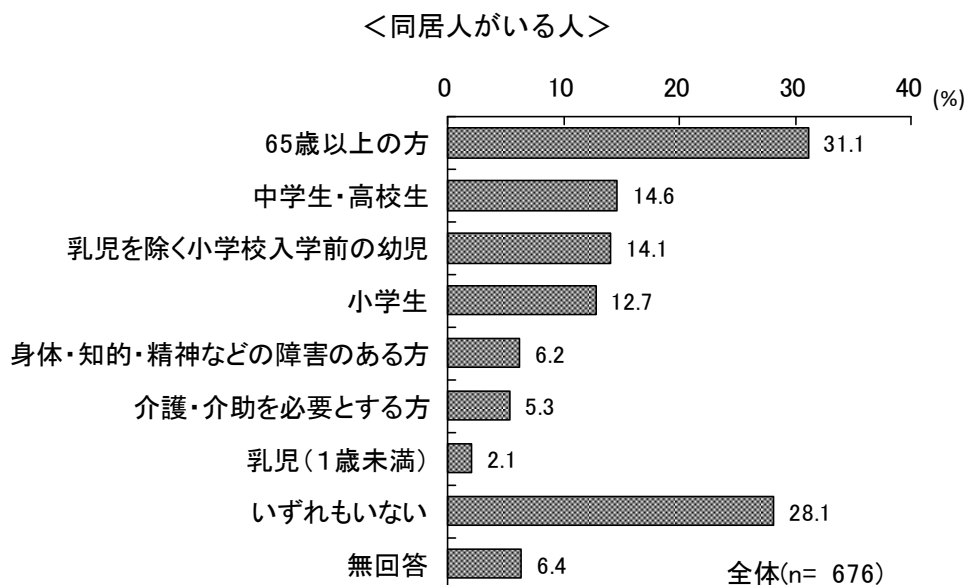
		(%)								
		ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦とその親	夫婦と子ども	が18歳以上) ひとり親と子ども	が18歳未満) ひとり親と子ども	三世同居	その他	無回答
全	体 (N=835)	13.9	27.7	1.3	38.5	6.6	0.4	6.5	4.3	0.8
年代別	10歳代 (n=14)	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	20歳代 (n=43)	27.9	4.7	0.0	41.8	7.0	0.0	7.0	11.6	0.0
	30歳代 (n=116)	14.7	13.8	0.9	58.6	1.7	0.9	3.4	6.0	0.0
	40歳代 (n=142)	9.9	12.7	0.7	60.6	4.2	0.7	7.7	3.5	0.0
	50歳代 (n=155)	9.7	22.6	3.2	47.0	6.5	0.6	6.5	3.9	0.0
	60歳代 (n=135)	8.9	45.1	2.2	28.9	6.7	0.0	5.2	3.0	0.0
	70歳代 (n=131)	15.3	50.4	0.0	14.5	9.9	0.0	6.1	1.5	2.3
	80歳以上 (n=87)	29.9	34.7	1.1	5.7	9.2	0.0	10.3	8.0	1.1
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=67)	16.4	23.9	0.0	37.2	7.5	0.0	7.5	7.5	0.0
	若葉・調和 (n=110)	10.9	30.0	1.8	42.8	4.5	0.9	6.4	1.8	0.9
	上ノ原・柏野 (n=88)	3.4	28.4	6.8	47.8	3.4	0.0	5.7	4.5	0.0
	北ノ台・深大寺 (n=79)	13.9	29.2	0.0	27.8	10.1	0.0	10.1	7.6	1.3
	第二・八雲台・国領 (n=145)	19.3	22.1	0.7	37.9	7.6	0.0	6.9	4.1	1.4
	染地・杉森・布田 (n=101)	12.9	32.7	0.0	42.4	5.0	0.0	5.0	2.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	15.8	33.3	0.0	34.3	7.5	0.8	3.3	5.0	0.0
	第三・石原・飛田給 (n=122)	14.8	23.0	1.6	38.5	7.4	0.8	8.2	4.1	1.6

(2) 一緒に暮らしている人 (問4-1)

問4-1 問4で2~7(同居人がいる世帯)と答えた方におたずねします。現在、あなた自身、もしくは同居のご家族に次のような方はいますか。(いくつでも○)

- 一緒に暮らしている人は、「65歳以上の方(31.1%)」が最も多く、「中学生・高校生(14.6%)」、「乳児を除く小学校入学前の幼児(14.1%)」が続いている。「いずれもない」は28.1%である。

図表2-9 一緒に暮らしている人(全体:複数回答)



(3) 手助けを頼める親族・知人の有無 (問5)

問5 あなたのお住まいの近く(おおむね徒歩30分以内)には、ちょっとした手助けが必要などきに、助け合ったりする親族や友人・知人がいますか。(1つに○)

- 手助けを頼める親族・知人の有無は、**全体**では、「特に頼める人はいない(30.3%)」が最も多くなっている。
- **性・年代別**にみると、「特に頼める人はいない」と答えた人の割合は男性・30~49歳が40.9%で4割を超え、最も高くなっている。一方、「近くに気軽に頼める人がいる」と答えた人の割合は男性・18~29歳が38.7%、女性・18~29歳が38.4%、女性・65歳以上が39.2%で全体と比べて10ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「近くに気軽に頼める人がいる」と答えた人の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域と第一・富士見台・多摩川小学校地域が3割を超え、全体より6ポイント以上高くなっている。

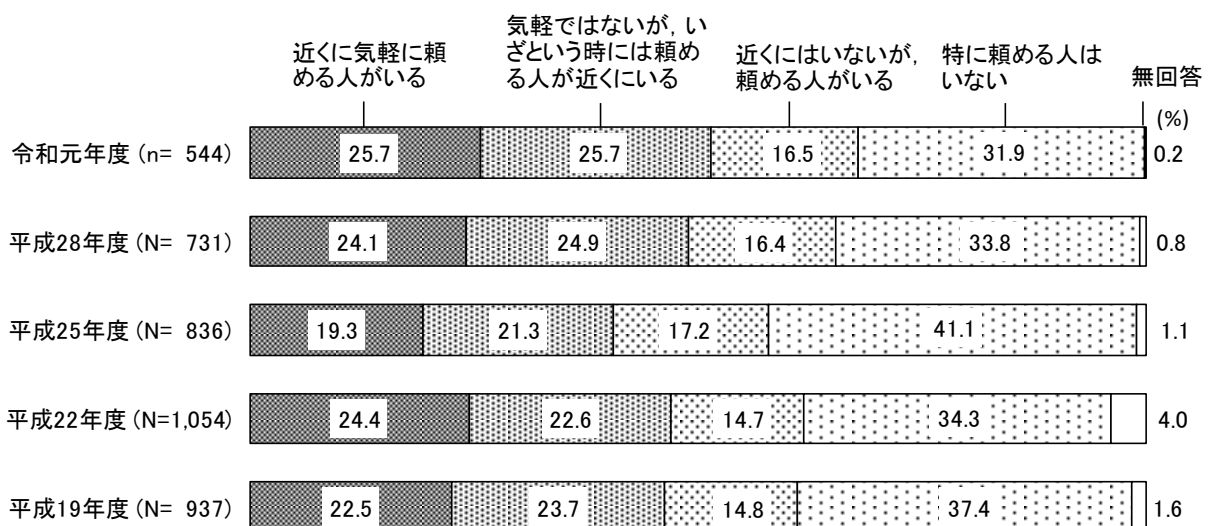
II アンケート調査の結果

図表 2-10 手助けを頼める親族・知人の有無（全体、性・年代別、福祉圏域別）

			(%)				
			近くにいるが、気軽に頼める	気軽に頼める人が近くにいるが、いざという時には頼める人が近くにいる	近くにはいないが、頼める人がいる	特に頼める人はいない	無回答
全 体 (N=835)			28.0	23.7	16.3	30.3	1.7
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	38.7	16.1	22.6	22.6	0.0
		30～49歳 (n= 98)	20.4	22.4	15.3	40.9	1.0
		50～64歳 (n= 93)	17.2	28.0	21.5	33.3	0.0
		65歳以上 (n=116)	22.4	22.4	16.4	33.6	5.2
	女性	18～29歳 (n= 26)	38.4	23.1	23.1	15.4	0.0
		30～49歳 (n=160)	29.4	26.9	13.1	30.6	0.0
		50～64歳 (n=136)	25.7	27.9	15.4	31.0	0.0
		65歳以上 (n=161)	39.2	16.8	16.1	24.2	3.7
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	29.9	10.4	19.4	37.3	3.0	
	若葉・調和 (n=110)	27.3	20.9	19.1	30.9	1.8	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	18.2	36.4	15.9	28.4	1.1	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	34.2	25.3	13.9	24.1	2.5	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	26.2	19.3	19.3	33.8	1.4	
	染地・杉森・布田 (n=101)	27.7	31.7	10.9	26.7	3.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	34.2	23.3	11.7	30.0	0.8	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	26.2	23.0	19.7	31.1	0.0	

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成19年度から平成28年度までとほぼ同様の傾向で、「特に頼める人はいない」が最も多くなっている。また、「近くに気軽に頼める人がいる」と「気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる」の割合は、同率で25.7%であり、過去5回の調査で最も高くなっている。

図表 2-11 手助けを頼める親族・知人の有無（全体）【経年比較】

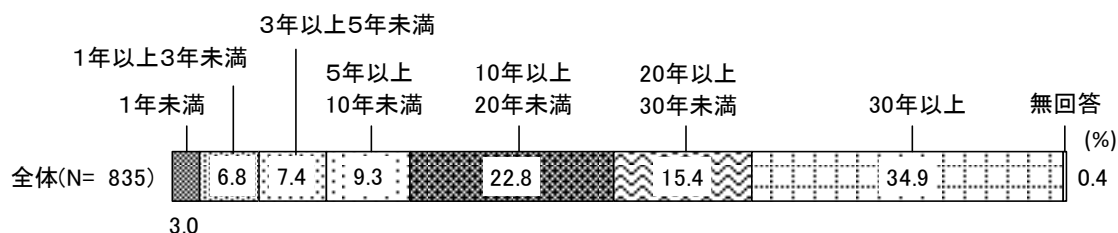


(4) 居住年数 (問6)

問6 あなたは調布市に何年お住まいですか。(1つに○)

- 居住年数は、「30年以上(34.9%)」が最も多く、「10年以上20年未満(22.8%)」, 「20年以上30年未満(15.4%)」が続いている。「1年未満」は3.0%である。

図表 2-12 居住年数 (全体)



(5) 住居形態 (問7)

問7 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

- 住居形態は、**全体**では、「持ち家の一戸建て(41.6%)」が最も多く、「持ち家の集合住宅(26.5%)」, 「民間賃貸の集合住宅(19.9%)」が続いている。
- **福祉圏域別**にみると、第二・八雲台・国領小学校地域では「民間賃貸の集合住宅(32.4%)」, 第一・富士見台・多摩川小学校地域では「持ち家の集合住宅(49.2%)」が最も多くなっている。それ以外の地域では「持ち家の一戸建て」が最も多く、特に北ノ台・深大寺小学校地域で70.9%と高くなっている。

図表 2-13 住居形態 (全体, 福祉圏域別)

		持ち家の一戸建て	持ち家の集合住宅	民間賃貸の一戸建て	民間賃貸の集合住宅	住宅など 公営住宅(市営・都営)	社宅・公務員住宅など	その他	無回答
全 体 (N=835)		41.6	26.5	1.2	19.9	7.1	1.4	1.8	0.5
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=67)	32.8	19.4	1.5	29.9	10.4	1.5	3.0	1.5
	若葉・調和 (n=110)	51.8	16.4	0.9	17.3	9.1	1.8	2.7	0.0
	上ノ原・柏野 (n=88)	46.6	33.0	2.3	13.6	2.3	1.1	0.0	1.1
	北ノ台・深大寺 (n=79)	70.9	1.3	2.5	13.9	7.6	1.3	2.5	0.0
	第二・八雲台・国領 (n=145)	23.4	28.3	0.7	32.4	11.7	1.4	2.1	0.0
	染地・杉森・布田 (n=101)	46.5	26.7	1.0	17.8	5.0	1.0	2.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	27.5	49.2	0.0	18.3	1.7	0.8	1.7	0.8
	第三・石原・飛田給 (n=122)	46.8	27.0	1.6	13.1	8.2	2.5	0.8	0.0

3 地域生活の状況

(1) 近所づきあいの状況 (問8)

問8 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

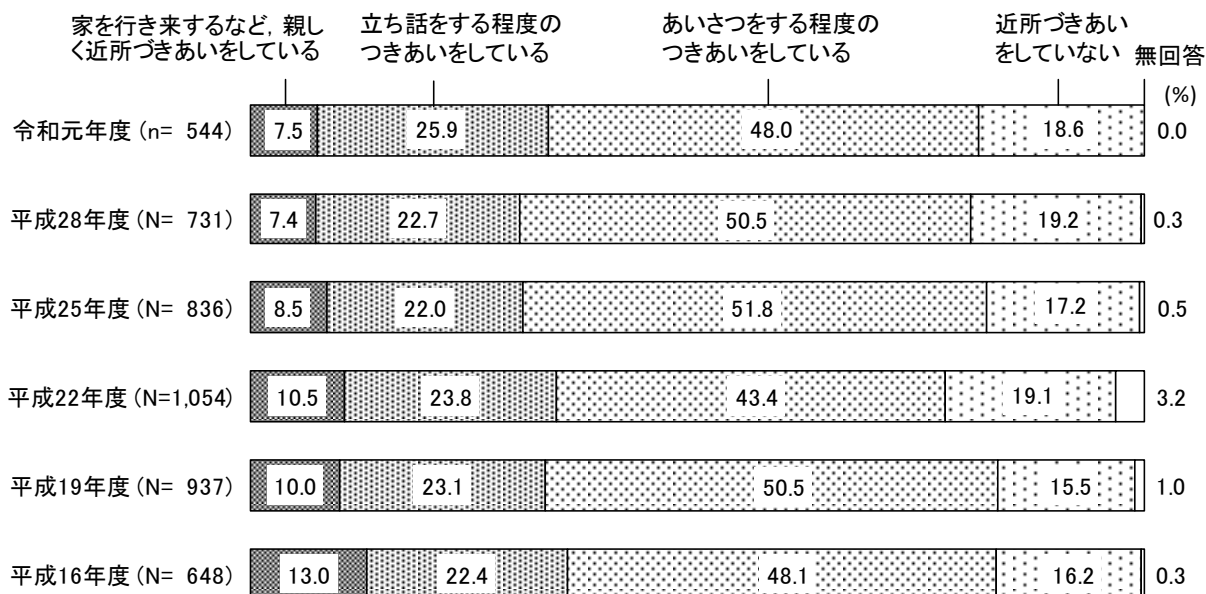
- 近所づきあいの状況は、**全体**では、「あいさつをする程度のつきあいをしている (42.7%)」が最も多くなっている。
- **性別**にみると、女性は、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」、「立ち話をする程度のつきあいをしている (13.8%)」の割合が全体と比べ高くなっている。
- **年代別**にみると、20歳代から70歳代まで年代が上がるほど「近所づきあいをしていない」の割合が低くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、若葉・調和小学校地域で「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている (16.4%)」の割合が全体と比べ6ポイント高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「近所づきあいをしていない」が 30.2% であり、全体と比べて15ポイント程度高くなっている。

図表 2-14 近所づきあいの状況 (全体, 性別, 年代別, 福祉圏域別, 家族構成別)

		(%)				
		きど家 あ、を い親 をし しく 来 て近 す い所 る づな	いの立 るつ ち き話 あを いす を る し 程 て度	て度あ いのい るつき きつ あを いす を る し 程	て近 い所 ない づ き あ い を し	無 回 答
全	体 (N=835)	10.4	31.5	42.7	15.4	0.0
性 別	男性 (n=344)	4.9	27.6	49.5	18.0	0.0
	女性 (n=485)	13.8	34.6	38.2	13.4	0.0
年 代 別	10歳代 (n= 14)	0.0	21.4	64.3	14.3	0.0
	20歳代 (n= 43)	0.0	9.3	44.2	46.5	0.0
	30歳代 (n=116)	7.8	19.0	47.3	25.9	0.0
	40歳代 (n=142)	7.0	27.5	49.3	16.2	0.0
	50歳代 (n=155)	11.6	27.1	47.8	13.5	0.0
	60歳代 (n=135)	7.4	42.9	39.3	10.4	0.0
	70歳代 (n=131)	17.6	40.4	37.4	4.6	0.0
	80歳以上 (n= 87)	17.2	44.9	26.4	11.5	0.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	7.5	25.4	40.2	26.9	0.0
	若葉・調和 (n=110)	16.4	30.0	46.3	7.3	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 88)	3.4	35.2	50.0	11.4	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	13.9	36.7	38.0	11.4	0.0
	第二・八雲台・国領 (n=145)	11.0	26.9	42.1	20.0	0.0
	染地・杉森・布田 (n=101)	12.9	33.7	37.6	15.8	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	8.3	33.3	42.6	15.8	0.0
	第三・石原・飛田給 (n=122)	9.0	32.0	43.4	15.6	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=116)	13.8	19.8	36.2	30.2	0.0
	その他 (n=712)	9.4	33.4	44.1	13.1	0.0

- **経年**で比較すると、近所づきあいの状況は、平成16年度から令和元年度まで、「あいさつをする程度のつきあいをしている」が最も多く、4～5割を占めている。

図表 2-15 近所づきあいの状況（全体）【経年比較】



(2) 近所づきあいをしていない理由（問8-1）

問8-1 問8で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも○）

- 日ごろの近所づきあいについて、「近所づきあいをしていない」と答えた人にその理由をたずねたところ、**全体**では、「普段つきあう機会がないから（78.3%）」が最も多く、「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから（29.5%）」、「あまりかかわりを持ちたくないから（18.6%）」が続いている。
- **年代別**にみると、すべての年代で「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっている。20歳代で「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから（45.0%）」、30歳代で「普段つきあう機会がないから（90.0%）」、50歳代で「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから（47.6%）」と「普段つきあう機会がないから（90.5%）」、60歳代で「引っ越してきて間もないから（28.6%）」、「あまりかかわりを持ちたくないから（42.9%）」が全体と比べて11ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、すべての地域で「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっており、その割合は特に染地・杉森・布田小学校地域と上ノ原・柏野小学校地域で高くなっている。また、上ノ原・柏野小学校地域で「あまりかかわりを持ちたくないから（30.0%）」が全体と比べて11ポイント以上高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「普段つきあう機会がないから（80.0%）」が最も多く、「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから（45.7%）」は、全体と比べて16.2ポイント高くなっている。

Ⅱ アンケート調査の結果

図表 2-16 近所づきあいをしていない理由（全体，年代別，福祉圏域別，家族構成別：複数回答）

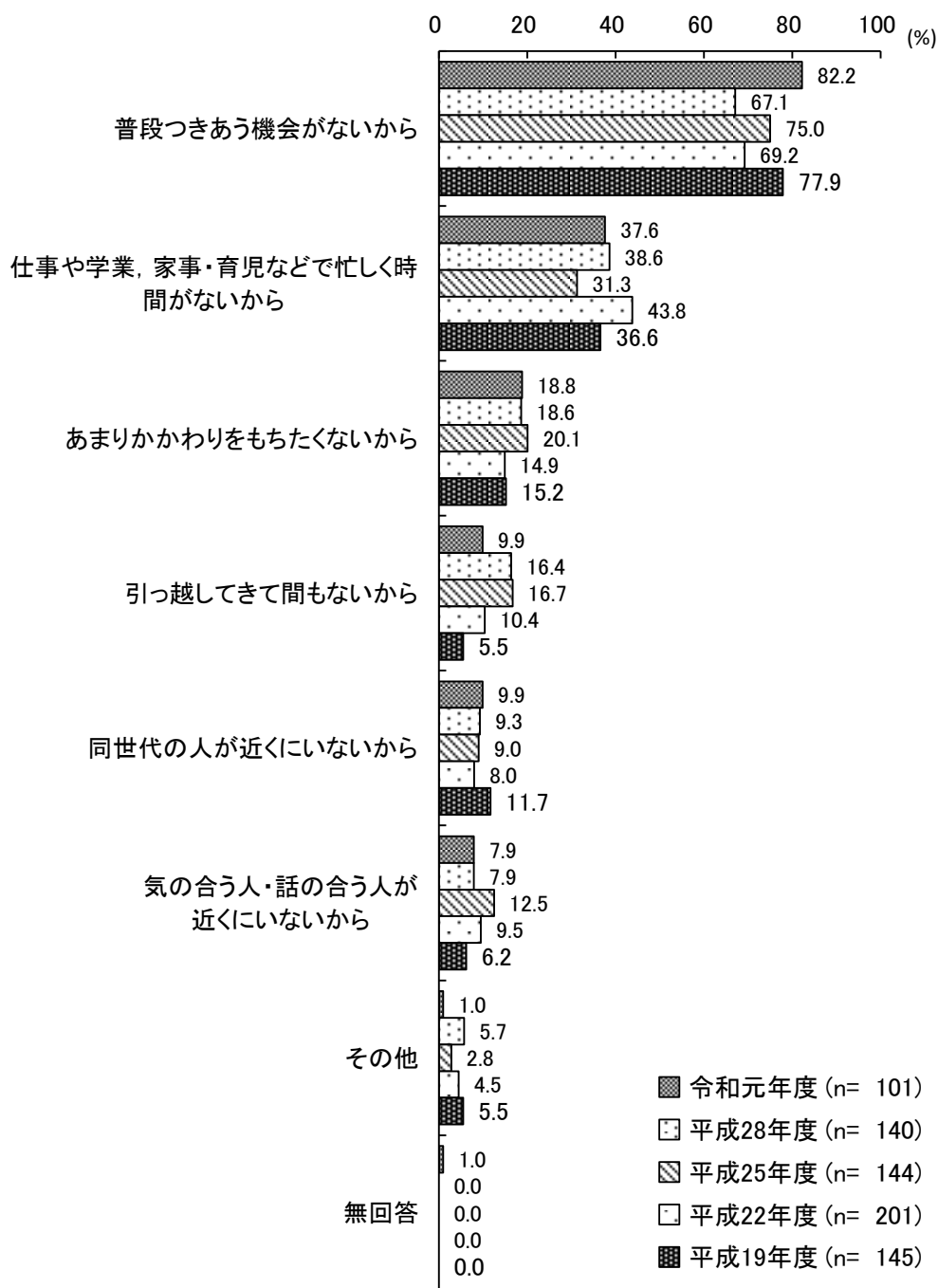
<「近所づきあいをしていない」と回答した人>

(%)

		問育仕 が な い か ら	引 つ 越 し て き て 間 も	な 普 段 つ き あ う 機 会 が	い 同 な い 代 の 人 が 近 く に	か う 人 が 近 く に 話 の 合	ち あ ま り か か わ り を も	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=129)	29.5	9.3	78.3	9.3	9.3	18.6	3.9	2.3
年 代 別	10歳代 (n= 2)	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n= 20)	45.0	0.0	80.0	10.0	0.0	20.0	0.0	5.0
	30歳代 (n= 30)	30.0	6.7	90.0	6.7	0.0	10.0	0.0	0.0
	40歳代 (n= 23)	26.1	13.0	69.6	4.3	8.7	26.1	0.0	0.0
	50歳代 (n= 21)	47.6	9.5	90.5	19.0	19.0	19.0	0.0	0.0
	60歳代 (n= 14)	21.4	28.6	71.4	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0
	70歳代 (n= 6)	0.0	16.7	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n= 10)	0.0	0.0	50.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 18)	11.1	5.6	72.2	11.1	11.1	27.8	5.6	11.1
	若葉・調和 (n= 8)	62.5	0.0	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	上ノ原・柏野 (n= 10)	20.0	0.0	100.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 9)	33.3	0.0	55.6	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 29)	34.5	17.2	79.3	6.9	13.8	24.1	0.0	0.0
	染地・杉森・布田 (n= 16)	31.3	0.0	93.8	12.5	18.8	12.5	0.0	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 19)	31.6	15.8	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	第三・石原・飛田給 (n= 19)	26.3	15.8	68.4	0.0	5.3	21.1	10.5	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 35)	45.7	8.6	80.0	8.6	2.9	17.1	2.9	0.0
	その他 (n= 93)	23.7	9.7	78.5	9.7	11.8	19.4	4.3	2.2

- **経年**で比較すると、平成19年度から令和元年度まで「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっており、「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから」、「あまりかかわりをもたたくないから」が続いている。
- また、令和元年度は「普段つきあう機会がないから（82.2%）」が8割を超え、過去5回の調査で最も高くなっている。

図表 2-17 近所づきあいをしていない理由（全体：複数回答）【経年比較】
 <「近所づきあいをしていない」と回答した人>



(3) 自治会の有無 (問9)

問9 あなたのお住まいの地域には、自治会がありますか。(1つに○)

- 自治会の有無は、**全体**では、「ある (56.6%)」が半数を超えている一方、「分からない (32.3%)」が約3割を占めている。
- **年代別**にみると、「ある」の割合は20歳代から年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で75.9%となっている。また、「分からない」が20歳代で62.8%で6割を超えて最も高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、「ある」の割合は第三・石原・飛田給小学校地域が68.0%で最も高く、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で40.3%と最も低くなっている。また、緑ヶ丘・滝坂小学校地域では「分からない (49.2%)」が約5割と高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「分からない」が47.4%と高くなっている。

図表2-18 自治会の有無 (全体, 年代別, 福祉圏域別, 家族構成別)

			(%)			
			ある	ない	分からない	無回答
全 体		(N=835)	56.6	10.3	32.3	0.8
年代別	10歳代	(n= 14)	42.9	7.1	50.0	0.0
	20歳代	(n= 43)	34.9	2.3	62.8	0.0
	30歳代	(n=116)	36.2	6.9	56.9	0.0
	40歳代	(n=142)	45.0	9.2	45.1	0.7
	50歳代	(n=155)	53.5	12.3	34.2	0.0
	60歳代	(n=135)	67.5	13.3	18.5	0.7
	70歳代	(n=131)	73.3	12.2	12.2	2.3
	80歳以上	(n= 87)	75.9	11.5	11.5	1.1
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂	(n= 67)	40.3	9.0	49.2	1.5
	若葉・調和	(n=110)	60.0	5.5	34.5	0.0
	上ノ原・柏野	(n= 88)	56.9	13.6	29.5	0.0
	北ノ台・深大寺	(n= 79)	67.1	7.6	22.8	2.5
	第二・八雲台・国領	(n=145)	46.2	11.0	42.1	0.7
	染地・杉森・布田	(n=101)	62.3	12.9	23.8	1.0
	第一・富士見台・多摩川	(n=120)	51.7	13.3	34.2	0.8
	第三・石原・飛田給	(n=122)	68.0	9.0	23.0	0.0
家族構成別	ひとり暮らし	(n=116)	50.0	2.6	47.4	0.0
	その他	(n=712)	57.6	11.7	29.9	0.8

(4) 自治会の加入状況 (問9-1)

問9-1 問9で「1. ある」と答えた方におたずねします。
あなたは自治会に加入していますか。(1つに○)

- 自治会が「ある」と答えた人に、自治会に加入しているかどうかたずねたところ、**全体**では、「加入している (71.5%)」が7割を超えている。
- **年代別**にみると、「加入している」の割合は30歳代から80歳以上まで年代が上がるにつれて、割合が高くなっている。
- **福祉圏域別**にみて、「加入している」の割合は若葉・調和小学校地域で77.3%と最も高く、北ノ台・深大寺小学校地域で58.5%と最も低くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしの「加入している」の割合は77.6%で、全体に比べ6.1ポイント高くなっている。

図表 2-19 自治会の加入状況 (全体, 年代別, 福祉圏域別, 家族構成別)

<自治会が「ある」と回答した人>

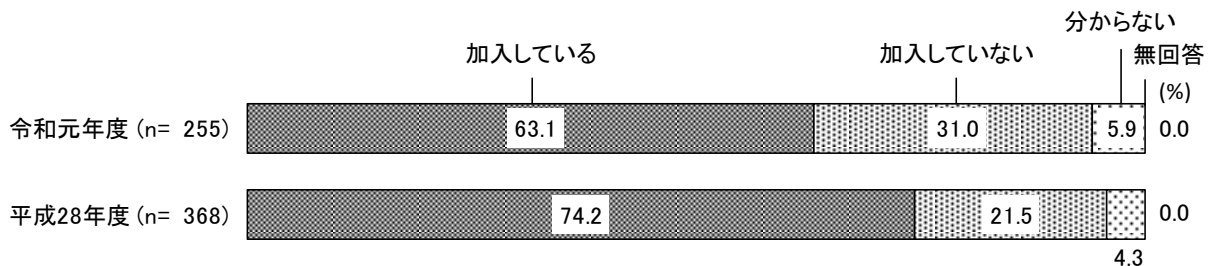
			加入している	加入していない	分からない	無回答
			(%)			
全 体		(n=472)	71.5	23.9	4.4	0.2
年代別	10歳代	(n= 6)	66.7	0.0	33.3	0.0
	20歳代	(n= 15)	53.4	33.3	13.3	0.0
	30歳代	(n= 42)	33.3	57.2	9.5	0.0
	40歳代	(n= 64)	64.0	34.4	1.6	0.0
	50歳代	(n= 83)	72.3	24.1	3.6	0.0
	60歳代	(n= 91)	74.7	19.8	5.5	0.0
	70歳代	(n= 96)	81.2	16.7	2.1	0.0
	80歳以上	(n= 66)	86.4	9.1	3.0	1.5
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂	(n= 27)	74.1	22.2	3.7	0.0
	若葉・調和	(n= 66)	77.3	19.7	3.0	0.0
	上ノ原・柏野	(n= 50)	76.0	20.0	4.0	0.0
	北ノ台・深大寺	(n= 53)	58.5	37.7	3.8	0.0
	第二・八雲台・国領	(n= 67)	64.2	25.4	10.4	0.0
	染地・杉森・布田	(n= 63)	74.6	20.6	3.2	1.6
	第一・富士見台・多摩川	(n= 62)	69.3	22.6	8.1	0.0
	第三・石原・飛田給	(n= 83)	75.9	24.1	0.0	0.0
家族構成別	ひとり暮らし	(n= 58)	77.6	13.8	8.6	0.0
	その他	(n=410)	70.3	25.6	3.9	0.2

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度の「加入している」の割合は 63.1%となっており、平成 28 年度に比べ 11.1 ポイント低くなっている。

図表 2-20 自治会の加入状況（全体）【経年比較】

<自治会が「ある」と回答した人>



(5) 自治会に加入していない理由（問9-2）

問9-2 問9-1で「2. 加入していない」と答えた方におたずねします。
加入していない理由は何ですか。（いくつでも○）

- 自治会に「加入していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、**全体**では、「メリットを感じないから (27.4%)」が最も多く、「時間がないから (24.8%)」と「きっかけがないから (24.8%)」が続いている。また、「その他」として、お誘いがいないことや、マンションに任せているなどの理由を挙げる人が多い。
- **年代別**にみると、30歳代で「メリットを感じないから (41.7%)」、40歳代で「時間がないから (36.4%)」と「きっかけがないから (36.4%)」、50歳代で「時間がないから (35.0%)」がそれぞれ最も多くなっている。
- **福祉圏域別**でみると、染地・杉森・布田小学校地域で「メリットを感じないから (46.2%)」と「役割を果たせないから (46.2%)」、若葉・調和小学校地域で「時間がないから (38.5%)」と「人づきあいが面倒だから (23.1%)」、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「きっかけがないから (35.7%)」が全体と比べ 10 ポイント以上高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「きっかけがないから (37.5%)」が最も多く、全体と比べ 12.7 ポイント高くなっている。

図表 2-21 自治会に加入していない理由（全体、年代別、福祉圏域別、家族構成別：複数回答）

<自治会があるが「加入していない」と回答した人>

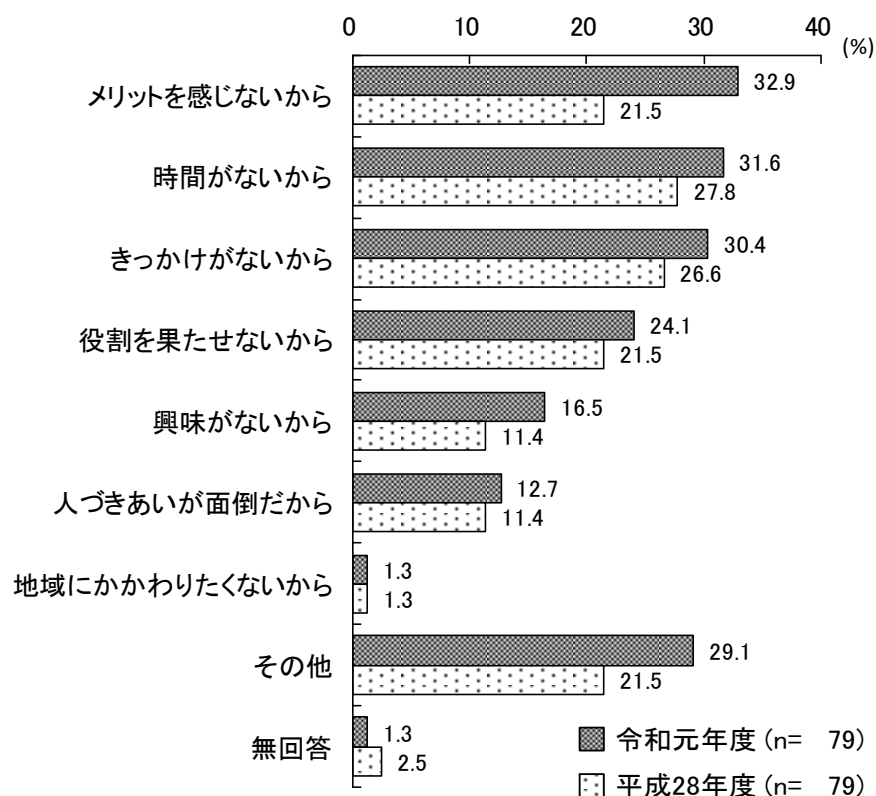
(%)

		から メリ ット を 感 じ な い	時 間 が な い か ら	き つ か け が な い か ら	か ら 人 づ き あ い が 面 倒 だ	興 味 が な い か ら	な い 地 域 に か か わ り た く	ら 役 割 を 果 た せ な い か	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=113)	27.4	24.8	24.8	10.6	15.0	0.9	23.9	33.6	0.9
年 代 別	10歳代 (n= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n= 5)	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	30歳代 (n= 24)	41.7	33.3	33.3	8.3	12.5	0.0	25.0	29.2	0.0
	40歳代 (n= 22)	31.8	36.4	36.4	22.7	22.7	4.5	27.3	31.8	0.0
	50歳代 (n= 20)	25.0	35.0	25.0	10.0	20.0	0.0	25.0	30.0	0.0
	60歳代 (n= 18)	16.7	0.0	16.7	5.6	11.1	0.0	11.1	44.4	5.6
	70歳代 (n= 16)	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0
	80歳以上 (n= 6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 6)	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	若葉・調和 (n= 13)	30.8	38.5	23.1	23.1	0.0	0.0	15.4	23.1	7.7
	上ノ原・柏野 (n= 10)	30.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 20)	25.0	25.0	15.0	10.0	15.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	第二・八雲台・国領 (n= 17)	29.4	29.4	29.4	5.9	23.5	0.0	23.5	41.2	0.0
	染地・杉森・布田 (n= 13)	46.2	30.8	23.1	7.7	23.1	0.0	46.2	15.4	0.0
	第一・富士見台・多摩川 (n= 14)	0.0	7.1	35.7	7.1	7.1	0.0	14.3	42.9	0.0
	第三・石原・飛田給 (n= 20)	35.0	20.0	25.0	10.0	20.0	5.0	20.0	35.0	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n= 8)	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	その他 (n=105)	28.6	24.8	23.8	11.4	16.2	1.0	25.7	34.3	1.0

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度は「メリットを感じないから（32.9%）」が最も多く、「時間がないから（31.6%）」、「きっかけがないから（30.4%）」となっている。平成28年度と比べると、順位の入替えはあるものの、上位3位は同様の項目となっている。
- また、令和元年度は平成28年度より「地域にかかわりたくないから」以外の項目で割合が高くなっており、特に「メリットを感じないから（32.9%）」は11.4ポイント高くなっている。

図表 2-22 自治会に加入していない理由（全体：複数回答）【経年比較】
 <自治会があるが「加入していない」と回答した人>

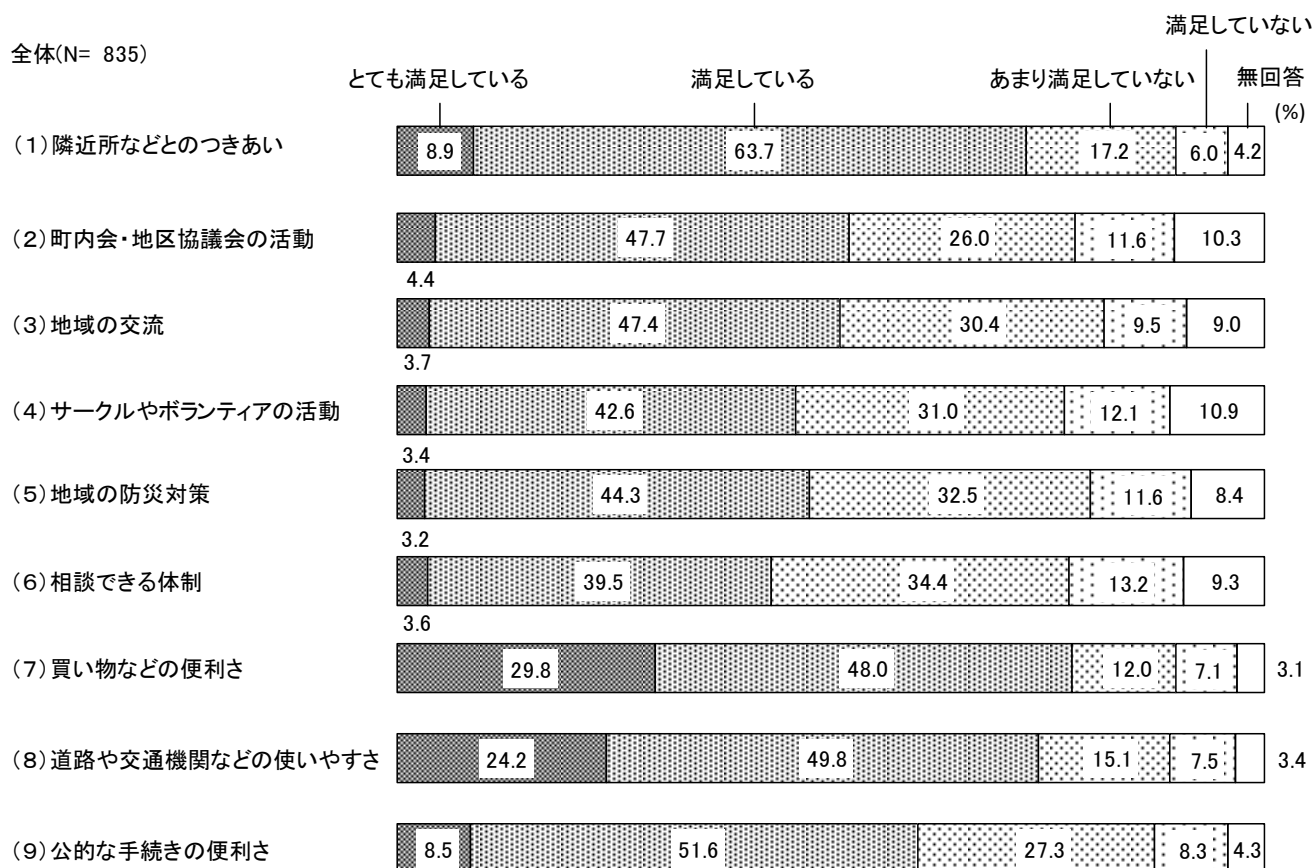


(6) 地域の暮らしの満足度（問10）

問10 あなたは現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。
 (1)～(9)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 地域の暮らしの満足度は、『買い物などの便利さ』、『道路や交通機関などの使いやすさ』、『隣近所などとのつきあい』では、《満足している》*がそれぞれ77.8%、74.0%、72.6%と高くなっている。
- 一方、『相談できる体制』、『サークルやボランティアの活動』、『地域の防災対策』では、《満足している》がそれぞれ43.1%、46.0%、47.5%と低くなっている。

図表 2-23 地域の暮らしの満足度（全体）



※ 《満足している》：「とても満足している」と「満足している」の合計。
《満足していない》：「あまり満足していない」と「満足していない」の合計。

4 日ごろの悩みと相談

(1) 地域の暮らしの中での不安や課題（問11）

問11 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。

（いくつでも○）

- 地域の暮らしの中での不安や課題は、**全体**では、「災害時のこと（52.9%）」が最も多く、「老後の生活のこと（39.6%）」、「防犯，地域の安全のこと（28.5%）」が続いている。
- **性・年代別**にみると、女性・50～64歳で「老後の生活のこと（59.6%）」、それ以外の性・年代で「災害時のこと」がそれぞれ最も多くなっている。また、男性・18～29歳で「経済的なこと（35.5%）」、男性・30～49歳で「子育て，子どもの教育のこと（36.7%）」と「住まいや住宅のこと（30.6%）」、男性・50～64歳と女性・50～64歳で「老後の生活のこと」、男性・65歳以上で「健康のこと（37.1%）」と「介護のこと（37.9%）」、女性・18～29歳で「仕事のこと（23.1%）」、女性・30～49歳で「子育て，子どもの教育のこと（36.3%）」が全体と比べ10ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、すべての地域で「災害時のこと」が4割を超え、特に染地・杉森・布田小学校地域で58.4%と高くなっている。

II アンケート調査の結果

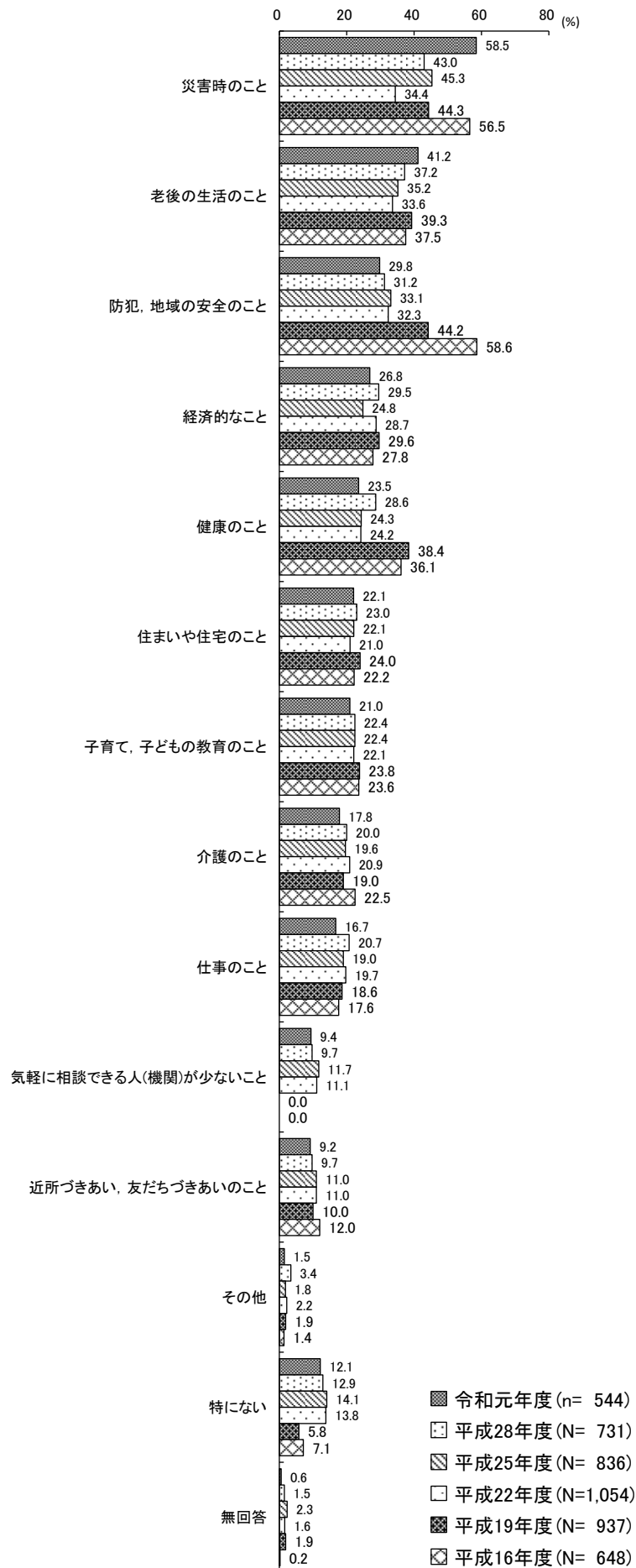
図表 2-24 地域の暮らしの中での不安や課題（全体、性・年代別、福祉圏域別：複数回答）

			(%)						
			の子 教育で、 のこ ども	健 康の こと	介 護の こと	と老 後の 生活の こ	こ住 まい や住 宅の	仕 事の こと	経 済 的 な こ と
全 体 (N=835)			14.0	26.5	23.1	39.6	18.8	12.0	23.8
性・ 年代 別	男 性	18～29歳 (n= 31)	3.2	3.2	3.2	12.9	9.7	16.1	35.5
		30～49歳 (n= 98)	36.7	25.5	17.3	38.8	30.6	20.4	30.6
		50～64歳 (n= 93)	7.5	29.0	19.4	53.8	25.8	21.5	32.3
		65歳以上 (n=116)	1.7	37.1	37.9	40.5	17.2	4.3	14.7
	女 性	18～29歳 (n= 26)	19.2	23.1	3.8	11.5	11.5	23.1	23.1
		30～49歳 (n=160)	36.3	20.6	15.0	30.0	19.4	13.8	21.9
		50～64歳 (n=136)	5.1	26.5	26.5	59.6	21.3	13.2	25.0
	65歳以上 (n=161)	0.6	29.2	30.4	35.4	9.9	0.6	19.9	
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	13.4	17.9	25.4	31.3	16.4	13.4	20.9	
	若葉・調和 (n=110)	20.9	30.9	18.2	42.7	19.1	11.8	21.8	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	11.4	26.1	28.4	42.0	17.0	10.2	22.7	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	10.1	19.0	22.8	45.6	19.0	3.8	30.4	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	17.9	27.6	26.2	37.9	17.9	15.2	22.8	
	染地・杉森・布田 (n=101)	16.8	31.7	23.8	41.6	27.7	9.9	21.8	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	10.8	22.5	20.0	36.7	17.5	11.7	24.2	
第三・石原・飛田給 (n=122)	9.0	31.1	22.1	40.2	16.4	16.4	27.0		

			の友 近 こ だ ち づ づ き あ い	全 防 犯 の こ と 地 域 の 安	災 害 時 の こ と	少 る 気 に 相 談 で き な い 機 関 が き	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (N=835)			8.7	28.5	52.9	11.1	1.2	14.6	2.2
性・ 年代 別	男 性	18～29歳 (n= 31)	3.2	16.1	38.7	3.2	0.0	32.3	0.0
		30～49歳 (n= 98)	12.2	30.6	56.1	9.2	2.0	10.2	0.0
		50～64歳 (n= 93)	7.5	36.6	60.2	12.9	2.2	10.8	1.1
		65歳以上 (n=116)	8.6	30.2	44.0	18.1	0.9	13.8	2.6
	女 性	18～29歳 (n= 26)	3.8	38.5	50.0	3.8	0.0	30.8	0.0
		30～49歳 (n=160)	10.6	30.6	63.8	9.4	0.6	8.8	0.6
		50～64歳 (n=136)	8.8	25.0	58.8	9.6	2.2	10.3	0.7
	65歳以上 (n=161)	7.5	24.8	42.2	13.0	0.6	23.0	6.2	
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	10.4	28.4	46.3	11.9	3.0	13.4	4.5	
	若葉・調和 (n=110)	11.8	33.6	54.5	13.6	4.5	10.0	1.8	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	11.4	28.4	56.8	13.6	1.1	11.4	1.1	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	3.8	30.4	43.0	10.1	1.3	19.0	1.3	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	11.7	31.0	53.8	9.7	0.0	15.2	2.8	
	染地・杉森・布田 (n=101)	5.9	25.7	58.4	8.9	0.0	12.9	2.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	5.8	26.7	57.5	10.0	0.0	15.0	2.5	
第三・石原・飛田給 (n=122)	8.2	24.6	49.2	12.3	0.8	18.9	0.8		

- **経年**で比較すると、令和元年度は「災害時のこと (58.5%)」が最も多く、平成 28 年度に比べ 15 ポイント以上高くなっており、過去 6 回の調査で最も高くなっている。
- また、「防犯，地域の安全のこと」の割合は、令和元年度は 29.8%であるが、平成 16 年度の 58.6%から約 30 ポイント低くなっている。

図表 2-25 地域の暮らしの中での不安や課題（全体：複数回答）【経年比較】

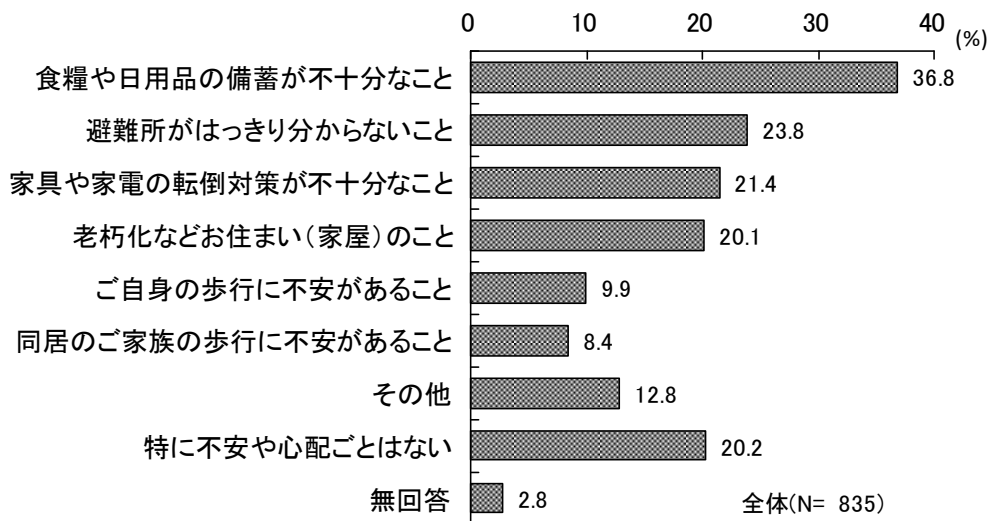


(2) 災害時についての不安や心配ごと (問 12)

問 12 あなたは、災害時についての不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)

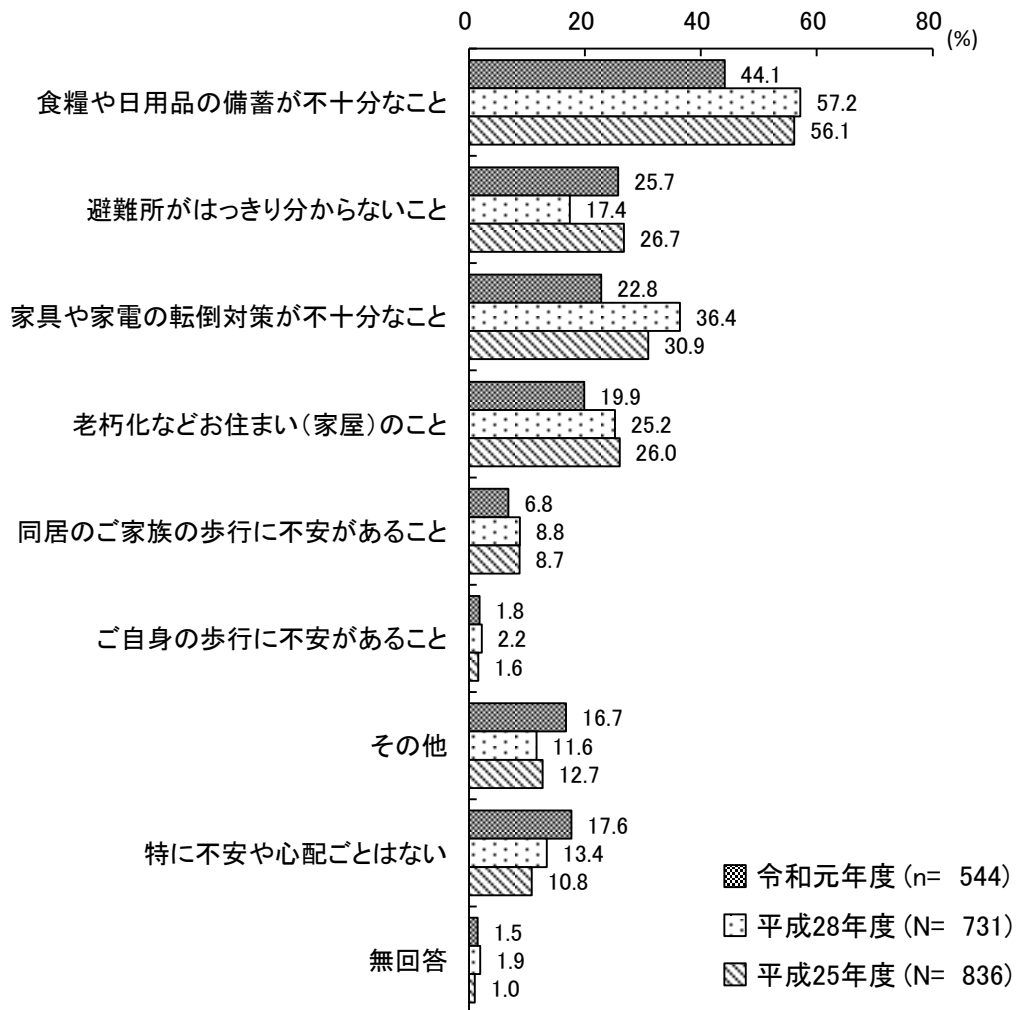
- 災害時についての不安や心配ごとは、**全体**では、「食糧や日用品の備蓄が不十分なこと (36.8%)」が最も多く、「避難所がはっきり分からないこと (23.8%)」、「家具や家電の転倒対策が不十分なこと (21.4%)」が続いている。「特に不安や心配ごとはない」は 20.2%となっている。

図表 2-26 災害時についての不安や心配ごと (全体：複数回答)



- **経年**で比較すると、令和元年度は平成25年度・平成28年度と同様に「食糧や日用品の備蓄が不十分なこと（44.1%）」が最も多くなっている。
- また、平成25年度・平成28年度は「家具や家電の転倒対策が不十分なこと」が2番目に多かったが、令和元年度は「避難所がはっきり分からないこと（25.7%）」が2番目に多くなっている。

図表 2-27 災害時についての不安や心配ごと（全体：複数回答）【経年比較】

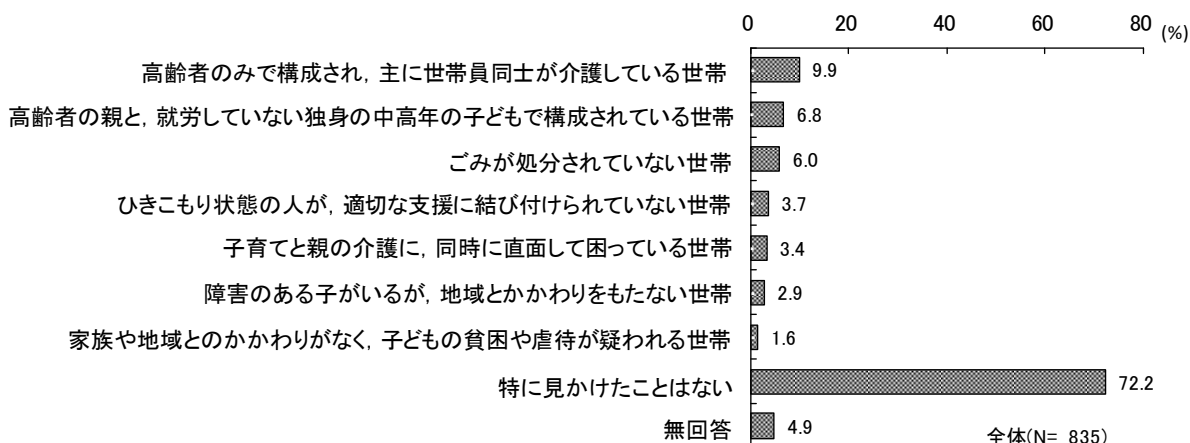


(3) 複雑な課題を抱えた世帯の把握状況 (問 13)

問 13 あなたは、地域のなかで次のような世帯を見たことがありますか。(いくつでも○)

- 複雑な課題を抱えた世帯の把握状況は、**全体**では、22.9%の人がなんらかの複雑な課題を抱えた世帯を把握しており、『高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯 (9.9%)』や『高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯 (6.8%)』、『ごみが処分されていない世帯 (6.0%)』を見たことがある人が多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で「高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯 (11.9%)」、北ノ台・深大寺小学校地域で「高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯 (10.1%)」と「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯 (12.7%)」の把握状況が1割を超えている。また、染地・杉森・布田小学校地域、若葉・調和小学校地域、上ノ原・柏野小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯」の把握状況が1割を超えている。

図表 2-28 複雑な課題を抱えた世帯の把握状況 (全体：複数回答)



図表 2-29 複雑な課題を抱えた世帯の把握状況 (全体、福祉圏域別：複数回答)

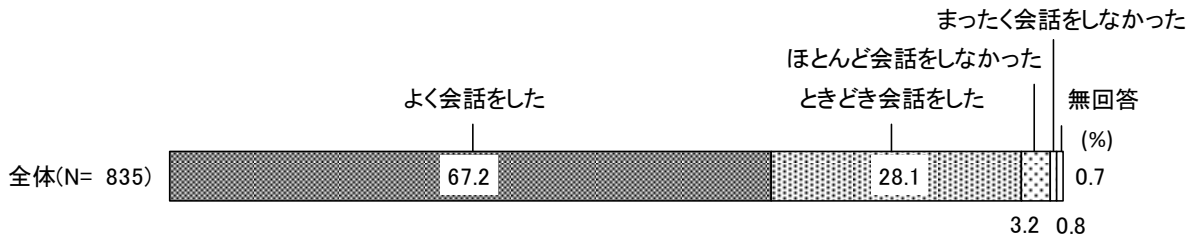
		(%)									
		い同子	いのて	もが障	介れ高	いご	付がひ	帯困り家	い特	無	
		る時育	の子ど	がたな	護し主	世み	けら適	やがな	に見	回	
		帯直と	もいの	い地あ	てにの	帯分	れ切も	慮なく	か	答	
		面親	で独親	い域と	い世み	され	てなり	が子	た		
		しての	構成と	帯か子	る帯で	ていな	い支状	のの	こと		
		て介	さ中就	がわい	帯同成		いの	か	は		
		護につ	れ高	りる	士が		世結人	か	な		
		て	年し	を			帯び	貧			
全	体 (N=835)	3.4	6.8	2.9	9.9	6.0	3.7	1.6	72.2	4.9	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	3.0	11.9	6.0	6.0	6.0	4.5	0.0	71.6	9.0	
	若葉・調和 (n=110)	5.5	7.3	1.8	10.9	7.3	3.6	3.6	71.8	3.6	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	5.7	9.1	2.3	12.5	5.7	2.3	0.0	70.5	2.3	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	3.8	10.1	3.8	12.7	6.3	2.5	0.0	68.4	7.6	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	2.1	5.5	2.8	4.8	6.2	3.4	1.4	76.6	5.5	
	染地・杉森・布田 (n=101)	3.0	5.0	3.0	14.9	6.9	5.9	2.0	71.3	1.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	1.7	3.3	1.7	10.8	2.5	1.7	3.3	76.7	4.2	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	3.3	6.6	2.5	9.0	7.4	5.7	0.8	68.9	6.6	

(4) 家族以外との会話の状況 (問 14)

問 14 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)

- 家族以外との会話の状況は、「よく会話をした (67.2%)」が最も多く、「ときどき会話をした (28.1%)」、「ほとんど会話をしなかった (3.2%)」が続いている。

図表 2-30 家族以外との会話の状況 (全体)

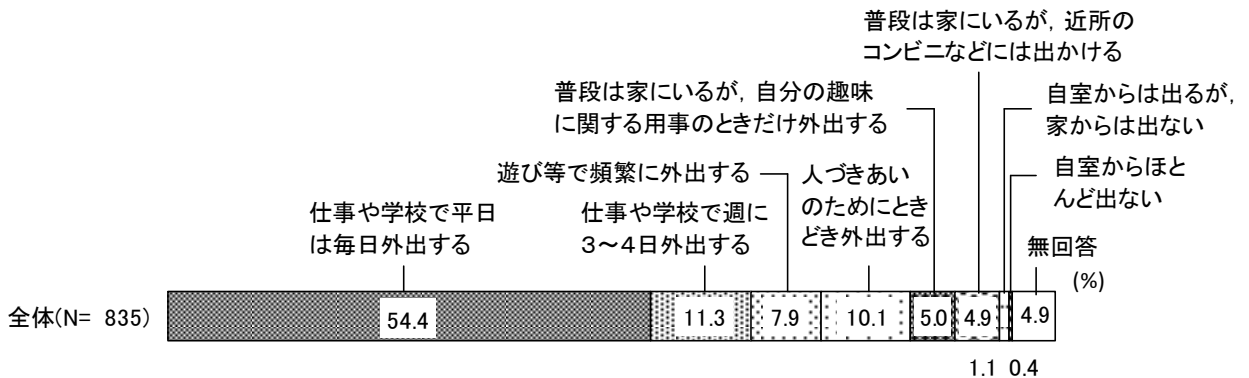


(5) 普段の外出状況 (問 15)

問 15 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

- 普段の外出状況は、「仕事や学校で平日は毎日外出する (54.4%)」が最も多くなっている。一方、あまり外出をしていない状況である「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」の合計は 11.4% である。

図表 2-31 普段の外出状況 (全体)



国の広義のひきこもりの定義 出典:生活状況に関する調査報告書(平成30年度/内閣府)

外出状況について、「自室からほとんど出ない」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」のいずれかであり、その状態が6ヶ月以上続いていること。なお、以下の方はのぞく。

- ①その状態になったきっかけが「病気」の方
- ②その状態になったきっかけが「妊娠」、「介護・看護」、「出産・育児」、または就労・就学状況について「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、または普段自宅にいるときにしていることで「家事」、「育児」、「介護・看護」を選択した方で、この6か月間に家族以外と「よく・ときどき会話をしている」方
- ③その状態になったきっかけが「仕事」、または就労・就学状況について「勤めている」、「自営業・自由業」、または普段自宅にいるときにしていることで「仕事」を選択した方

以上の定義によると、国の広義のひきこもりの割合は、40~64歳は1.45%となっている。一部の問・選択肢は異なるものの国と同様の定義で算出すると、調布市の市民調査では年齢を40歳~64歳に限定した場合、広義のひきこもりの該当者は回答者371人中6人となっており、1.62%である。

なお、国の若者の生活に関する調査報告書(平成28年度/内閣府)によると、広義のひきこもりは15~39歳で1.57%となっている。

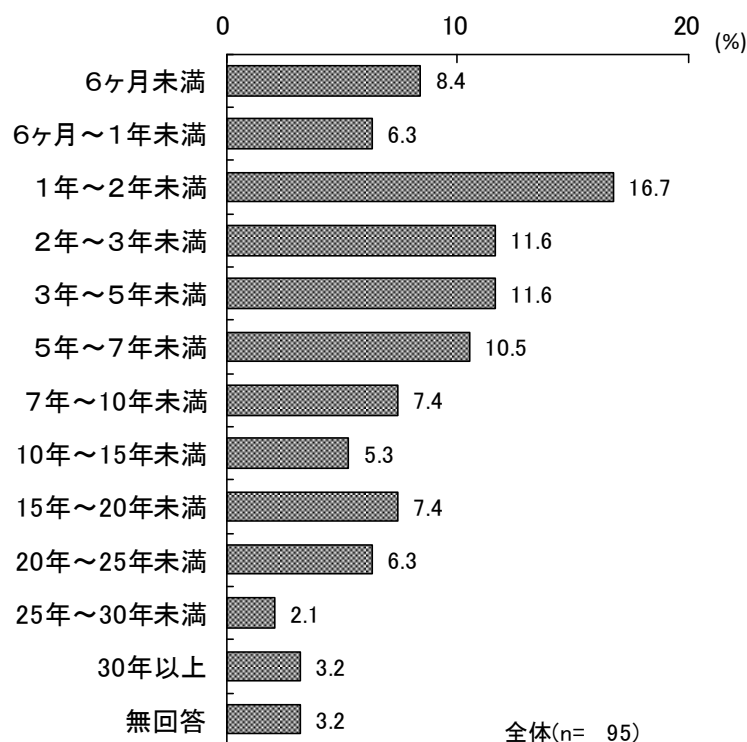
(6) 外出をしていない期間 (問 15-1)

問 15-1 問 15 で 5~8 と答えた方におたずねします。
現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(1つに○)

○ 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、外出をしていない期間についてたずねたところ、**全体**では、「1年～2年未満 (16.7%)」が最も多く、「2年～3年未満 (11.6%)」と「3年～5年未満 (11.6%)」が同率で続いている。

図表 2-32 外出をしていない期間 (全体)

<普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と回答した人>



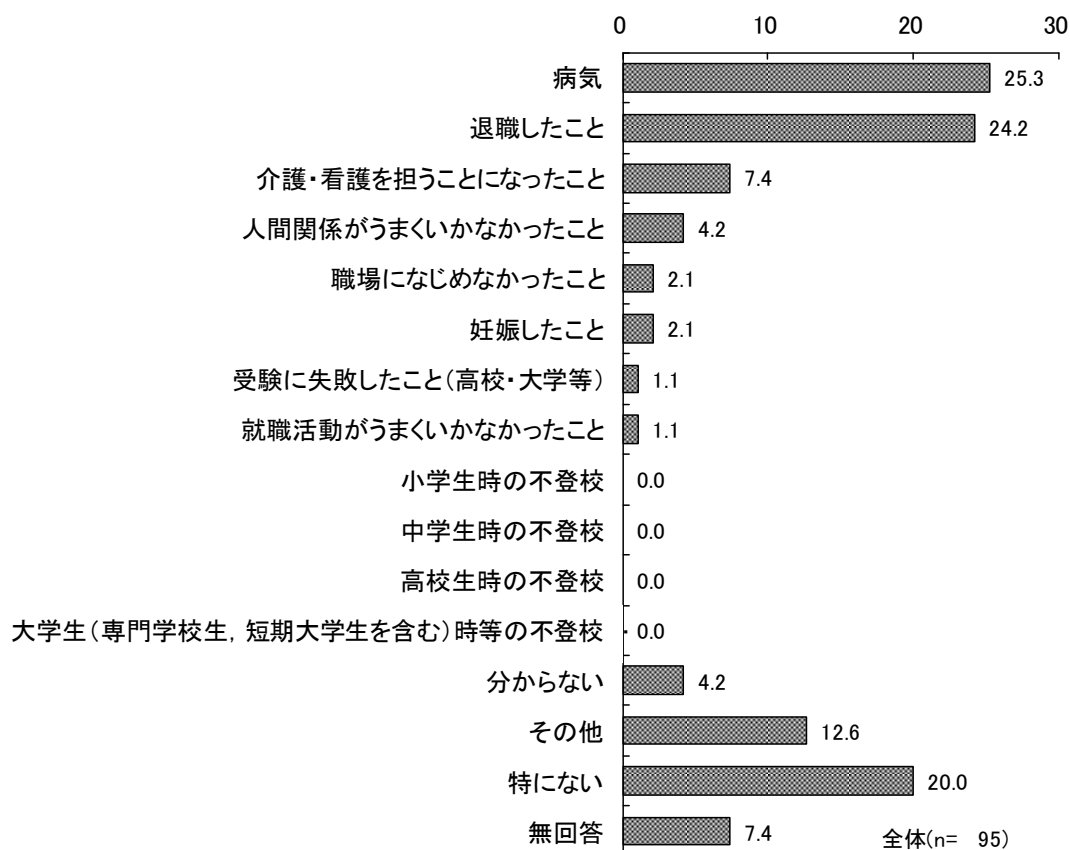
(7) 外出をしなくなったきっかけ (問 15-2)

問 15-2 現在の状態になったきっかけは何ですか。(いくつでも○)

○ 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、外出をしなくなったきっかけをたずねたところ、**全体**では、「病気 (25.3%)」が最も多く、「退職したこと (24.2%)」、「介護・看護を担うことになったこと (7.4%)」が続いている。

図表 2-33 外出をしなくなったきっかけ（全体：複数回答）

＜普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と回答した人＞



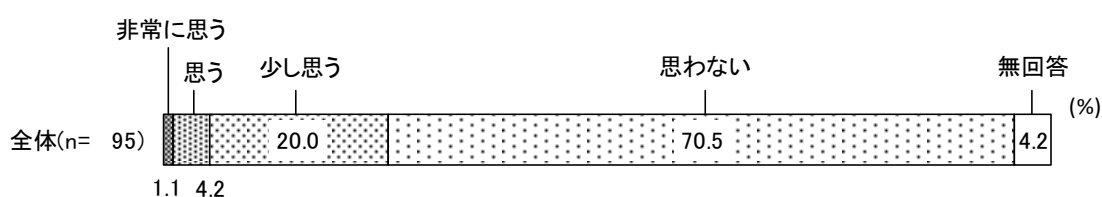
(8) 相談の意向 (問 15-3)

問 15-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(1つに○)

- 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と答えた人に、相談の意向をたずねたところ、《思う》*は 25.3%であり、「思わない」は 70.5%である。

図表 2-34 相談の意向 (全体)

＜普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と回答した人＞



* 「非常に思う」、「思う」、「少し思う」の合計。

(9) 経済的な理由で困った経験 (問 16)

問 16 経済的に困った経験や家計の負担となっていることについておたずねします。
あなたはこれまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

- 経済的な理由で困った経験は、**全体**では、「現在困っている」が 8.9%、「現在は困っていないが、困ったことがある」が 18.1%であり、合計すると経済的な理由で困ったことがある人は 27.0%である。
- **年代別**にみると、《困ったことがある》*の割合が、20 歳代で 41.9%と 4 割を超え、全体に比べ 14 ポイント以上高くなっている。

図表 2-35 経済的な理由で困った経験 (全体, 年代別)

		(%)				(%)		
		現在困っている	が、現在は困っていないが、ある	困ったことはない	無回答	《困ったことがある》	《困ったことはない》	無回答
全	体 (N=835)	8.9	18.1	69.5	3.5	27.0	69.5	3.5
年代別	10歳代 (n= 14)	7.1	0.0	92.9	0.0	7.1	92.9	0.0
	20歳代 (n= 43)	16.3	25.6	55.8	2.3	41.9	55.8	2.3
	30歳代 (n=116)	8.6	17.2	73.3	0.9	25.8	73.3	0.9
	40歳代 (n=142)	10.6	20.4	66.9	2.1	31.0	66.9	2.1
	50歳代 (n=155)	11.0	20.0	67.7	1.3	31.0	67.7	1.3
	60歳代 (n=135)	5.9	17.8	74.8	1.5	23.7	74.8	1.5
	70歳代 (n=131)	6.9	16.0	71.0	6.1	22.9	71.0	6.1
	80歳以上 (n= 87)	6.9	13.8	66.7	12.6	20.7	66.7	12.6

* 「現在困っている」と「現在は困っていないが、困ったことがある」の合計。

(10) 経済的に困っている理由 (問 16 (1))

問 16 (1) あなたが経済的に困っている理由は何ですか。(いくつでも○)

- 経済的に困っている理由は、**全体**では、「収入が少ない(年金含む)(53.3%)」が最も多く、「支出が多い(収入はあるが、使いすぎてしまう)(22.7%)」、「仕事をしていない・できない(15.1%)」が続いている。
- **年代別**にみると、20歳代で「収入が少ない(年金含む)(72.2%)」が7割を超え高くなっている。また、30歳代と40歳代で「支出が多い(収入はあるが、使いすぎてしまう)」, 60歳代で「仕事をしていない・できない(25.0%)」, 70歳代で「障害がある(16.7%)」が全体に比べ10~15ポイント程度高くなっている。

図表 2-36 経済的に困っている理由 (全体, 年代別 : 複数回答)

<経済的な理由で困った経験で「現在困っている」、「現在は困っていないが、困ったことがある」と回答した人>

		(%)										
		で仕事をしていない・できない	含収入が少ない(年金含む)	い頼まれる家族や友人がいない	介病気がある・家族の介護	障害がある	しまるが、多い(収入は使いすぎて)	支出が多い(収入はあるが、使いすぎてしまう)	コギャンブルへの出費	その他	特にない	無回答
全	体 (n=225)	15.1	53.3	4.0	12.9	6.2	22.7	2.2	9.3	8.4	3.6	
年代別	10歳代 (n= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代 (n= 18)	16.7	72.2	0.0	5.6	0.0	27.8	0.0	5.6	0.0	0.0	
	30歳代 (n= 30)	10.0	53.3	10.0	10.0	3.3	33.3	0.0	16.7	6.7	3.3	
	40歳代 (n= 44)	6.8	47.7	2.3	13.6	11.4	38.6	4.5	6.8	6.8	2.3	
	50歳代 (n= 48)	16.7	58.3	2.1	16.7	0.0	16.7	2.1	14.6	6.3	0.0	
	60歳代 (n= 32)	25.0	56.3	3.1	15.6	3.1	3.1	3.1	6.3	9.4	6.3	
	70歳代 (n= 30)	20.0	56.7	6.7	16.7	16.7	13.3	3.3	3.3	13.3	6.7	
	80歳以上 (n= 18)	16.7	27.8	5.6	5.6	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	

(11) 過去1年間で経済的な理由で支払えなかった費用（問16（2））

問16（2） あなた又はあなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で以下のものを支払えないことがありましたか。（いくつでも○）

- 過去1年の間に回答者もしくは回答者の世帯で経済的な理由で支払えなかったものは、**全体**では、「税金（9.8%）」や「健康保険料（介護保険料含む）（8.0%）」、「光熱費（電気、ガス、水道代等）（7.1%）」が多くなっている。
- **年代別**にみると、20歳代で「公的年金保険料（16.7%）」と「健康保険料（介護保険料含む）（16.7%）」、50歳代で「税金（18.8%）」、70歳代で「家賃（住宅ローン含む）（13.3%）」、80歳以上で「福祉サービス利用料（5.6%）」が全体に比べ8ポイント以上高くなっている。

図表2-37 過去1年間で経済的な理由で支払えなかった費用（全体、年代別：複数回答）

<経済的な理由で困った経験で「現在困っている」、「現在は困っていないが、困ったことがある」と回答した人>

		(%)						
		税金	光熱費（電気、ガス、水道代等）	通話、インターネット等	家賃（住宅ローン含む）	公的年金保険料	健康保険料（介護保険料含む）	教育費
全	体 (n=225)	9.8	7.1	4.4	5.3	6.2	8.0	3.6
年代別	10歳代 (n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n= 18)	11.1	11.1	5.6	5.6	16.7	16.7	0.0
	30歳代 (n= 30)	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3	6.7	10.0
	40歳代 (n= 44)	9.1	4.5	2.3	4.5	4.5	9.1	4.5
	50歳代 (n= 48)	18.8	12.5	4.2	4.2	10.4	8.3	2.1
	60歳代 (n= 32)	6.3	3.1	6.3	6.3	0.0	9.4	3.1
	70歳代 (n= 30)	10.0	6.7	6.7	13.3	10.0	6.7	0.0
	80歳以上 (n= 18)	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6

		福祉サービス利用料	医療費	ローンや借金	その他	特にない	無回答
全	体 (n=225)	0.4	3.1	4.0	0.4	70.2	6.7
年代別	10歳代 (n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代 (n= 18)	0.0	5.6	5.6	5.6	61.1	0.0
	30歳代 (n= 30)	0.0	0.0	3.3	0.0	80.0	3.3
	40歳代 (n= 44)	0.0	4.5	2.3	0.0	79.5	2.3
	50歳代 (n= 48)	0.0	2.1	6.3	0.0	68.8	2.1
	60歳代 (n= 32)	0.0	0.0	3.1	0.0	68.8	9.4
	70歳代 (n= 30)	0.0	6.7	3.3	0.0	63.3	10.0
	80歳以上 (n= 18)	5.6	5.6	5.6	0.0	50.0	33.3

(12) 家計の負担となっている費用（問16（3））

問16（3） 現在、特に家計の負担と感ずる費用はありますか。（いくつでも○）

- 家計の負担となっている費用は、**全体**では、「家賃（住宅ローン含む）（27.7%）」が最も多く、「通信費（携帯電話、インターネット等）（19.0%）」、「光熱費（電気、ガス、水道代等）（18.4%）」が続いている。
- **年代別**にみると、10歳代で「自分の学費（42.9%）」、20歳代で「通信費（携帯電話、インターネット等）（25.6%）」、30歳代、40歳代、50歳代で「家賃（住宅ローン含む）」、60歳代、70歳代で「医療費」、80歳以上で「光熱費（電気、ガス、水道代等）（13.8%）」がそれぞれ最も多くなっている。
- また、「特にない」は、80歳以上で54.0%と5割台で高く、30歳代、40歳代で1割台と低くなっている。

図表2-38 家計の負担となっている費用（全体、年代別：複数回答）

		食費	光熱費（電気、ガス、水道代等）	通信費（携帯電話、インターネット等）	家賃（住宅ローン含む）	衣服費	子どもの育児費・教育費	自分の学費
全	体 (N=835)	18.0	18.4	19.0	27.7	2.5	15.6	2.2
年代別	10歳代 (n=14)	21.4	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	42.9
	20歳代 (n=43)	20.9	7.0	25.6	18.6	9.3	4.7	16.3
	30歳代 (n=116)	26.7	25.9	30.2	49.1	7.8	25.9	0.9
	40歳代 (n=142)	23.9	22.5	23.2	45.1	2.8	40.1	0.7
	50歳代 (n=155)	15.5	19.4	21.9	36.1	1.3	23.9	1.9
	60歳代 (n=135)	14.1	18.5	17.0	20.7	0.7	1.5	0.0
	70歳代 (n=131)	13.7	16.0	12.2	9.2	0.8	0.0	0.0
	80歳以上 (n=87)	11.5	13.8	3.4	3.4	0.0	1.1	0.0
		介護に関する費用	医療費	ローンや借金	その他	特にない	無回答	
全	体 (N=835)	3.4	16.6	5.9	5.4	29.2	4.4	
年代別	10歳代 (n=14)	0.0	28.6	0.0	0.0	21.4	7.1	
	20歳代 (n=43)	0.0	11.6	11.6	7.0	27.9	2.3	
	30歳代 (n=116)	0.0	11.2	1.7	6.9	11.2	1.7	
	40歳代 (n=142)	0.7	12.7	8.5	8.5	11.3	0.7	
	50歳代 (n=155)	4.5	17.4	11.6	7.1	20.6	1.9	
	60歳代 (n=135)	3.7	23.0	4.4	4.4	37.8	3.0	
	70歳代 (n=131)	7.6	22.9	1.5	3.1	49.6	7.6	
	80歳以上 (n=87)	5.7	11.5	2.3	0.0	54.0	14.9	

(13) 困ったときの身近な相談相手（人・機関）（問 17）

問 17 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。
(いくつでも○)

- 困ったときの身近な相談相手（人・機関）は、**全体**では、「同居の家族（65.9%）」が最も多く、「別居の家族や親戚（55.7%）」、「友人・知人（45.4%）」と続いている。また、「身近に相談できる人・機関はない」は3.1%である。
- **性・年代別**にみると、男性・18～29歳と女性・18～29歳で「友人・知人」、それ以外のすべての性・年代で「同居の家族」がそれぞれ最も多くなっている。また、男性・30～49歳で「別居の家族や親戚（61.2%）」も同率で最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、すべての地域で「同居の家族」がそれぞれ最も多くなっており、特に上ノ原・柏野小学校地域で79.5%と全体と比べ14ポイント程度高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「別居の家族や親戚（68.1%）」が全体と比べ12ポイント以上高くなっている。

図表 2-39 困ったときの身近な相談相手（人・機関）
 （全体、性・年代別、福祉圏域別、家族構成別：複数回答）

			同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	地域福祉コーデイネーター	ヘルパーなどの事業者	ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	かかりつけ医や保健師など医療関係者	市役所
全体		(N=835)	65.9	55.7	3.8	45.4	0.1	0.5	4.7	7.8	7.3	
性・年代別	男性	18～29歳	(n= 31)	67.7	41.9	0.0	77.4	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
		30～49歳	(n= 98)	61.2	61.2	3.1	40.8	0.0	0.0	0.0	1.0	8.2
		50～64歳	(n= 93)	76.3	48.4	3.2	32.3	0.0	0.0	2.2	4.3	6.5
		65歳以上	(n=116)	58.6	45.7	6.0	21.6	0.0	1.7	9.5	10.3	10.3
	女性	18～29歳	(n= 26)	57.7	42.3	0.0	76.9	0.0	0.0	0.0	11.5	3.8
		30～49歳	(n=160)	75.0	71.9	2.5	61.9	0.0	0.0	1.3	6.9	6.3
		50～64歳	(n=136)	69.1	58.1	1.5	58.1	0.0	0.7	2.2	5.1	4.4
	65歳以上	(n=161)	56.5	50.3	6.8	34.8	0.6	0.6	13.0	14.9	11.2	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂		(n= 67)	53.7	53.7	1.5	44.8	0.0	0.0	7.5	10.4	7.5
	若葉・調和		(n=110)	73.6	60.0	4.5	48.2	0.0	0.9	1.8	6.4	5.5
	上ノ原・柏野		(n= 88)	79.5	63.6	3.4	46.6	0.0	1.1	4.5	6.8	8.0
	北ノ台・深大寺		(n= 79)	69.6	51.9	7.6	43.0	0.0	0.0	6.3	7.6	5.1
	第二・八雲台・国領		(n=145)	60.0	58.6	2.1	48.3	0.0	0.0	4.1	9.7	8.3
	染地・杉森・布田		(n=101)	69.3	49.5	5.9	43.6	0.0	1.0	4.0	2.0	5.0
	第一・富士見台・多摩川		(n=120)	61.7	53.3	2.5	38.3	0.0	0.0	3.3	8.3	6.7
	第三・石原・飛田給		(n=122)	62.3	52.5	4.1	48.4	0.8	0.8	7.4	10.7	11.5
家族構成別	ひとり暮らし		(n=116)	1.7	68.1	2.6	48.3	0.0	0.0	7.8	6.0	8.6
	その他		(n=712)	76.7	53.8	3.9	45.1	0.0	0.6	4.2	8.1	6.9

			社会福祉協議会	地域包括支援センター	ちようふ若者サポートステーション	子ども家庭支援センター	調布ライフサポート	その他	身近に相談できない機関	無回答	
全体		(N=835)	1.4	3.4	0.1	1.1	0.2	2.6	3.1	2.6	
性・年代別	男性	18～29歳	(n= 31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0
		30～49歳	(n= 98)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	6.1	3.1
		50～64歳	(n= 93)	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0	1.1	7.5	1.1
		65歳以上	(n=116)	4.3	6.0	0.0	0.0	0.9	2.6	1.7	6.0
	女性	18～29歳	(n= 26)	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	0.0
		30～49歳	(n=160)	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	2.5	1.9	0.0
		50～64歳	(n=136)	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	1.5	2.9	2.2
	65歳以上	(n=161)	2.5	9.9	0.0	0.0	0.6	3.1	1.2	4.3	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂		(n= 67)	1.5	3.0	0.0	1.5	0.0	4.5	6.0	1.5
	若葉・調和		(n=110)	0.9	3.6	0.0	0.9	0.9	5.5	3.6	1.8
	上ノ原・柏野		(n= 88)	2.3	6.8	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1
	北ノ台・深大寺		(n= 79)	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	3.8	1.3	6.3
	第二・八雲台・国領		(n=145)	1.4	2.1	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	2.1
	染地・杉森・布田		(n=101)	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.0	3.0
	第一・富士見台・多摩川		(n=120)	0.8	1.7	0.0	0.8	0.0	0.8	4.2	3.3
	第三・石原・飛田給		(n=122)	2.5	6.6	0.8	0.8	0.0	0.0	3.3	2.5
家族構成別	ひとり暮らし		(n=116)	0.9	6.9	0.0	0.0	0.9	1.7	6.0	4.3
	その他		(n=712)	1.4	2.7	0.1	1.3	0.1	2.8	2.7	2.2

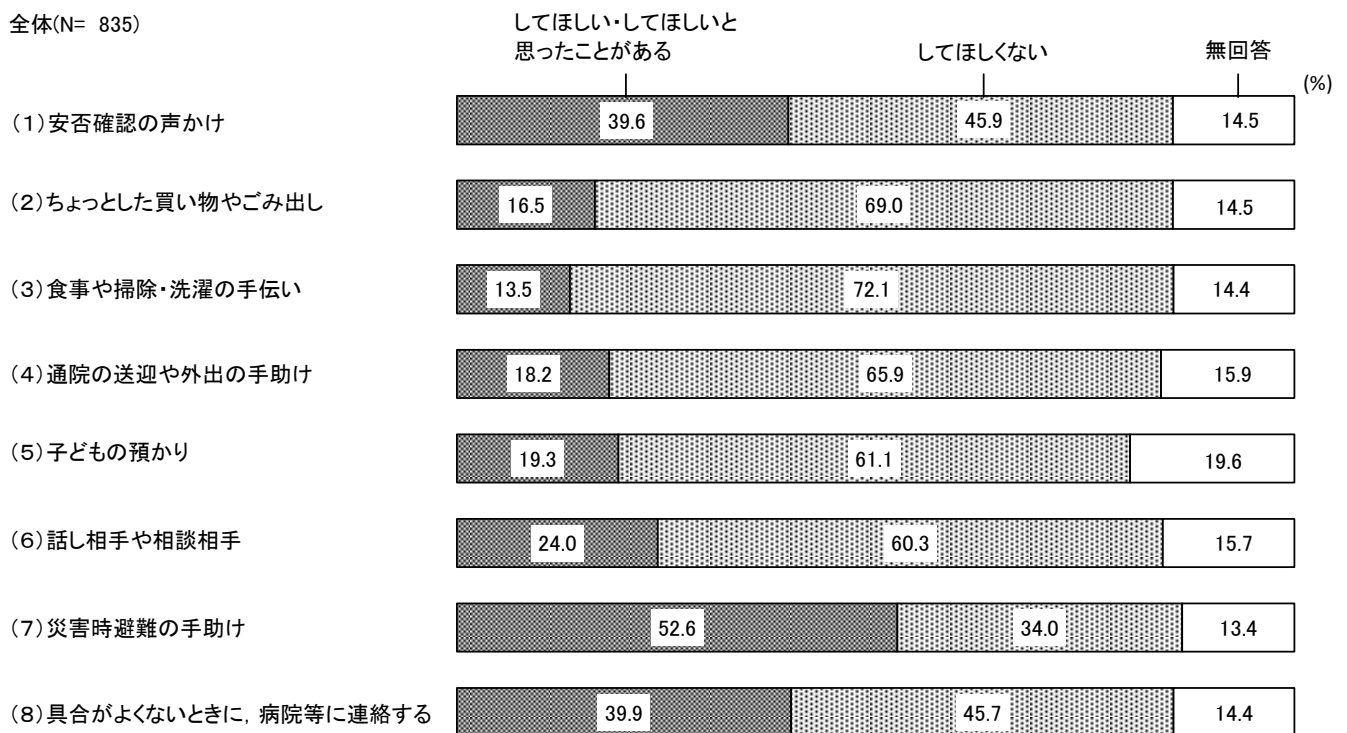
(14) 手助けしてほしいこと、できること (問 18)

問 18 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
 ②また、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。
 (1)～(8)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 手助けしてほしいこと

○ 手助けできることについて、「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合は、**全体**では、『災害時避難の手助け (52.6%)』が最も多く、『具合がよくな
 いときに、病院等に連絡する (39.9%)』、『安否確認の声かけ (39.6%)』が続いて
 いる。

図表 2-40 手助けしてほしいこと (全体)



○ 手助けできることについて、「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合を**福祉圏域別**にみると、すべての地域で『災害時避難の手助け』が最も多くなっている。

○ また、上ノ原・柏野小学校地域で『災害時避難の手助け (62.5%)』が6割を超え、若葉・調和小学校地域で『安否確認の声かけ (51.9%)』が5割、『話し相手や相談相手 (31.8%)』が3割を超え、全体より高くなっている。

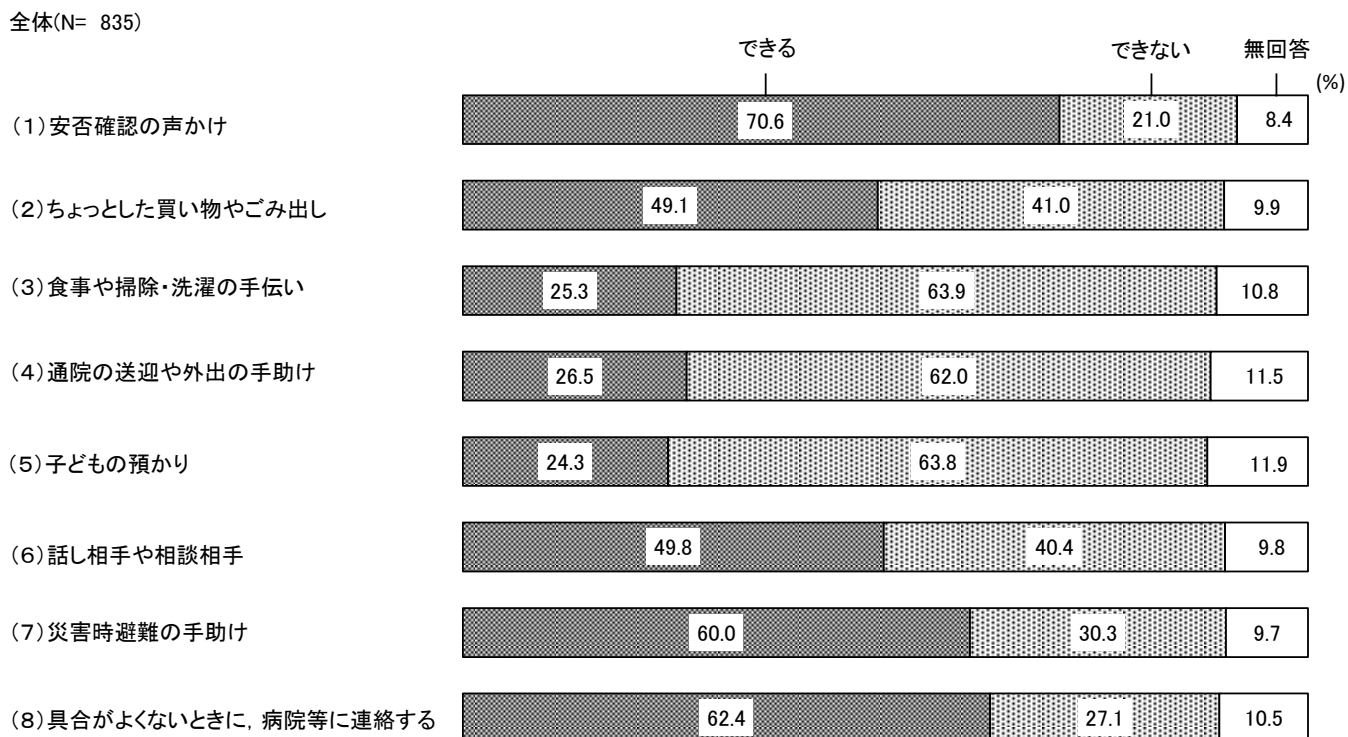
図表 2-41 手助けの希望（全体、福祉圏域別）
 <「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合>

		(%)							
		安否確認の声かけ	ちよつとした買い物やごみ出し	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	具合がよくないときに、病院等に連絡するとき
全	体 (N=835)	39.6	16.5	13.5	18.2	19.3	24.0	52.6	39.9
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=67)	32.8	11.9	10.4	17.9	13.4	14.9	55.2	32.8
	若葉・調和 (n=110)	51.9	15.5	10.9	23.6	26.4	31.8	57.3	37.3
	上ノ原・柏野 (n=88)	31.8	14.8	12.5	13.6	18.2	29.5	62.5	38.6
	北ノ台・深大寺 (n=79)	32.9	10.1	10.1	17.7	16.5	13.9	43.0	36.7
	第二・八雲台・国領 (n=145)	37.9	17.9	13.8	17.2	20.0	22.1	47.5	35.9
	染地・杉森・布田 (n=101)	45.5	19.8	20.8	17.8	24.8	25.7	54.4	45.5
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	38.3	20.0	15.0	16.7	15.8	25.0	49.2	42.5
第三・石原・飛田給 (n=122)	41.8	18.0	13.1	20.5	17.2	24.6	54.9	46.7	

② 手助けできること

- 手助けできることについて、「できる」の割合は、**全体**では、『安否確認の声かけ (70.6%)』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する (62.4%)』、『災害時避難の手助け (60.0%)』が6～7割を占め、高くなっている。

図表 2-42 手助けできること（全体）



Ⅱ アンケート調査の結果

- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で『ちょっとした買い物やごみ出し (78.6%)』, それ以外のすべての地域で『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。
- また、『ちょっとした買い物やごみ出し』は緑ヶ丘・滝坂小学校地域で 78.6%, 染地・杉森・布田小学校地域で 64.5%と全体と比べ 15 ポイント以上高くなっている。北ノ台・深大寺小学校地域で『子どもの預かり (31.6%)』, 第三・石原・飛田給小学校地域で『具合がよくないときに, 病院等に連絡する (69.7%)』, 染地・杉森・布田小学校地域で『通院の送迎や外出の手助け (31.7%)』, 若葉・調和小学校地域で『災害時避難の手助け (66.4%)』が全体と比べ 5 ポイント以上高くなっている。

図表 2-43 今後の手助けの意向 (全体, 福祉圏域別)

<「できる」の割合>

(%)

		安否確認の声かけ	ちょっとした買い物	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	具合がよくないときに連絡する
全	体 (N=835)	70.6	49.1	25.3	26.5	24.3	49.8	60.0	62.4
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	67.2	78.6	22.4	22.4	19.4	50.8	61.2	59.7
	若葉・調和 (n=110)	75.4	58.5	20.9	24.5	24.5	54.5	66.4	65.4
	上ノ原・柏野 (n= 88)	69.3	39.7	23.9	21.6	27.3	53.5	62.5	67.1
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	69.6	48.9	29.1	27.8	31.6	50.6	58.2	62.0
	第二・八雲台・国領 (n=145)	64.8	45.7	26.9	26.9	23.4	43.5	57.3	54.5
	染地・杉森・布田 (n=101)	73.3	64.5	23.8	31.7	24.8	48.5	59.4	62.4
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	73.4	19.5	26.7	28.3	26.7	47.5	55.8	61.7
	第三・石原・飛田給 (n=122)	73.8	51.4	27.9	27.0	18.9	54.1	62.3	69.7

5 地域活動等の状況

(1) 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無, 取組状況 (問 19)

問 19 調布市では, 様々な地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について, あなたは興味・関心がありますか。

② 現在, 次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

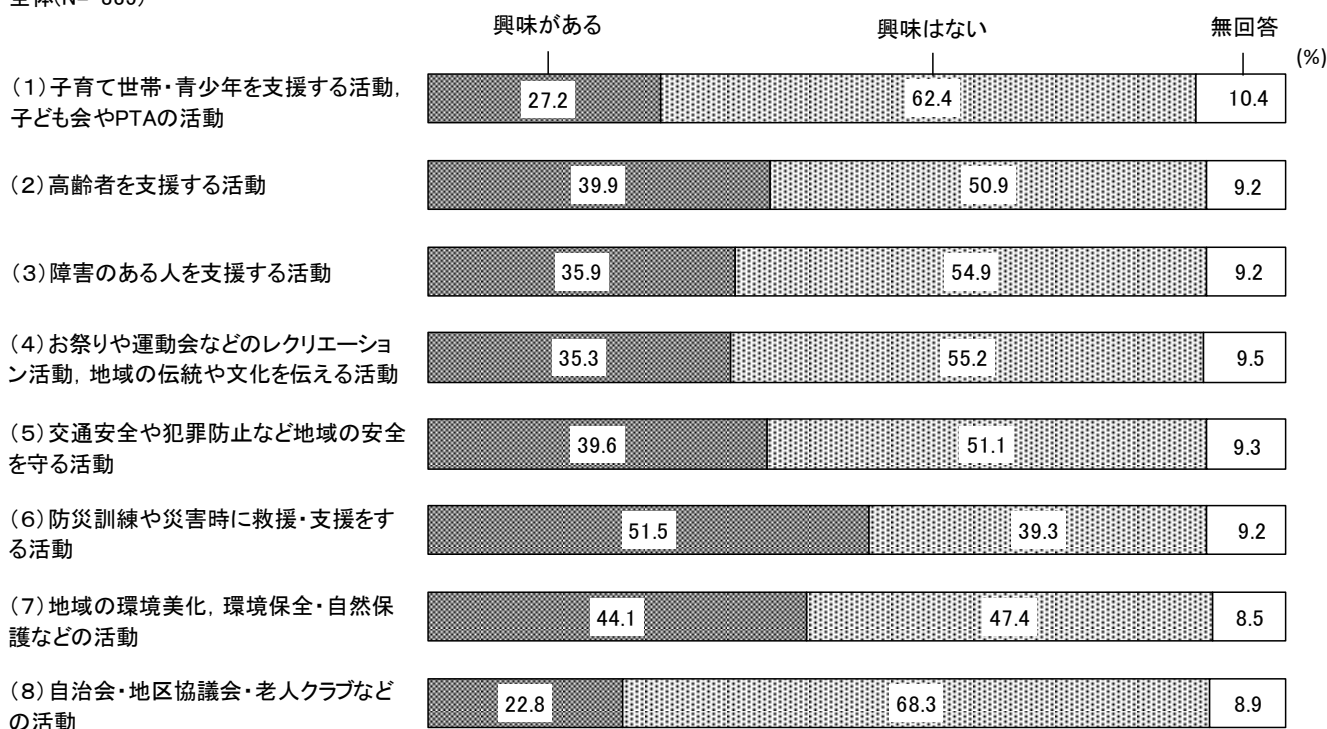
(1) ~ (8) について, ①と②のそれぞれ 1 つに○をつけてください。

① 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無

- 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無について, 「興味がある」の割合は, **全体**では, 『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (51.5%)』が最も多く, 『地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動 (44.1%)』, 『高齢者を支援する活動 (39.9%)』が続いている。

図表 2-44 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無（全体）

全体(N= 835)



○ **福祉圏域別**にみると、すべての地域で『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』の割合が最も多くなっている。また、若葉・調和小学校地域で、『高齢者を支援する活動』が48.1%と全体と比べ8ポイント以上高くなっている。

図表 2-45 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無（全体、福祉圏域別）

<「興味がある」の割合>

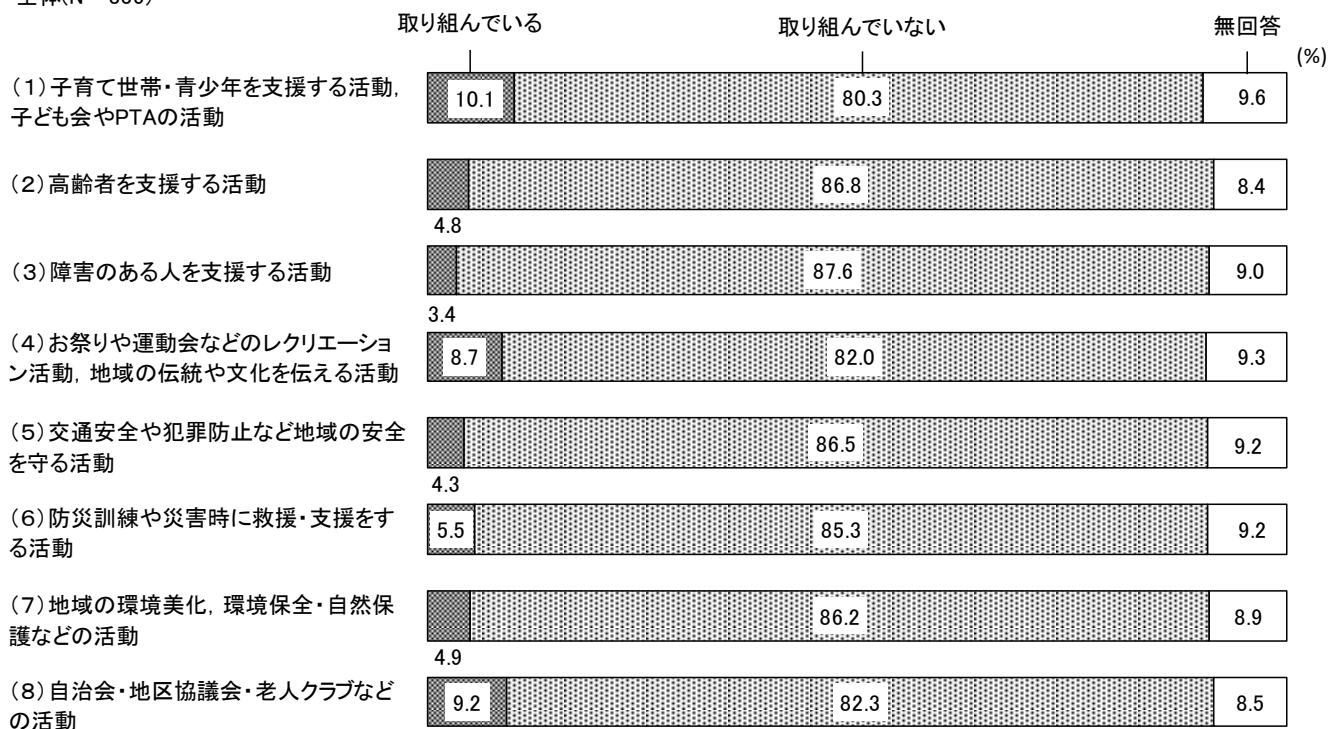
		(%)								
		PTA活動、子育て世帯・青少年を支援する活動	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	伝統や文化を伝える活動	お祭りや運動会などのレクリエーション活動	交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	地域の環境美化、自然保護などの活動	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動
全	体 (N=835)	27.2	39.9	35.9	35.3	39.6	51.5	44.1	22.8	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	25.4	34.3	29.9	35.8	25.4	49.3	40.3	16.4	
	若葉・調和 (n=110)	32.7	48.1	42.7	39.1	46.4	59.1	52.7	27.3	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	30.7	38.6	36.4	44.3	45.5	57.9	53.4	21.6	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	26.6	41.8	34.2	31.6	44.3	49.4	43.0	24.1	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	26.9	33.8	32.4	26.2	31.0	42.1	36.6	19.3	
	染地・杉森・布田 (n=101)	26.7	41.6	37.6	35.6	38.6	52.5	40.6	19.8	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	25.0	44.2	43.3	37.5	41.7	53.3	48.3	23.3	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	24.6	37.7	30.3	36.9	44.3	52.4	41.0	27.9	

② 地域活動・ボランティア活動の取組状況

- 地域活動・ボランティア活動への取組状況について、「取り組んでいる」の割合は、**全体**では、『子育て世帯・青少年を支援する活動，子ども会やPTAの活動（10.1%）』が最も多く、『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（9.2%）』、『お祭りや運動会などのレクリエーション活動，地域の伝統や文化を伝える活動（8.7%）』が続いている。

図表 2-46 地域活動・ボランティア活動の取組状況（全体）

全体(N= 835)



- 「取り組んでいる」の割合を**福祉圏域別**にみると，染地・杉森・布田小学校地域，若葉・調和小学校地域，上ノ原・柏野小学校地域，第一・富士見台・多摩川小学校地域で『子育て世帯・青少年を支援する活動，子ども会やPTAの活動』と『お祭りや運動会などのレクリエーション活動，地域の伝統や文化を伝える活動』が1割を超えている。染地・杉森・布田小学校地域では『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（15.8%）』も1割を超えている。
- また，緑ヶ丘・滝坂小学校地域で『お祭りや運動会などのレクリエーション活動，地域の伝統や文化を伝える活動（11.9%）』，北ノ台・深大寺小学校地域で『子育て世帯・青少年を支援する活動，子ども会やPTAの活動（10.1%）』と『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（16.5%）』が1割を超えている。

図表 2-47 地域活動・ボランティア活動への取組状況（全体、福祉圏域別）

<「取り組んでいる」の割合>

(%)

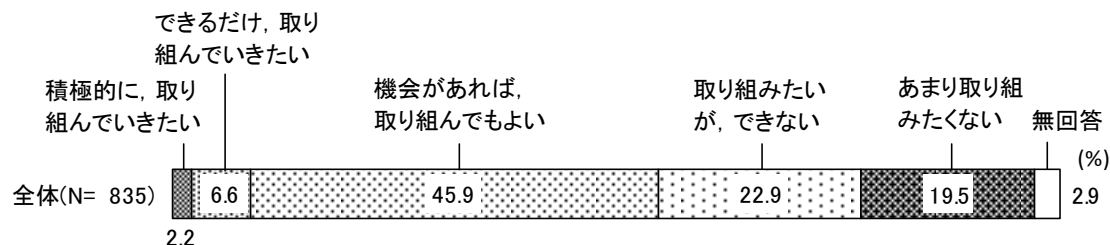
		P T A	子 育 活 動	高 齢 者 を 支 援 す る 活 動	障 害 の あ る 人 を 支 援 す る 活 動	伝 統 的 文 化 を 伝 え る 活 動	お 祭 り や シ ョ ウ ン の 活 動	お 祭 り や 運 動 会 な ど の 活 動	地 域 の 安 全 を 守 る 活 動	交 通 安 全 や 犯 罪 防 止 な ど の 活 動	支 援 を す る 活 動	防 災 訓 練 や 災 害 時 に 救 援 す る 活 動	全 地 域 の 環 境 美 化 、 環 境 保 護 な ど の 活 動	ク ラ ブ な ど の 活 動	自 治 会 ・ 地 区 協 議 会 ・ 老 人
全 体	(N=835)	10.1	4.8	3.4	8.7	4.3	5.5	4.9	9.2						
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	6.0	9.0	6.0	11.9	3.0	7.5	6.0	6.0						
	若葉・調和 (n=110)	10.0	4.5	4.5	10.0	5.5	4.5	4.5	8.2						
	上ノ原・柏野 (n= 88)	13.6	4.5	2.3	11.4	6.8	5.7	5.7	8.0						
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	10.1	8.9	7.6	5.1	6.3	5.1	5.1	16.5						
	第二・八雲台・国領 (n=145)	9.0	0.7	2.1	4.8	2.8	3.4	4.1	4.8						
	染地・杉森・布田 (n=101)	11.9	5.9	2.0	12.9	5.0	9.9	9.9	15.8						
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	10.0	5.8	4.2	10.0	4.2	5.0	3.3	7.5						
第三・石原・飛田給 (n=122)	9.8	3.3	0.8	6.6	2.5	4.9	2.5	9.8							

(2) 地域活動・ボランティア活動への取組意向（問 20）

問 20 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。（1つに○）

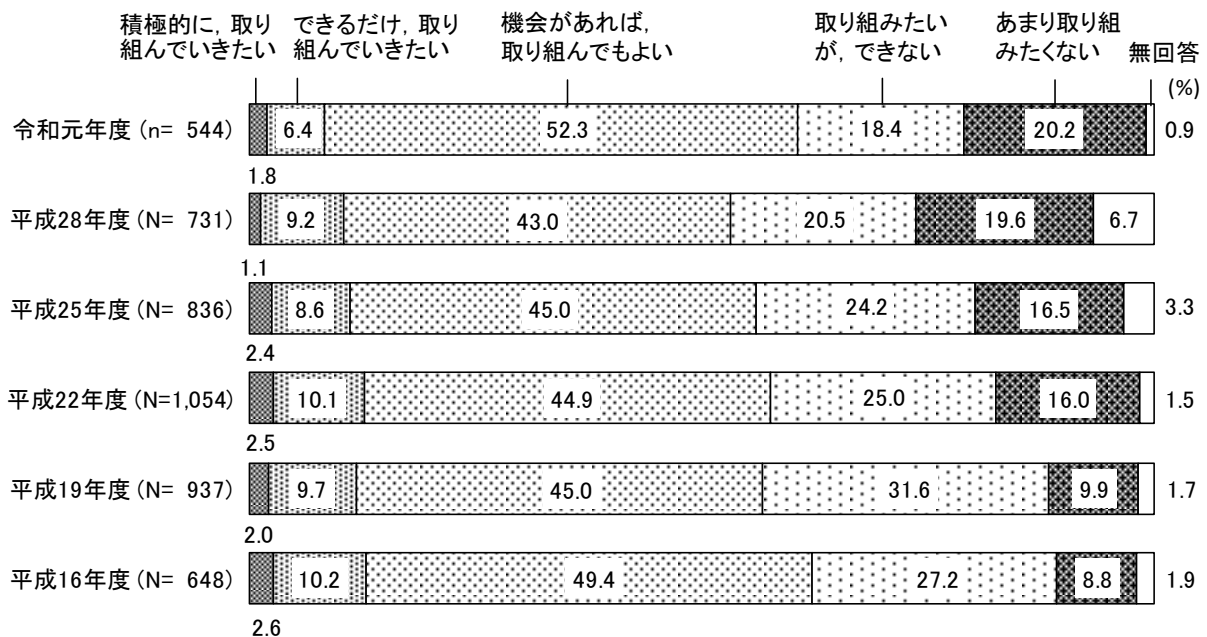
- **全体**では、「積極的に、取り組んでいきたい (2.2%)」と「できるだけ、取り組んでいきたい (6.6%)」と回答した人は少なくなっており、「機会があれば、取り組んでもよい (45.9%)」が最も多くなっている。

図表 2-48 地域活動・ボランティア活動への取組意向（全体）



- **経年**で比較すると、地域活動・ボランティア活動等の取組意向は、平成 16 年度から令和元年度まで、「機会があれば、取り組んでもよい」が 4～5 割で最も多くなっている。
- また、「あまり取り組みたくない」の割合は年度が進むほど高くなっており、令和元年度は 20.2%で初めて 2 割を超え、過去 6 回の調査で最も高くなっている。

図表 2-49 地域活動・ボランティア活動への取組意向（全体）【経年比較】

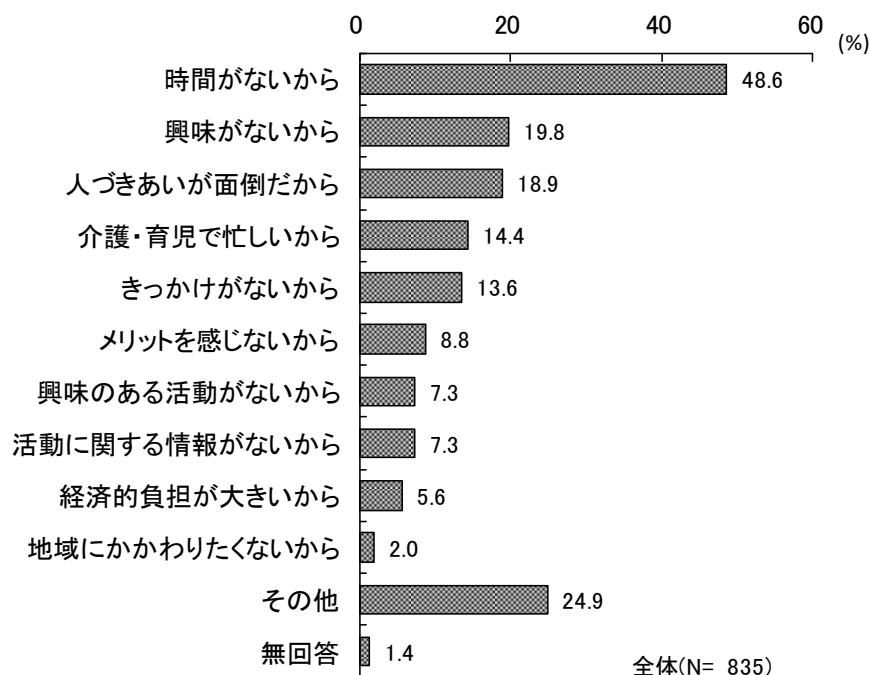


(3) 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由（問 20-1）

問 20-1 問 20 で 4 または 5 と答えた方におたずねします。
 地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。（いくつでも○）

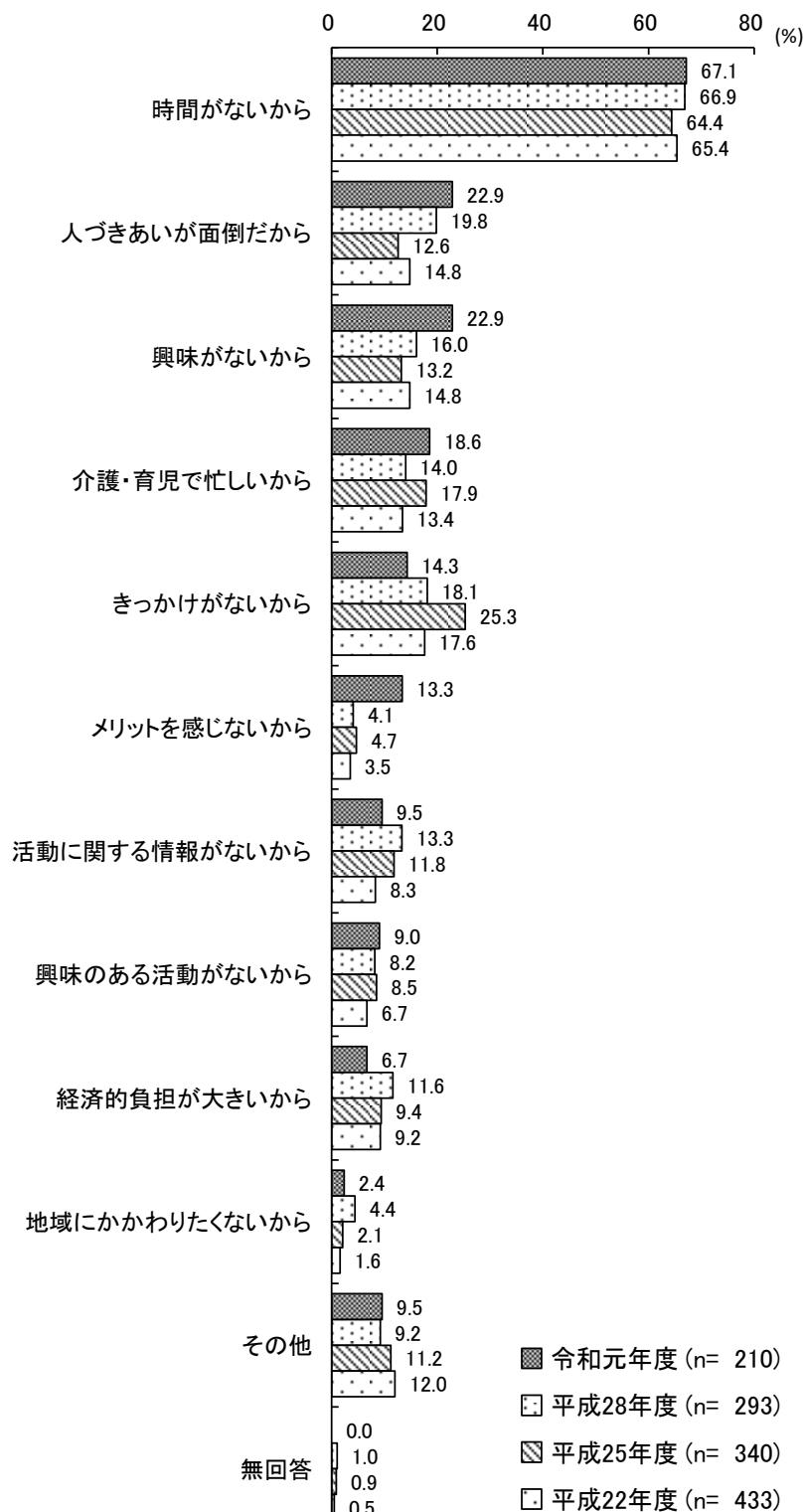
- 地域活動・ボランティア活動等の取組意向について「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と答えた人に、取り組まない理由をたずねたところ、**全体**では、「時間がないから（48.6%）」が最も多く、「興味がないから（19.8%）」、「人づきあいが面倒だから（18.9%）」が続いている。

図表 2-50 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由（全体：複数回答）
 <「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した人>



- **経年**で比較すると、平成22年度から令和元年度まで「時間がないから」が6割を超えて最も多くなっている。
- また、平成22年度・平成25年度は「きっかけがないから」が2番目に多かったが、平成28年度・令和元年度は「人づきあいが面倒だから」が2番目に多く、令和元年度は「興味がないから (22.9%)」も同率で2番目に多くなっている。

図表 2-51 地域活動・ボランティア活動に取り組みない理由（全体:複数回答）【経年比較】
 <「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した人>



(4) 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件 (問 21)

問 21 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件は、**全体**では、「時間や期間にあまりしぼられない (58.7%)」が最も多く、「身近なところに活動できる場があること (42.8%)」、「適切な指導者やリーダーがいること (21.8%)」が続いている。「条件によらず、参加したくない」は6.3%である。
- **地域活動の取組状況別**にみると、取り組んでいる人*も取り組んでいない人も「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多くなっている。また、取り組んでいる人は、「時間や期間にあまりしぼられない (71.4%)」、「身近なところに活動できる場があること (58.3%)」、「適切な指導者やリーダーがいること (32.8%)」が全体と比べ11ポイント以上高くなっている。

図表 2-52 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件 (全体、地域活動の取組状況別：複数回答)

		(%)						
		や介子 つ護ど てをも も代の らわ世 うり話 にや	紹に活 介関動 しす内 てる容 く情や れ報団 るを体	参友 加人 で等 きと る一 こ緒 とに	いま時 り間 しや ば期 ら間 れに なあ	あ活身 る動近 こでな ととき るこ 場ろ がに	こり適 とー切 ダな ー指 が導 い者 るや	
全	体 (N=835)	7.9	19.9	16.8	58.7	42.8	21.8	
地域活動の 取組状況別	取り組んでいる (n=192)	12.5	24.5	24.5	71.4	58.3	32.8	
	取り組んでいない (n=575)	7.1	19.8	15.0	58.8	40.3	19.3	

		ると活 (で動 報メに 酬リ参 等)ツ加 トす がる あこ	援活 助動 が資 あ金 の補 助 や	そ の 他	分 か ら な い	加条 し件 たに くよ な ら ず、 参	無 回 答
全	体 (N=835)	15.3	11.0	4.2	10.4	6.3	6.0
地域活動の 取組状況別	取り組んでいる (n=192)	12.5	12.0	1.6	7.3	2.1	2.1
	取り組んでいない (n=575)	17.4	11.5	5.2	11.5	7.3	3.7

*地域活動・ボランティア活動への取組状況 (問 19) で (1) ~ (8) の地域活動・ボランティア活動のうち1つでも「取り組んでいる」と答えた人。

(5) 市の福祉ボランティア養成講座の認知度，参加意向（問22）

問22 調布市では，次のような福祉ボランティアの養成講座を開催しています。

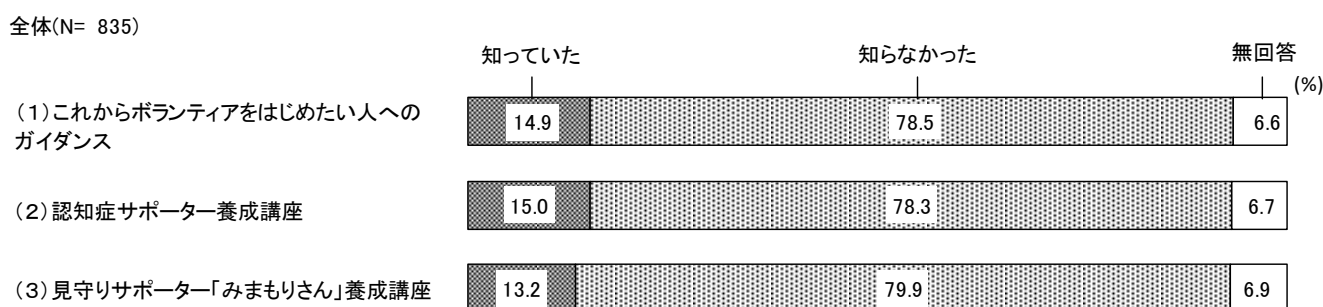
- ①あなたは，次のような養成講座をご存知でしたか。
- ②あなたは，今後次のような養成講座に参加したいと思いますか。

(1)～(3)について，①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 市の福祉ボランティア養成講座の認知度

- 市の福祉ボランティア養成講座の認知度は，すべての項目で「知っていた」の割合が1割台である。

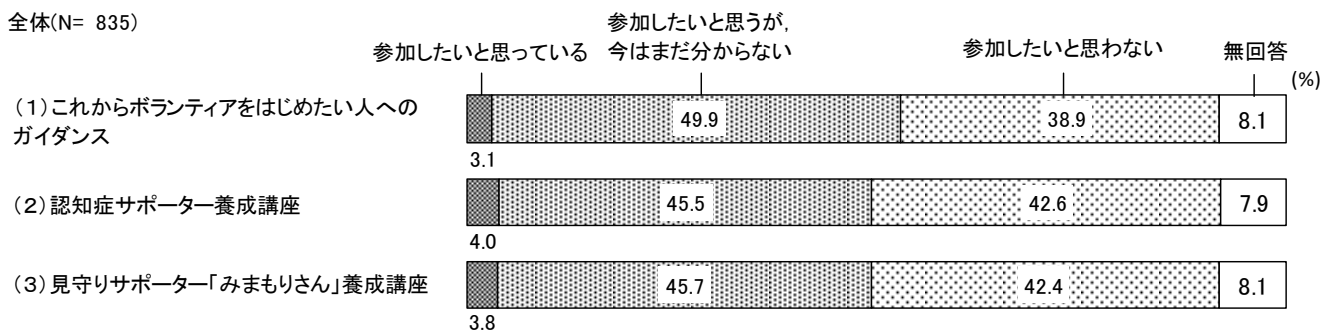
図表 2-53 市の福祉ボランティア養成講座の認知度（全体）



② 市の福祉ボランティア養成講座への参加意向

- 市の福祉ボランティア養成講座への参加意向は，すべての項目で「参加したいと思っている」は5%未満であるが，「参加したいと思うが，今はまだ分からない」は4割台となっている。
- 一方，「参加したいと思わない」はすべての項目で約4割となっている。

図表 2-54 市の福祉ボランティア養成講座への参加意向（全体）



(6) 身近な拠点の利用状況 (問 23)

問 23 これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。
(いくつでも○)

- 身近な拠点の利用状況は、**全体**では、「図書館 (34.9%)」が最も多く、「文化会館たづくり (24.7%)」、「小学校・中学校 (12.9%)」が続いている。また、「特にない」の割合は39.0%である。
- **性・年代別**にみると、男性・18～29歳と女性・18～29歳で「個人宅」、男性・30～49歳と女性・30～49歳で「小学校・中学校」が全体と比べ5ポイント以上高くなっており、女性・18～29歳で「文化会館たづくり (30.8%)」、女性・30～49歳で「図書館 (40.6%)」も全体と比べ5ポイント以上高くなっている。また、女性・50～64歳で「文化会館たづくり (30.9%)」、女性・65歳以上で「地域福祉センター (16.8%)」が全体と比べ7ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、北ノ台・深大寺小学校地域と上ノ原・柏野小学校地域で「地域福祉センター」、染地・杉森・布田小学校地域で「図書館 (43.6%)」と「小学校・中学校 (18.8%)」、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「文化会館たづくり (38.3%)」と「図書館 (41.7%)」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。また、緑ヶ丘・滝坂小学校地域と若葉・調和小学校地域で「特にない」の割合が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

図表 2-55 身近な活動拠点の利用状況 (全体, 性・年代別, 福祉圏域別: 複数回答)

			文化会館 たづくり	地域福祉 センター	総合福祉 センター	市民活動 支援セン ター	ふれあいの 家	公民館	図書 館
全 体 (N=835)			24.7	9.5	2.6	1.8	4.4	3.5	34.9
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	12.9	0.0	0.0	3.2	3.2	3.2	29.0
		30～49歳 (n= 98)	24.5	3.1	0.0	0.0	2.0	0.0	34.7
		50～64歳 (n= 93)	17.2	8.6	1.1	3.2	6.5	1.1	32.3
		65歳以上 (n=116)	23.3	12.1	5.2	1.7	3.4	4.3	30.2
	女性	18～29歳 (n= 26)	30.8	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0	38.5
		30～49歳 (n=160)	22.5	6.9	0.6	1.9	5.0	3.1	40.6
		50～64歳 (n=136)	30.9	9.6	2.9	2.9	4.4	5.1	36.8
	65歳以上 (n=161)	28.6	16.8	5.6	1.2	4.3	6.2	33.5	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)		11.9	7.5	3.0	0.0	1.5	1.5	26.9
	若葉・調和 (n=110)		20.0	7.3	0.9	0.0	2.7	6.4	30.9
	上ノ原・柏野 (n= 88)		22.7	14.8	4.5	2.3	4.5	8.0	34.1
	北ノ台・深大寺 (n= 79)		19.0	15.2	5.1	0.0	3.8	1.3	29.1
	第二・八雲台・国領 (n=145)		22.8	6.2	1.4	6.2	6.2	1.4	35.9
	染地・杉森・布田 (n=101)		30.7	12.9	2.0	2.0	2.0	2.0	43.6
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)		38.3	2.5	3.3	0.0	3.3	3.3	41.7
第三・石原・飛田給 (n=122)		24.6	12.3	2.5	1.6	8.2	4.1	32.0	

			小学校・ 中学校	民間の 施設	個人 宅	その 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (N=835)			12.9	1.7	4.3	3.7	39.0	3.7
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	6.5	3.2	12.9	3.2	54.8	0.0
		30～49歳 (n= 98)	23.5	0.0	5.1	4.1	43.9	1.0
		50～64歳 (n= 93)	10.8	2.2	0.0	4.3	47.3	1.1
		65歳以上 (n=116)	4.3	1.7	4.3	0.9	41.4	5.2
	女性	18～29歳 (n= 26)	19.2	0.0	11.5	3.8	38.5	0.0
		30～49歳 (n=160)	25.0	1.9	5.6	5.0	38.1	0.6
		50～64歳 (n=136)	14.7	2.2	1.5	4.4	37.5	1.5
	65歳以上 (n=161)	1.9	1.9	4.3	3.7	29.2	11.2	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)		10.4	0.0	3.0	1.5	49.3	4.5
	若葉・調和 (n=110)		14.5	0.9	2.7	4.5	44.5	2.7
	上ノ原・柏野 (n= 88)		15.9	1.1	6.8	2.3	34.1	3.4
	北ノ台・深大寺 (n= 79)		12.7	3.8	2.5	5.1	36.7	8.9
	第二・八雲台・国領 (n=145)		9.7	1.4	7.6	6.2	40.0	3.4
	染地・杉森・布田 (n=101)		18.8	4.0	5.0	2.0	35.6	3.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)		10.8	1.7	2.5	3.3	32.5	1.7
第三・石原・飛田給 (n=122)		12.3	0.8	3.3	3.3	41.8	3.3	

(7) 拠点の機能に関する希望 (問 24)

問 24 あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで○)

- 拠点の機能に関する希望は、**全体**では、「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口 (38.6%)」が最も多く、「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース (32.5%)」、「団体活動等で借りられる集会室等の部屋 (14.3%)」が続いている。
- **性・年代別**にみると、男性・18～29歳、男性・30～49歳、女性・18～29歳、女性・30～49歳で「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース」、男性・50～64歳、男性・65歳以上、女性・50～64歳、女性・65歳以上で「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口」がそれぞれ最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、北ノ台・深大寺小学校地域で「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース (31.6%)」、それ以外のすべての地域で「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口」がそれぞれ最も多くなっている。

6 住民参加の地域づくり

(1) 地域のつながりを感じる程度（問 25）

問 25 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）はあると感じますか。（1つに○）

- 地域のつながりを感じる程度は、**全体**では、《感じない》*が 55.1%であり、5割を超えている。
- **性・年代別**にみると、《感じる》*の割合は、男性・18～29歳で48.4%と最も高く、女性・18～29歳で34.6%と最も低くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、《感じる》の割合は染地・杉森・布田小学校地域で49.5%と最も高く、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で35.8%と最も低くなっている。

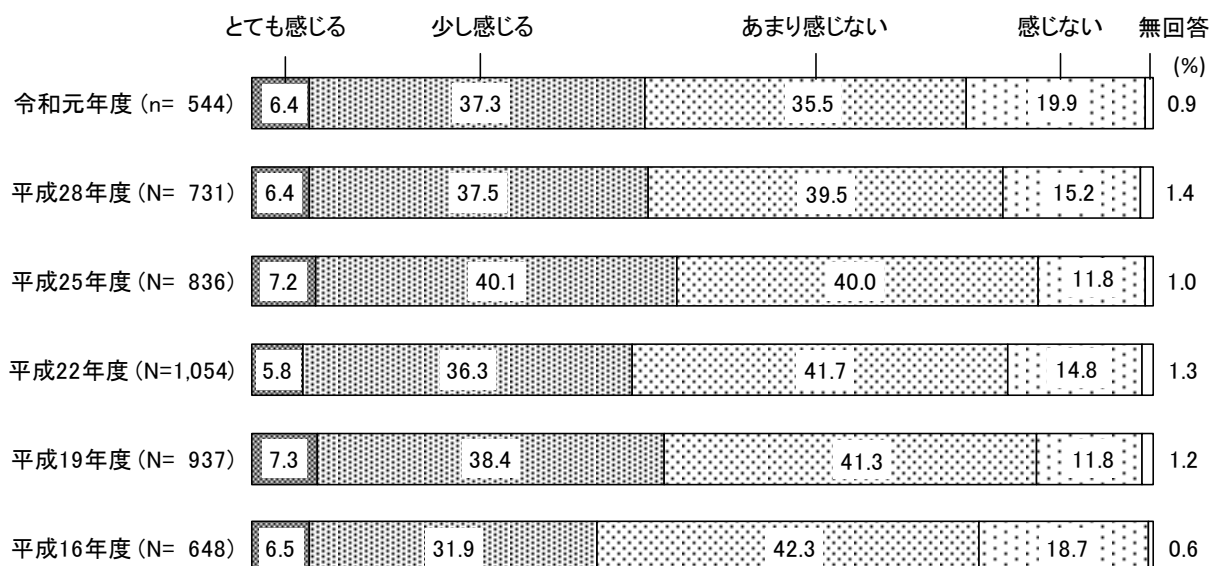
図表 2-57 地域のつながりを感じる程度（全体，性・年代別，福祉圏域別）

		(%)					(%)			
		とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答	《感じる》	《感じない》	無回答	
全 体 (N=835)		7.8	35.2	35.8	19.3	1.9	43.0	55.1	1.9	
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	3.2	45.2	29.0	22.6	0.0	48.4	51.6	0.0
		30～49歳 (n= 98)	7.1	30.6	42.9	19.4	0.0	37.7	62.3	0.0
		50～64歳 (n= 93)	7.5	33.3	37.6	19.4	2.2	40.8	57.0	2.2
		65歳以上 (n=116)	9.5	30.2	34.5	22.4	3.4	39.7	56.9	3.4
	女性	18～29歳 (n= 26)	3.8	30.8	19.2	46.2	0.0	34.6	65.4	0.0
		30～49歳 (n=160)	6.9	40.6	31.9	20.0	0.6	47.5	51.9	0.6
		50～64歳 (n=136)	5.9	40.4	37.5	14.7	1.5	46.3	52.2	1.5
		65歳以上 (n=161)	10.6	31.1	39.1	15.5	3.7	41.7	54.6	3.7
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	4.5	31.3	35.8	23.9	4.5	35.8	59.7	4.5	
	若葉・調和 (n=110)	8.2	37.3	38.1	15.5	0.9	45.5	53.6	0.9	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	6.8	33.0	44.3	15.9	0.0	39.8	60.2	0.0	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	11.4	36.7	27.8	19.0	5.1	48.1	46.8	5.1	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	5.5	33.1	35.9	24.1	1.4	38.6	60.0	1.4	
	染地・杉森・布田 (n=101)	11.9	37.6	33.7	16.8	0.0	49.5	50.5	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	8.3	32.5	38.4	20.0	0.8	40.8	58.4	0.8	
第三・石原・飛田給 (n=122)	5.7	40.1	32.0	18.9	3.3	45.8	50.9	3.3		

※《感じる》：「とても感じる」，「少し感じる」の合計。
 《感じない》：「あまり感じない」，「感じない」の合計。

- **経年**で比較すると、令和元年度は「少し感じる (37.3%)」が最も多く、「あまり感じない (35.5%)」が続いているが、平成16年度から平成28年度まで「あまり感じない」が最も多く、「少し感じる」が続いている。また、「感じない」は19.9%で、過去6回の調査で最も高くなっている。

図表 2-58 地域のつながりを感じる程度 (全体) 【経年比較】



(2) 地域のつながりの必要性 (問 26)

問 26 あなたは暮らしの中で、地域のつながり (住民同士の助け合い・支え合いなど) は必要だと思いますか。(1つに○)

- 地域のつながりの必要性は、**全体**では、《必要あり》*が87.2%となっている。
- **年代別**にみると、《必要あり》の割合は、50歳代と70歳代で9割を超え高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、《必要あり》の割合は、第三・石原・飛田給小学校地域と上ノ原・柏野小学校地域で9割を超え高くなっている。

II アンケート調査の結果

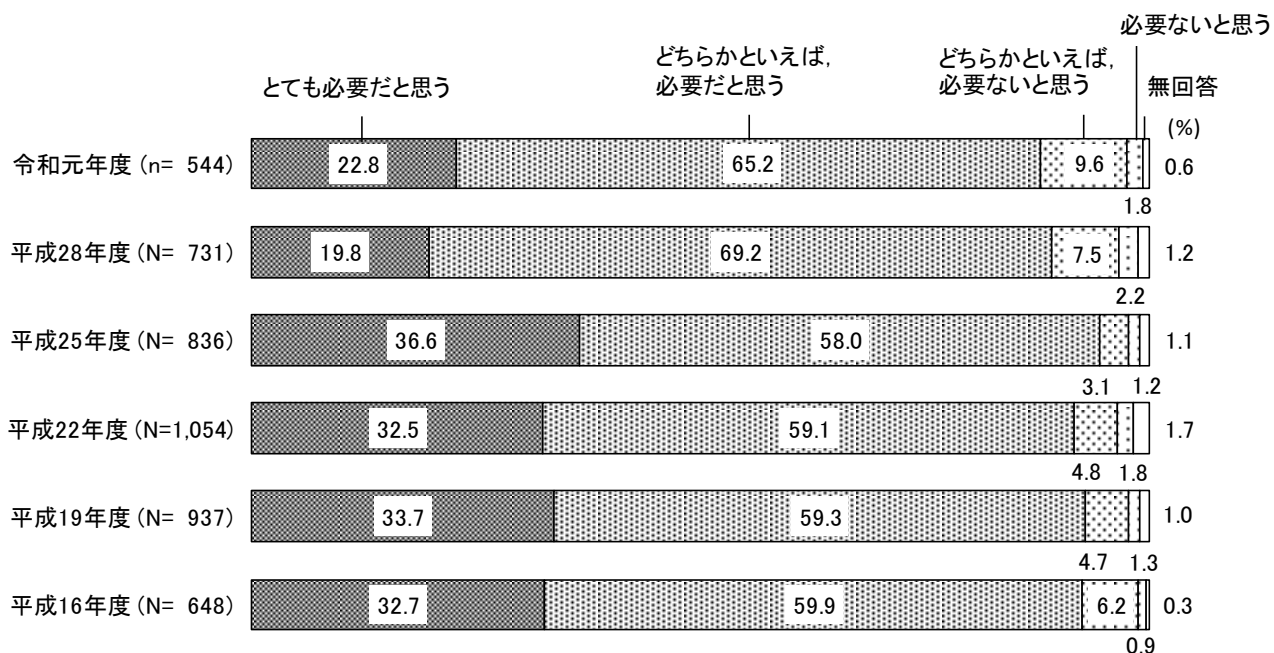
図表 2-59 地域のつながりの必要性（全体、年代別、福祉圏域別）

		(%)					(%)		
		とても必要だ と思う	と えど ち ら か と い え ば 、 必 要 だ と 思 う	い えど ち ら か と い え ば 、 必 要 な い と 思 う	う 必 要 な い と 思 う	無 回 答	《必要あり》	《必要なし》	無 回 答
全	体 (N=835)	26.6	60.6	8.7	2.2	1.9	87.2	10.9	1.9
年 代 別	10歳代 (n= 14)	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0
	20歳代 (n= 43)	7.0	72.0	16.3	4.7	0.0	79.0	21.0	0.0
	30歳代 (n=116)	20.7	69.0	8.6	1.7	0.0	89.7	10.3	0.0
	40歳代 (n=142)	23.2	63.4	11.3	2.1	0.0	86.6	13.4	0.0
	50歳代 (n=155)	27.7	64.0	5.8	0.6	1.9	91.7	6.4	1.9
	60歳代 (n=135)	26.7	60.7	6.7	3.7	2.2	87.4	10.4	2.2
	70歳代 (n=131)	32.8	58.7	6.9	0.8	0.8	91.5	7.7	0.8
	80歳以上 (n= 87)	36.8	41.4	8.0	4.6	9.2	78.2	12.6	9.2
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	28.4	52.2	14.9	1.5	3.0	80.6	16.4	3.0
	若葉・調和 (n=110)	28.2	60.9	9.1	0.9	0.9	89.1	10.0	0.9
	上ノ原・柏野 (n= 88)	25.0	65.9	5.7	3.4	0.0	90.9	9.1	0.0
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	29.1	50.7	10.1	3.8	6.3	79.8	13.9	6.3
	第二・八雲台・国領 (n=145)	23.4	66.2	6.2	2.8	1.4	89.6	9.0	1.4
	染地・杉森・布田 (n=101)	25.7	59.4	11.9	2.0	1.0	85.1	13.9	1.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	31.7	56.6	9.2	1.7	0.8	88.3	10.9	0.8
	第三・石原・飛田給 (n=122)	23.0	67.2	5.7	1.6	2.5	90.2	7.3	2.5

※ 《必要あり》： 「とても必要だと思う」、「どちらかといえば、必要だと思う」の合計。
 《必要なし》： 「どちらかといえば、必要ないと思う」、「必要ないと思う」の合計。

- **経年**で比較すると、平成 16 年度から令和元年度まで「どちらかといえば必要だと思う」が 6 割前後で最も多くなっている。
- また、令和元年度の《必要あり》の割合は 88.0%で、過去 6 回の調査で、最も低くなっている。

図表 2-60 地域のつながりの必要性（全体）【経年比較】



7 地域社会に対する考え方

(1) ソーシャル・インクルージョンに関する意識 (問 27)

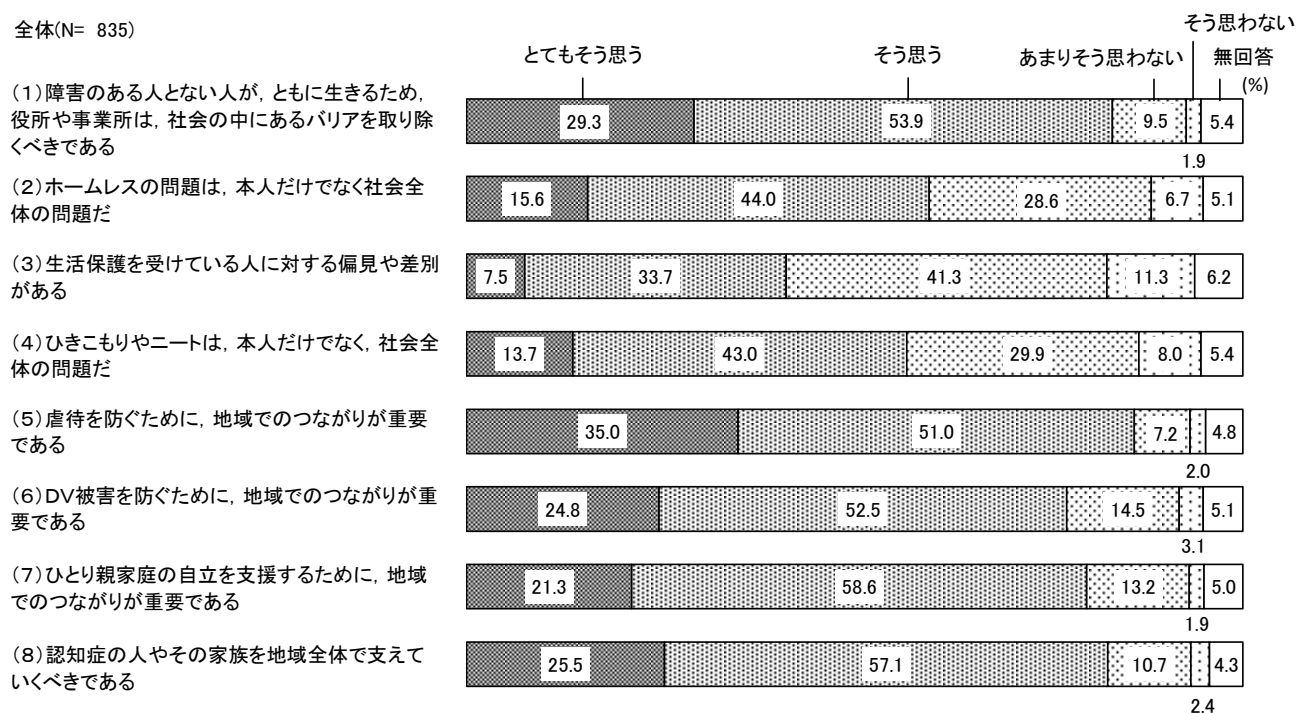
問 27 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- ソーシャル・インクルージョンに関する意識は、『虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である』、『障害のある人となない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべきである』で、《そう思う》の割合※がそれぞれ 86.0%，83.2%と高くなっている。
- また、『生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある』は《そう思う》の割合が 41.2%と低くなっている。

図表 2-61 ソーシャル・インクルージョンに関する意識 (全体)

全体(N= 835)



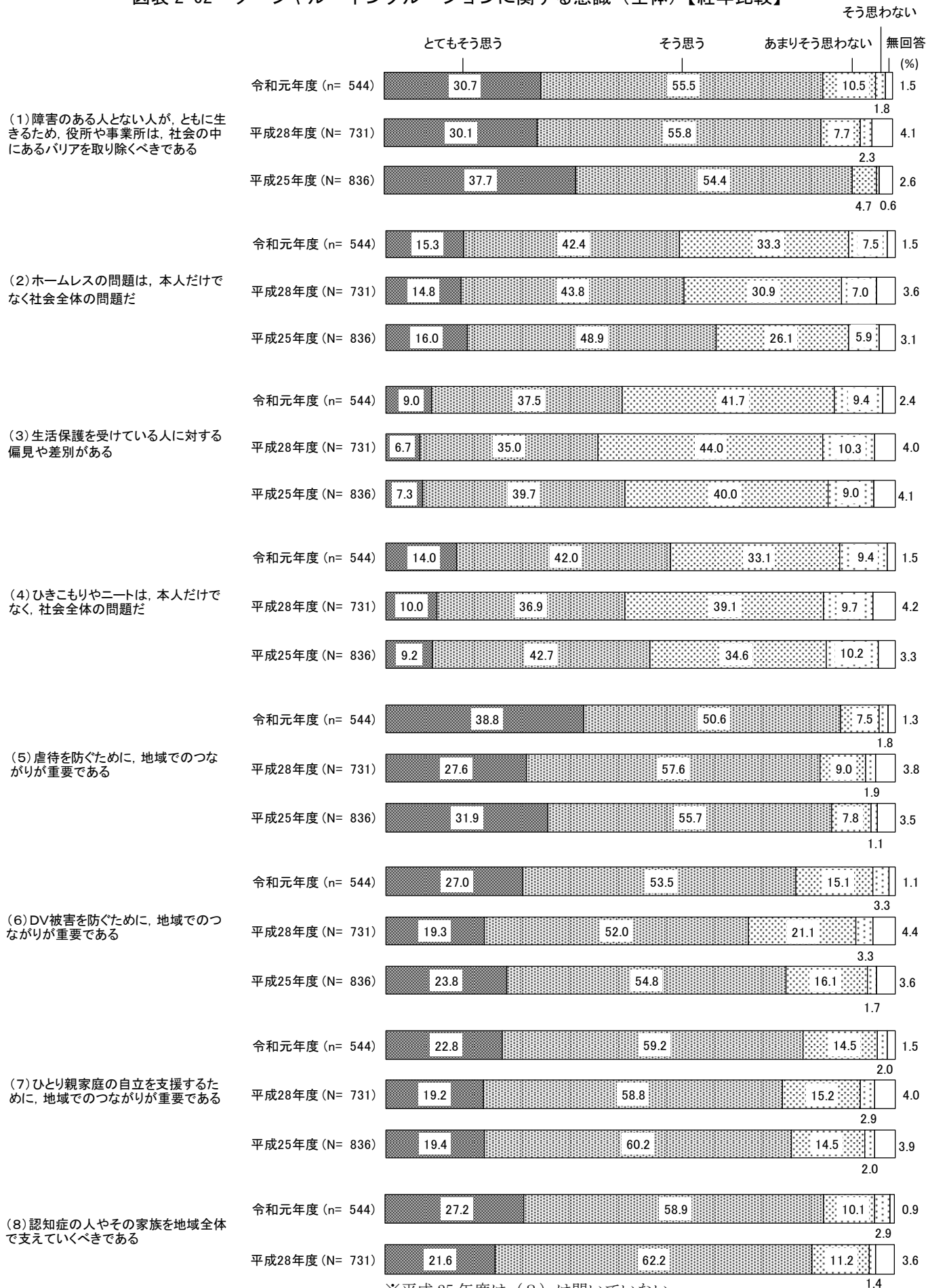
※ 《そう思う》: 「とてもそう思う」と「そう思う」の合計。

《そう思わない》: 「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計。

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成 28 年に比べ、《そう思う》の割合が『障害のある人となない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべきである』と『ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題だ』を除くすべての項目で高くなっている。上記 2 項目の《そう思う》の割合は大きな変化がみられない。

II アンケート調査の結果

図表 2-62 ソーシャル・インクルージョンに関する意識（全体）【経年比較】



※平成 25 年度は (8) は聞いていない

(2) 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無 (問 28)

問 28 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人を知っていますか。(1つに○)

- 福祉サービスの利用に結びついていない人の有無は、**全体**では、「知っている」が3.0%である。
- **福祉圏域別**にみると、「知っている」の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域で5.1%と最も高くなっている。

図表 2-63 福祉サービスの利用に結びついていない人の有無 (全体、福祉圏域別)

		(%)		
		知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全	体 (N=835)	3.0	92.2	4.8
福祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	3.0	92.5	4.5
	若葉・調和 (n=110)	0.9	94.6	4.5
	上ノ原・柏野 (n= 88)	2.3	94.3	3.4
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	5.1	86.0	8.9
	第二・八雲台・国領 (n=145)	2.1	93.8	4.1
	染地・杉森・布田 (n=101)	4.0	93.0	3.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	3.3	90.9	5.8
	第三・石原・飛田給 (n=122)	3.3	92.6	4.1

(3) 福祉サービスに結びついていない事例の具体的な内容 (問 28-1)

問 28-1 問 28 で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的にご記入ください。

- 支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスに結びついていない人が「いる」と回答した人に、具体的な状況を自由記述形式でたずねたところ、全体で 16 件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

(保育園に入れない)

- ・認可保育園や幼稚園のサービス利用ができない。数が少ないことや選考プロセスの不適切な基準を見直すべきと考える。(男性, 30 歳代, 抜粋)

(独居の高齢者)

- ・独居老人, 他人と関わりたがらない。(女性, 80 歳代)
- ・高齢者が一人で生活している場合, 認知症が進んでいても, 周囲が気づきにくく,

Ⅱ アンケート調査の結果

またどのような形で支援すべきか迷う。実際には地域包括支援センターに連絡し、担当者に来てもらいました。これからそうした人が増えると思うので、見回りなどさらに必要と思う。(女性, 70 歳代)

(高齢者の夫婦)

- ・近所に高齢者夫婦が住んでいる。ご主人はおそらく介護認定申請が必要だと思われるが、申請、認定には結びついていない様子のため、奥さんが精神的、体力的に辛くなっていることが伺える。(女性, 40 歳代, 抜粋)
- ・調布市に住む高齢の両親。普通に生活することも困難。民生委員の方の面接をしましたが、年をとるとプライドが高くなり、できないことを認めたくない。本当の所を見極めてほしい。言葉だけを信じるのではなく。もっと丁寧な対応をしていただきたい。(女性, 50 歳代)

(本人又は家族が自覚していない, 拒否する等で支援できていない)

- ・ひとり暮らしのご婦人です。認知症が始まっていますが、本人は自分は大丈夫！と言ひ、人に頼るのを嫌います。(女性, 60 歳代)
- ・認知症で本人も家族も認めず、悪化するだけ。他の病気で救急車で病院へ運ばれ、支援につながった。(女性, 50 歳代, 抜粋)
- ・母親が認知症だが、父親は認めていない。子どもが地域包括支援センターに相談し、訪問までこぎつけたが、父親が拒否してしまったケース。結局、家族がストレスをためている。(女性, 30 歳代, 抜粋)
- ・本人はサービスを受けたいと思っているが、家族が協力的ではない。(女性, 70 歳代)
- ・発達障害を認めていない親の家庭。(女性, 80 歳代)

(子どもがいる家庭)

- ・両親が遅くまで帰宅せず、親子間のコミュニケーションが充分でないと思われる小学生の子がいます。同級生に対してトラブルがあると聞いています。(男性, 40 歳代)

(ひきこもり)

- ・知人の息子さんで、ひきこもり状態のようです。(女性, 60 歳代, 抜粋)

(その他)

- ・目が見えなくなったおばあちゃんを、30 才の孫が仕事をやめて介護している。(女性, 50 歳代)
- ・困ったことにマッチするサービスがあるのを知らない。(男性, 50 歳代)

8 福祉のまちづくり

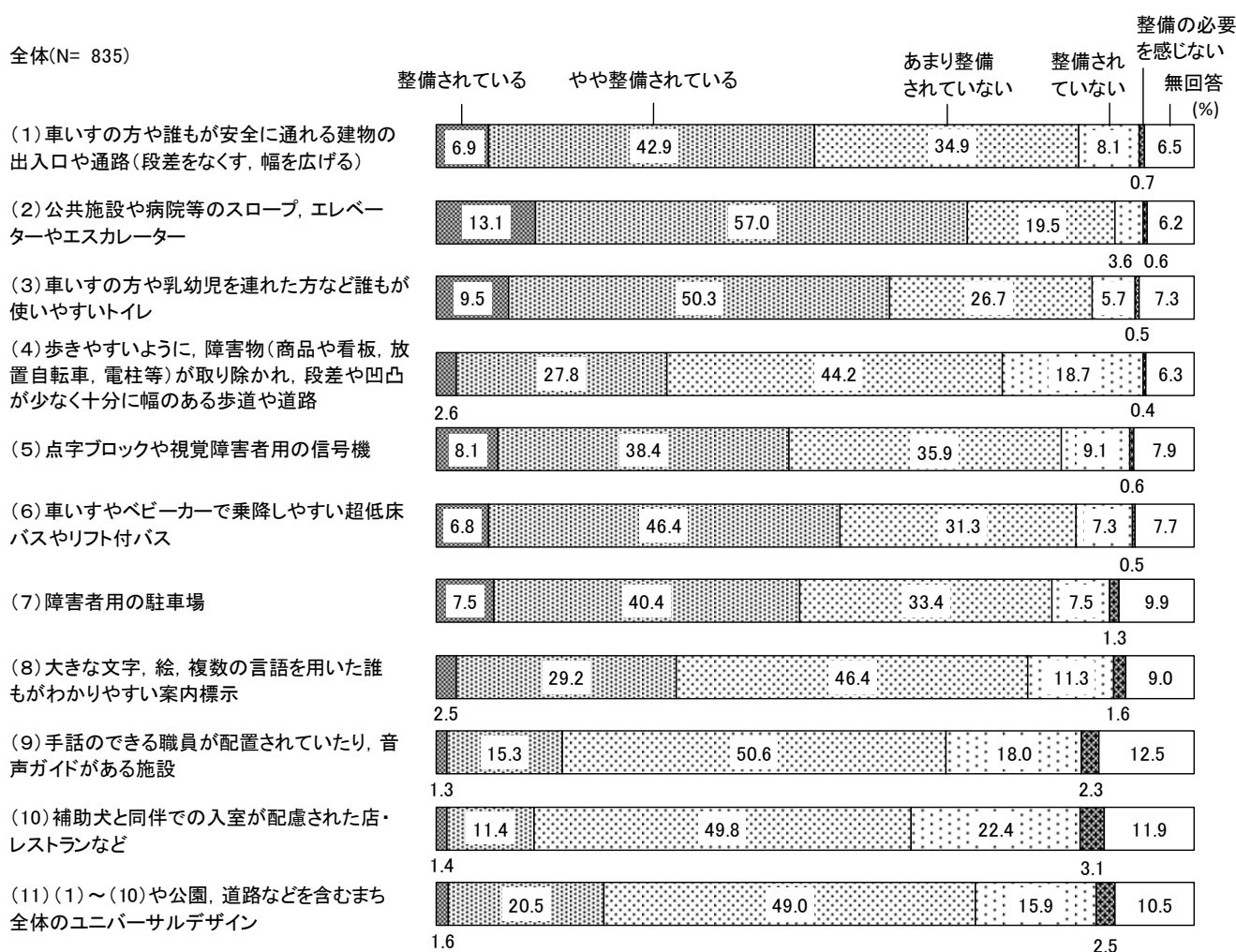
(1) バリアフリー化の状況 (問 29)

問 29 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1) ~ (11) について、それぞれ1つに○をつけてください。

- バリアフリー化の状況は、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』、『車いすの方や乳幼児を連れた方など誰もが使いやすいトイレ』では、《整備されている》*がそれぞれ70.1%、59.8%と高くなっている。
- 一方、『補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど』、『手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設』では、《整備されている》がそれぞれ12.8%、16.6%と低くなっている。

図表 2-64 バリアフリー化の状況 (全体)



※ 《整備されている》: 「整備されている」と「やや整備されている」の合計。
 《整備されていない》: 「あまり整備されていない」と「整備されていない」の合計。

9 調布市の保健福祉施策

(1) 保健福祉施策（サービス）に関する情報入手の媒体（問 30）

問 30 あなたは、調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報を、どこから入手していますか。（いくつでも○）

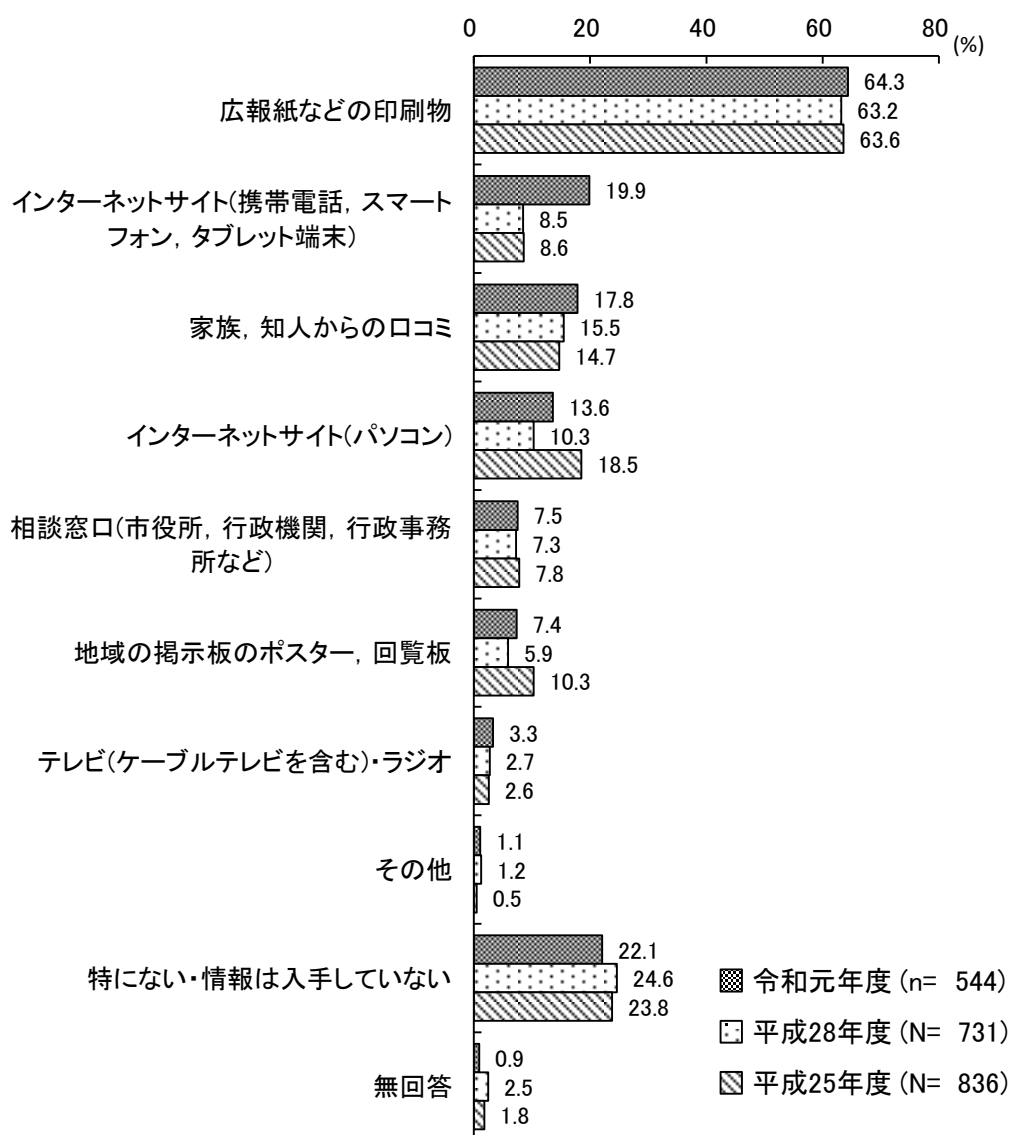
- 保健福祉施策（サービス）に関する情報入手の媒体は、**全体**では、「広報紙などの印刷物（市報ちょうふ、暮らしの便利帳、市議会だより、ふくしの窓（社会福祉協議会の会報）など）(66.7%)」が最も多く、「家族、知人からの口コミ(19.0%)」、「インターネットサイト(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末)(14.4%)」が続いている。「特にない・情報は入手していない」は18.1%である。
- **性・年代別**にみると、すべての性・年代で「広報紙などの印刷物（市報ちょうふ、暮らしの便利帳、市議会だより、ふくしの窓（社会福祉協議会の会報）など）」が最も多く、特に女性・30～49歳、女性・50～64歳、女性・65歳以上で7割を超えている。また、「特にない・情報は入手していない」は男女ともに年代が下がるほど割合が高くなっており、男性・18～29歳で51.6%、女性・18～29歳で34.6%と高くなっている。

図表 2-65 保健福祉施策（サービス）に関する情報入手の媒体（全体、性・年代別：複数回答）

		家族、知人からの口コミ	相談窓口（市役所、行政機関、行政事務所など）	会報（会報）など	広報紙などの印刷物（市報ちょうふ、暮らしの便利帳、市議会だより、ふくしの窓（社会福祉協議会の会報）など）	地域の掲示板のポスター、回覧板	テレビ（ケーブルテレビを含む）	インターネットサイト（パソコン）	スマートフォン、タブレット（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末）	その他	特にない・情報は入手していない	無回答
全 体 (N=835)		19.0	8.9	66.7	9.1	4.1	10.4	14.4	1.3	18.1	2.4	
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	19.4	3.2	25.8	9.7	0.0	12.9	22.6	0.0	51.6	0.0
		30～49歳 (n= 98)	21.4	4.1	53.1	5.1	1.0	20.4	25.5	3.1	28.6	0.0
		50～64歳 (n= 93)	19.4	8.6	65.6	8.6	4.3	17.2	7.5	0.0	21.5	1.1
		65歳以上 (n=116)	22.4	11.2	69.8	12.1	4.3	6.0	3.4	2.6	14.7	4.3
	女性	18～29歳 (n= 26)	23.1	3.8	50.0	3.8	3.8	0.0	23.1	0.0	34.6	3.8
		30～49歳 (n=160)	18.1	6.3	72.5	8.8	3.1	10.6	25.0	0.6	16.9	0.6
		50～64歳 (n=136)	12.5	12.5	73.5	6.6	5.1	12.5	16.9	1.5	14.7	1.5
		65歳以上 (n=161)	21.7	11.8	73.9	12.4	6.8	3.1	5.0	1.2	7.5	4.3

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成 25 年度・平成 28 年度と同様に、「広報誌などの印刷物」が6割を超え、最も多くなっている。
- また、令和元年度は平成 25 年度・平成 28 年度と比べ、「インターネットサイト(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末)」が10ポイント以上高くなっている。

図表 2-66 保健福祉施策（サービス）に関する情報入手の媒体（全体：複数回答）【経年比較】

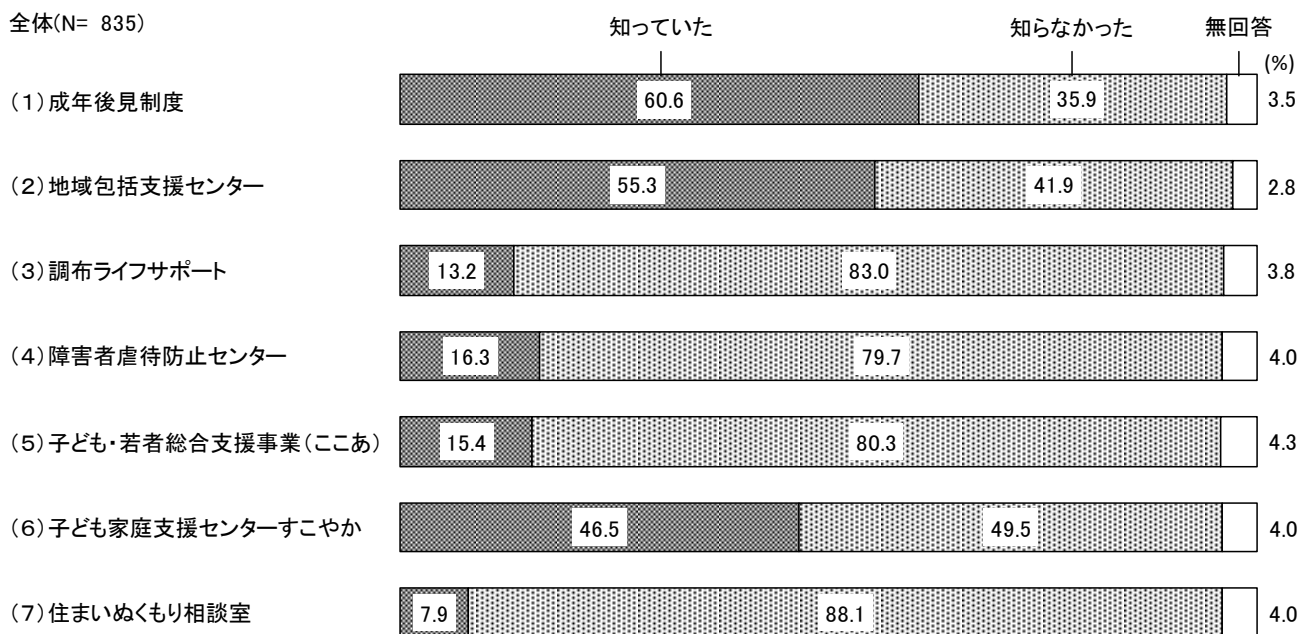


(2) 制度や相談窓口の認知度 (問 31)

問 31 市民の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがあります
 が、あなたが知っていたものはありますか。
 (1)～(7)について、それぞれ1つに○をつけてください。

○ 制度や相談窓口の認知度は、**全体**では、『成年後見制度 (60.6%)』や『地域包括支援センター (55.3%)』、『子ども家庭支援センターすこやか (46.5%)』の認知度が高くなっている。一方、『障害者虐待防止センター (16.3%)』、『子ども・若者総合支援事業 (ここあ) (15.4%)』、『調布ライフサポート (13.2%)』、『住まいぬくもり相談室 (7.9%)』の認知度が低くなっている。

図表 2-67 制度や相談窓口の認知度 (全体)



(3) 今後力を入れるべき保健福祉施策（サービス）（問32）

問32 調布市において、今後、特に力を入れていくべきと思う保健福祉施策（サービス）は何ですか。（3つまで○）

- 今後力を入れるべき保健福祉施策（サービス）は、**全体**では、「高齢者の介護や生活支援施策（56.0%）」が最も多く、「少子化対策や子育て支援施策（42.8%）」、「高齢者や障害者等に配慮したまちづくり施策（35.3%）」が続いている。
- **年代別**にみると、10歳代、20歳代、30歳代で「少子化対策や子育て支援施策」、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上で「高齢者の介護や生活支援施策」がそれぞれ最も多くなっている。
- **性・年代別**にみると、男女ともに18～29歳、30～49歳で「少子化対策や子育て支援施策」、50～64歳、65歳以上で「高齢者の介護や生活支援施策」が最も多くなっている。女性・18～29歳で「高齢者の介護や生活支援施策（50.0%）」も最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、すべての地域で「高齢者の介護や生活支援施策」が最も多くなっている。また、若葉・調布小学校地域で「少子化対策や子育て支援施策（49.1%）」、「市民の生きがいや社会参加への支援施策（21.8%）」、「ボランティア活動の振興・支援施策（16.4%）」、上ノ原・柏野小学校地域で「市民の生きがいや社会参加への支援施策（23.9%）」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「高齢者の介護や生活支援施策（56.9%）」が最も多いが、「少子化対策や子育て支援施策（32.8%）」は、全体と比べ10ポイント低くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 2-68 今後力を入れるべき保健福祉施策（サービス）
 （全体，年代別，性・年代別，福祉圏域別，家族構成別：複数回答（3つまで））

(%)

		援少 施子 策化 対 策 や 子 育 て 支	障 害 者 (児) 支 援 施 策	援高 施老 策者 の 介 護 や 生 活 支	市 民 の 健 康 づ くり 施 策	参市 加民 への 支 援 施 策 が い や 社 会	興ポ ・ラ 支ン 援テ 施イ 策ア 活 動 の 振	策生 活 困 窮 者 自 立 支 援 施	子 ど も の 貧 困 対 策	慮高 した た ま ち づ くり 施 策 等 に 配	そ の 他	無 回 答	
全	体 (N=835)	42.8	15.6	56.0	17.8	16.4	11.0	15.4	25.5	35.3	3.2	4.0	
年 代 別	10歳代 (n= 14)	57.1	7.1	42.9	14.3	7.1	14.3	21.4	42.9	14.3	7.1	0.0	
	20歳代 (n= 43)	60.5	16.3	44.2	18.6	11.6	7.0	14.0	30.2	23.3	7.0	0.0	
	30歳代 (n=116)	71.6	14.7	41.4	12.1	15.5	6.9	12.9	31.9	19.0	5.2	0.9	
	40歳代 (n=142)	50.7	19.0	56.3	18.3	14.1	14.1	16.2	23.9	33.8	3.5	1.4	
	50歳代 (n=155)	35.5	13.5	66.5	16.8	20.6	12.9	17.4	30.3	33.5	5.2	1.9	
	60歳代 (n=135)	37.0	16.3	53.3	21.5	22.2	13.3	11.9	25.2	43.7	1.5	4.4	
	70歳代 (n=131)	27.5	18.3	61.8	23.7	17.6	7.6	14.5	19.8	49.6	0.8	4.6	
	80歳以上 (n= 87)	26.4	9.2	60.9	12.6	5.7	12.6	18.4	14.9	39.1	1.1	16.1	
性 ・ 年 代 別	男 性	18～29歳 (n= 31)	67.7	9.7	38.7	25.8	9.7	12.9	16.1	25.8	16.1	9.7	0.0
		30～49歳 (n= 98)	67.3	22.4	43.9	15.3	18.4	8.2	21.4	30.6	22.4	3.1	0.0
		50～64歳 (n= 93)	40.9	16.1	65.6	20.4	18.3	11.8	14.0	26.9	35.5	3.2	2.2
		65歳以上 (n=116)	34.5	18.1	59.5	22.4	14.7	12.9	11.2	20.7	38.8	0.9	6.9
	女 性	18～29歳 (n= 26)	50.0	19.2	50.0	7.7	11.5	3.8	15.4	42.3	26.9	3.8	0.0
		30～49歳 (n=160)	55.6	13.8	53.1	15.6	12.5	12.5	10.6	25.6	30.0	5.0	1.9
		50～64歳 (n=136)	30.1	11.8	61.0	15.4	25.0	12.5	15.4	30.1	43.4	5.1	2.2
		65歳以上 (n=161)	28.0	14.3	59.0	19.3	13.7	9.9	19.3	18.6	45.3	0.6	9.3
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	46.3	17.9	53.7	16.4	10.4	14.9	14.9	25.4	20.9	3.0	9.0	
	若葉・調和 (n=110)	49.1	15.5	60.9	21.8	21.8	16.4	13.6	20.9	37.3	1.8	2.7	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	45.5	18.2	55.7	20.5	23.9	8.0	14.8	26.1	35.2	2.3	3.4	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	35.4	16.5	57.0	16.5	12.7	7.6	13.9	25.3	36.7	3.8	7.6	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	44.1	14.5	51.7	16.6	11.0	9.0	16.6	25.5	40.0	4.8	4.1	
	染地・杉森・布田 (n=101)	42.6	14.9	59.4	13.9	15.8	14.9	12.9	23.8	37.6	5.9	1.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	39.2	17.5	58.3	16.7	20.8	9.2	15.8	27.5	38.3	2.5	0.8	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	40.2	11.5	54.1	20.5	14.8	9.8	19.7	28.7	31.1	1.6	4.1	
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=116)	32.8	13.8	56.9	12.1	19.0	10.3	19.8	24.1	42.2	0.9	4.3	
	その他 (n=712)	44.8	16.0	55.9	18.7	16.2	11.1	14.6	26.0	34.3	3.7	3.7	

(4) 保健福祉施策（サービス）の充実のために重要だと思う取組（問33）

問33 調布市の保健福祉施策（サービス）をより充実していくために、あなたが重要と思う取組はどれですか。（3つまで○）

- 保健福祉施策（サービス）の充実のために重要だと思う取組は、**全体**では、「相談や情報提供体制の充実（46.2%）」が最も多く、「在宅サービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の質と量の確保（44.4%）」、「入所施設サービスの質と量の確保（34.9%）」が続いている。
- **年代別**にみると、10歳代で「ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援（35.7%）」、20歳代、30歳代、40歳代で「相談や情報提供体制の充実」、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上で「在宅サービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の質と量の確保」がそれぞれ最も多くなっている。
- **性・年代別**にみると、男性・18～29歳、男性・50～64歳、男性・65歳以上、女性・50～64歳、女性・65歳以上で「在宅サービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の質と量の確保」が最も多くなっている。男性・18～29歳は「民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化（32.3%）」も同率で最も多くなっている。また、男性・30～49歳、女性・18～29歳、女性・30～49歳で「相談や情報提供体制の充実」が最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、北ノ台・深大寺小学校地域、第二・八雲台・国領小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「在宅サービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の質と量の確保」が最も多く、それ以外の地域で「相談や情報提供体制の充実」が最も多くなっている。
- また、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で「ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援（19.4%）」、染地・杉森・布田小学校地域で「入所施設サービスの質と量の確保（42.6%）」、上ノ原・柏野小学校地域で「相談や情報提供体制の充実（53.4%）」と「在宅サービス（ホームヘルプサービス、デイサービスなど）の質と量の確保（52.3%）」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 2-69 保健福祉施策（サービス）の充実のために重要だと思う取組
（全体、年代別、性・年代別、福祉圏域別：複数回答（3つまで））

(%)

		相談や情報提供体制の充実	利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実	在宅サービス（ホームヘルプなど）の質と量の確保	入所施設サービスの質と量の確保	ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援	市民相互の助け合い・支え合い活動の活性化	民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化	市民・関連団体・行政の連携と協働の推進	市民への福祉意識の啓発	その他	無回答	
全	体 (N=835)	46.2	21.7	44.4	34.9	13.9	16.6	18.6	12.5	11.5	2.0	6.0	
年代別	10歳代 (n= 14)	21.4	28.6	14.3	21.4	35.7	28.6	14.3	7.1	28.6	7.1	7.1	
	20歳代 (n= 43)	34.9	27.9	27.9	18.6	11.6	20.9	27.9	11.6	11.6	4.7	2.3	
	30歳代 (n=116)	51.7	25.9	33.6	31.9	12.9	12.9	15.5	19.0	13.8	1.7	4.3	
	40歳代 (n=142)	52.8	20.4	45.1	31.0	13.4	12.0	25.4	11.3	9.9	1.4	4.2	
	50歳代 (n=155)	43.9	21.3	46.5	41.9	15.5	21.9	20.0	10.3	11.6	3.9	2.6	
	60歳代 (n=135)	45.9	22.2	49.6	40.7	16.3	17.0	15.6	13.3	10.4	0.0	4.4	
	70歳代 (n=131)	51.9	18.3	52.7	37.4	14.5	15.3	16.8	13.0	14.5	1.5	6.1	
	80歳以上 (n= 87)	33.3	18.4	48.3	33.3	6.9	13.8	11.5	8.0	5.7	2.3	19.5	
性・年代別	男性	18～29歳 (n= 31)	22.6	25.8	32.3	22.6	22.6	19.4	32.3	9.7	6.5	9.7	0.0
		30～49歳 (n= 98)	46.9	22.4	30.6	32.7	14.3	10.2	15.3	21.4	15.3	4.1	4.1
		50～64歳 (n= 93)	43.0	20.4	44.1	35.5	19.4	19.4	20.4	16.1	10.8	3.2	2.2
		65歳以上 (n=116)	43.1	21.6	52.6	33.6	15.5	17.2	20.7	12.1	9.5	2.6	9.5
	女性	18～29歳 (n= 26)	42.3	30.8	15.4	15.4	11.5	26.9	15.4	11.5	26.9	0.0	7.7
		30～49歳 (n=160)	55.6	23.1	45.6	30.6	12.5	13.8	24.4	10.6	9.4	0.0	4.4
		50～64歳 (n=136)	47.1	20.6	52.2	44.1	14.7	20.6	16.2	7.4	13.2	2.2	2.9
		65歳以上 (n=161)	45.3	19.3	47.8	40.4	9.3	14.3	11.8	11.8	10.6	0.6	10.6
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	41.8	23.9	35.8	20.9	19.4	16.4	17.9	16.4	9.0	3.0	11.9	
	若葉・調和 (n=110)	48.2	18.2	42.7	38.2	20.0	19.1	20.0	10.0	13.6	0.9	3.6	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	53.4	21.6	52.3	37.5	9.1	17.0	18.2	13.6	11.4	1.1	5.7	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	36.7	22.8	46.8	29.1	16.5	15.2	17.7	11.4	12.7	0.0	8.9	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	45.5	23.4	46.2	31.0	9.0	13.8	15.9	11.7	10.3	2.1	6.9	
	染地・杉森・布田 (n=101)	49.5	25.7	46.5	42.6	9.9	17.8	19.8	11.9	9.9	3.0	5.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	42.5	23.3	45.0	40.0	15.0	15.8	19.2	12.5	12.5	0.8	5.0	
第三・石原・飛田給 (n=122)	50.0	16.4	38.5	33.6	15.6	18.9	19.7	13.9	12.3	4.9	3.3		

(5) 介護者に必要な支援 (問 34)

問 34 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

- 介護者に必要な支援は、**全体**では、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり (50.8%)」が最も多く、「介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策 (48.5%)」, 「介護者に対する定期的な情報提供 (40.5%)」が続いている。
- **年代別**にみると, 10 歳代, 20 歳代, 30 歳代, 50 歳代, 60 歳代で「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」, 40 歳代で「介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策 (60.6%)」, 70 歳代と 80 歳以上で「介護者に対する定期的な情報提供」がそれぞれ最も多くなっている。
- **性・年代別**にみると, 男性・18～29 歳で「在宅介護者への手当 (54.8%)」, 男性・30～49 歳, 女性・18～29 歳で「介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策」, 男性・50～64 歳, 女性・30～49 歳, 女性・50～64 歳, 女性・65 歳以上で「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」, 男性・65 歳以上で「介護者に対する定期的な情報提供 (41.4%)」がそれぞれ最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると, 緑ヶ丘・滝坂小学校地域で「介護者に対する定期的な情報提供 (46.3%)」と「介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策 (46.3%)」, 北ノ台・深大寺小学校地域, 第三・石原・飛田給小学校地域, 染地・杉森・布田小学校地域, 第一・富士見台・多摩川小学校地域で「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」, 第二・八雲台・国領小学校地域, 若葉・調和小学校地域, 上ノ原・柏野小学校地域「介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策」がそれぞれ最も多くなっている。

II アンケート調査の結果

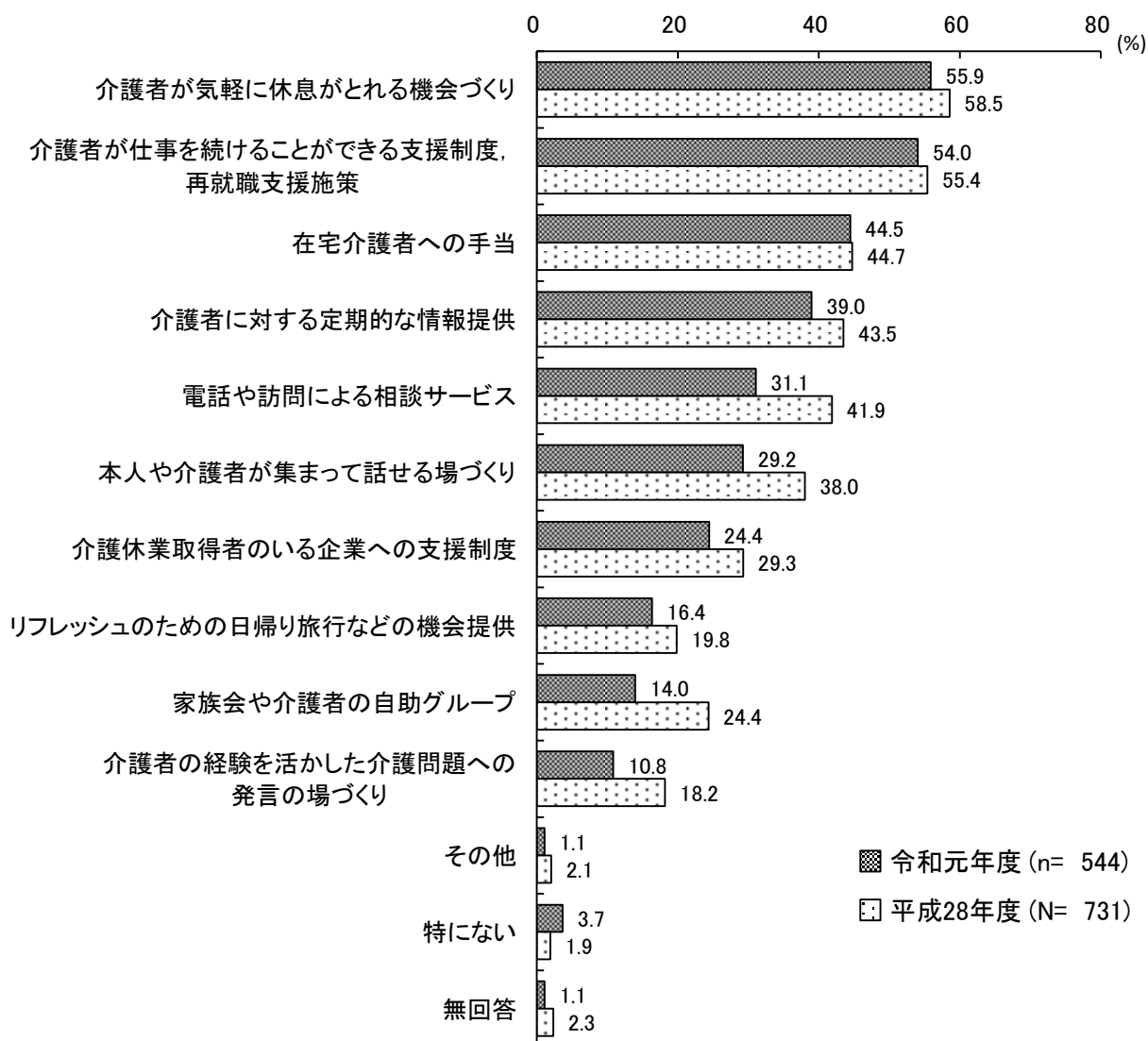
図表 2-70 介護者に必要な支援（全体、年代別、性・年代別、福祉圏域別：複数回答）

(%)

		介護者に対する定期的な情報提供	介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	リフレクシユのための日帰り旅行などの機会提供	電話や訪問による相談サービス	本人や介護者が集まって話せる場づくり	家族会や介護者の自助グループ	在宅介護者への手当	介護休業取得者のいる企業への支援制度	介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策	介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	その他	特にない	無回答	
全	体 (N=835)	40.5	50.8	15.1	30.9	28.1	12.7	38.3	19.8	48.5	12.8	1.4	4.7	4.2	
年代別	10歳代 (n=14)	14.3	50.0	28.6	28.6	35.7	14.3	50.0	28.6	50.0	0.0	0.0	7.1	0.0	
	20歳代 (n=43)	34.9	51.2	14.0	34.9	20.9	2.3	48.8	39.5	41.9	7.0	0.0	16.3	0.0	
	30歳代 (n=116)	33.6	59.5	20.7	27.6	25.9	14.7	44.8	25.9	53.4	12.1	0.9	3.4	1.7	
	40歳代 (n=142)	36.6	52.1	13.4	29.6	30.3	12.7	44.4	27.5	60.6	13.4	1.4	1.4	0.7	
	50歳代 (n=155)	47.7	57.4	13.5	35.5	31.6	18.1	43.2	20.0	54.8	9.7	1.3	2.6	0.6	
	60歳代 (n=135)	40.0	52.6	17.8	25.9	31.1	14.8	34.8	13.3	46.7	10.4	2.2	3.7	5.2	
	70歳代 (n=131)	48.1	42.0	15.3	41.2	26.7	11.5	29.0	13.0	46.6	21.4	3.1	5.3	2.3	
	80歳以上 (n=87)	39.1	36.8	5.7	19.5	23.0	4.6	25.3	9.2	21.8	12.6	0.0	10.3	21.8	
性・年代別	男性	18～29歳 (n=31)	25.8	51.6	19.4	35.5	19.4	3.2	54.8	29.0	35.5	3.2	0.0	16.1	0.0
		30～49歳 (n=98)	32.7	42.9	24.5	23.5	29.6	13.3	42.9	24.5	53.1	13.3	0.0	3.1	2.0
		50～64歳 (n=93)	45.2	53.8	15.1	32.3	33.3	12.9	43.0	25.8	52.7	8.6	1.1	2.2	1.1
		65歳以上 (n=116)	41.4	34.5	12.9	30.2	26.7	10.3	28.4	6.9	37.1	12.1	3.4	7.8	7.8
	女性	18～29歳 (n=26)	34.6	50.0	15.4	30.8	30.8	7.7	42.3	46.2	53.8	7.7	0.0	11.5	0.0
		30～49歳 (n=160)	36.9	63.1	11.9	31.9	27.5	13.8	45.6	28.1	60.0	12.5	1.9	1.9	0.6
		50～64歳 (n=136)	45.6	60.3	16.2	33.8	30.1	19.1	43.4	14.0	52.9	11.0	1.5	2.9	1.5
		65歳以上 (n=161)	44.7	46.6	11.8	31.1	26.7	10.6	26.1	14.3	39.8	19.3	1.2	6.2	10.6
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=67)	46.3	44.8	7.5	25.4	22.4	14.9	34.3	19.4	46.3	14.9	0.0	6.0	6.0	
	若葉・調和 (n=110)	38.2	49.1	20.0	32.7	33.6	11.8	50.0	26.4	55.5	12.7	0.0	3.6	2.7	
	上ノ原・柏野 (n=88)	47.7	51.1	21.6	34.1	30.7	15.9	30.7	25.0	58.0	10.2	2.3	2.3	5.7	
	北ノ台・深大寺 (n=79)	30.4	60.8	22.8	30.4	22.8	16.5	38.0	12.7	39.2	13.9	0.0	3.8	6.3	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	41.4	45.5	13.8	31.0	30.3	9.0	35.9	13.1	46.2	14.5	3.4	6.9	4.8	
	染地・杉森・布田 (n=101)	41.6	53.5	7.9	33.7	28.7	18.8	43.6	20.8	44.6	6.9	1.0	4.0	4.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	35.0	53.3	11.7	29.2	30.0	12.5	39.2	22.5	50.0	15.8	2.5	5.8	1.7	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	44.3	50.8	16.4	28.7	23.8	7.4	33.6	19.7	48.4	13.1	0.8	4.1	3.3	

- **経年**で比較すると、令和元年度は平成28年度と同様に、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり（55.9%）」が最も多く、「介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策（54.0%）」が続いている。また、令和元年度は平成28年度と比べ、「電話や訪問による相談サービス（31.1%）」と「家族会や介護者の自助グループ（14.0%）」が10ポイント以上低くなっている。

図表 2-71 介護者に必要な支援（全体：複数回答）【経年変化】



(6) 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと (問 35)

問 35 調布市の医療をよりよくするために何が重要だと思いますか。(いくつでも○)

- 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うことは、**全体**では、「地域の中で完結できる医療体制 (46.5%)」が最も多く、「救急医療の充実 (44.9%)」、「かかりつけ医の普及 (38.8%)」が続いている。
- **年代別**にみると、10 歳代で「健康に関する自己管理能力 (自律性) の向上 (50.0%)」、20 歳代、40 歳代、50 歳代で「地域の中で完結できる医療体制」、30 歳代、60 歳代で「救急医療の充実」、70 歳代、80 歳以上で「在宅医療の普及」がそれぞれ最も多くなっている。
- **性・年代別**にみると、男性・18～29 歳、男性・50～64 歳、女性・30～49 歳で「救急医療の充実」、男性・30～49 歳、女性・18～29 歳、女性・50～64 歳で「地域の中で完結できる医療体制」、男性・65 歳以上と女性・65 歳以上で「在宅医療の普及」がそれぞれ最も多くなっている。また、男性・65 歳以上は「かかりつけ医の普及 (44.8%)」も同率で最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、若葉・調和小学校地域、上ノ原・柏野小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「地域の中で完結できる医療体制」、北ノ台・深大寺小学校地域で「かかりつけ医の普及 (48.1%)」、第二・八雲台・国領小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域、染地・杉森・布田小学校地域で「救急医療の充実」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 2-72 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと（全体：複数回答）

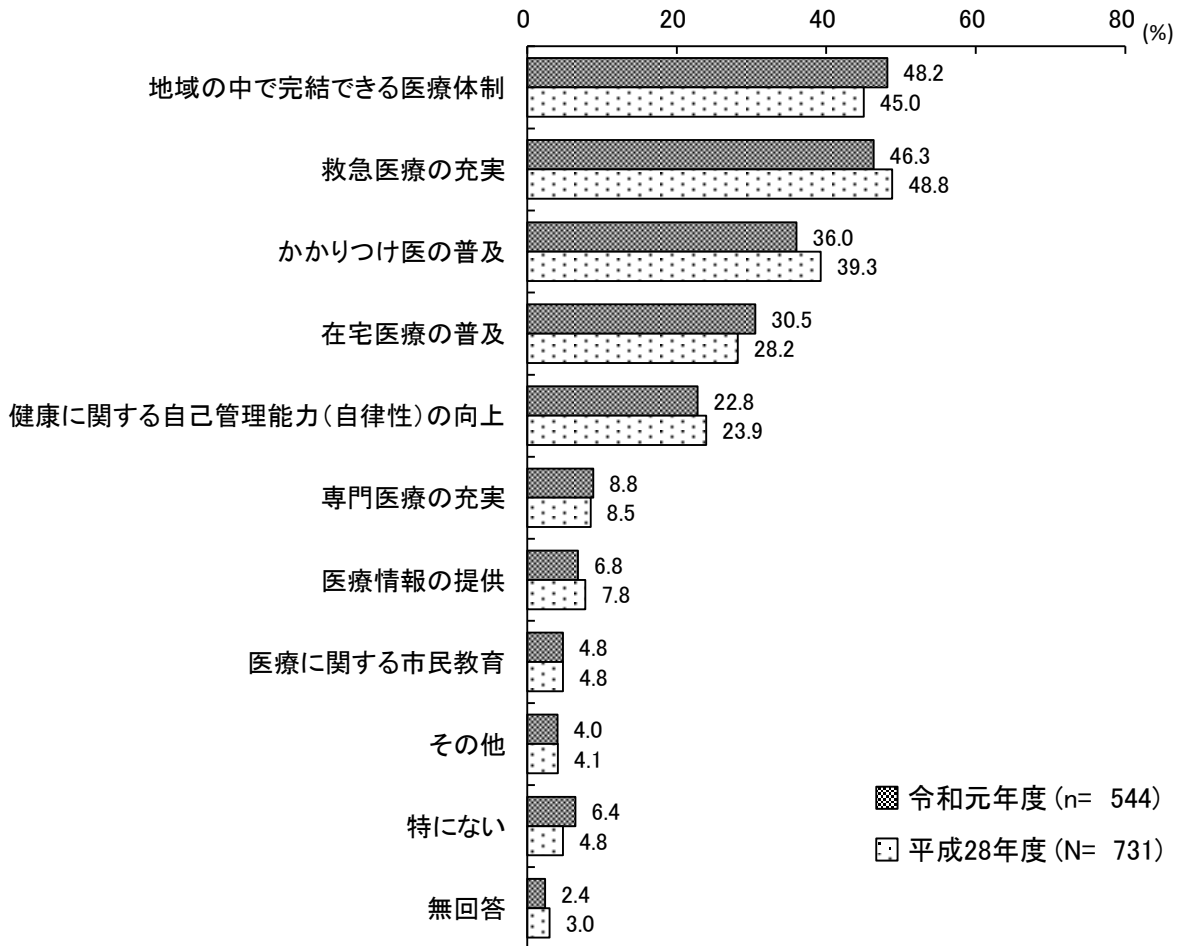
		(%)						
		医完地 療結域 体での 制き中 で	普在 及宅 医療 の	充救 実急 医療 の	医か かり の普 及 つ け	充専 実門 医療 の	提医 供療 情報 の	
全	体 (N=835)	46.5	36.8	44.9	38.8	9.9	6.5	
年 代 別	10歳代 (n= 14)	28.6	28.6	35.7	28.6	0.0	0.0	
	20歳代 (n= 43)	51.2	18.6	44.2	32.6	4.7	4.7	
	30歳代 (n=116)	45.7	18.1	47.4	27.6	7.8	4.3	
	40歳代 (n=142)	48.6	30.3	46.5	38.7	8.5	5.6	
	50歳代 (n=155)	51.0	36.8	44.5	38.1	9.0	9.0	
	60歳代 (n=135)	43.7	43.0	46.7	45.9	12.6	8.9	
	70歳代 (n=131)	48.1	50.4	43.5	46.6	11.5	5.3	
	80歳以上 (n= 87)	40.2	55.2	42.5	39.1	13.8	5.7	
性・ 年 代 別	男 性	18～29歳 (n= 31)	38.7	22.6	41.9	22.6	3.2	3.2
		30～49歳 (n= 98)	50.0	21.4	43.9	36.7	8.2	2.0
		50～64歳 (n= 93)	47.3	32.3	49.5	46.2	11.8	7.5
		65歳以上 (n=116)	44.0	44.8	44.0	44.8	10.3	6.9
	女 性	18～29歳 (n= 26)	53.8	19.2	42.3	42.3	3.8	3.8
		30～49歳 (n=160)	45.6	26.9	48.8	31.9	8.1	6.9
		50～64歳 (n=136)	51.5	44.1	44.9	35.3	10.3	11.0
		65歳以上 (n=161)	44.1	52.8	41.0	45.3	13.0	5.0
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	43.3	28.4	40.3	31.3	10.4	7.5	
	若葉・調和 (n=110)	52.7	41.8	43.6	39.1	13.6	8.2	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	54.5	43.2	44.3	47.7	15.9	9.1	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	43.0	40.5	45.6	48.1	7.6	6.3	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	42.8	33.8	44.1	41.4	6.2	3.4	
	染地・杉森・布田 (n=101)	44.6	35.6	50.5	34.7	9.9	9.9	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	46.7	35.8	40.0	35.8	6.7	5.0	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	45.1	34.4	50.8	34.4	11.5	4.9	

		る医 市療 民に 教関 育す	性能 力自 健 のへ 己に 向自 管関 上理 す	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全	体 (N=835)	4.6	24.7	3.1	6.0	3.4	
年 代 別	10歳代 (n= 14)	0.0	50.0	7.1	7.1	0.0	
	20歳代 (n= 43)	4.7	23.3	7.0	14.0	0.0	
	30歳代 (n=116)	3.4	19.8	2.6	11.2	2.6	
	40歳代 (n=142)	4.9	18.3	4.2	2.1	2.1	
	50歳代 (n=155)	3.2	22.6	3.9	5.8	3.2	
	60歳代 (n=135)	8.9	28.9	2.2	3.7	3.0	
	70歳代 (n=131)	4.6	28.2	2.3	4.6	3.1	
	80歳以上 (n= 87)	2.3	31.0	1.1	5.7	10.3	
性・ 年 代 別	男 性	18～29歳 (n= 31)	3.2	29.0	12.9	16.1	0.0
		30～49歳 (n= 98)	5.1	21.4	1.0	9.2	1.0
		50～64歳 (n= 93)	4.3	20.4	3.2	5.4	2.2
		65歳以上 (n=116)	2.6	25.0	1.7	6.0	4.3
	女 性	18～29歳 (n= 26)	3.8	30.8	0.0	7.7	0.0
		30～49歳 (n=160)	3.8	17.5	5.0	4.4	3.1
		50～64歳 (n=136)	6.6	28.7	4.4	5.1	3.7
		65歳以上 (n=161)	5.6	31.1	1.2	3.7	6.2
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 67)	1.5	23.9	0.0	6.0	4.5	
	若葉・調和 (n=110)	3.6	22.7	2.7	4.5	1.8	
	上ノ原・柏野 (n= 88)	5.7	25.0	0.0	2.3	3.4	
	北ノ台・深大寺 (n= 79)	10.1	27.8	2.5	7.6	2.5	
	第二・八雲台・国領 (n=145)	3.4	26.9	4.1	7.6	3.4	
	染地・杉森・布田 (n=101)	2.0	20.8	3.0	7.9	4.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=120)	3.3	27.5	6.7	5.8	4.2	
	第三・石原・飛田給 (n=122)	7.4	23.0	3.3	4.9	3.3	

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度は、順位の入替えはあるが、平成28年度と同様に、「地域の中で完結できる医療体制（48.2%）」と「救急医療の充実（46.3%）」が上位2位となっている。

図表 2-73 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと（全体：複数回答）【経年比較】



(7) 市への要望 (問 36)

問 36 最後に、地域づくりに必要なことや調布市の地域福祉施策についてのご要望・ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

○ 調布市の地域づくりに必要なことや調布市の地域福祉施策についての要望・意見を自由記述形式でたずねたところ、201件の回答があった。以下に主なものを掲載する。

① まち・環境について (50件)

- ・公園を増やしてほしいです。駅前の公園もなくなり、自宅から徒歩で行ける公園がほぼない。(女性, 30歳代)
- ・調布に生まれて育ったのですが、全体的には環境も良く住みやすいと思います。福祉, 医療, 防災等それぞれ少しずつ問題を解決していただければと思います。これからも住み続けたいです。頑張ってください。(男性, 40歳代)
- ・点字ブロックに自転車が置いてあり、必要としている人が困っているのを見かけます。スロープや段差をなくす等、整備を早急にしてほしいです。(女性, 50歳代)
- ・コンクリートで固めた街づくりを止めてほしい。自然を街に生かす工夫が必要。憩いが安らぎや安心を生むはず。生きるのが自然に思える街をめざすべきだと思う。(男性, 50歳代)
- ・道路, 特に歩道の段差をなくしてほしい。横断歩道と歩道とのわずかな段差で車椅子やベビーカーを押すのに、大変力がいらいます。また, もう少しキメの細かい舗装をしてほしい。(女性, 50歳代, 抜粋)

② 市の福祉施策・サービスについて (19件)

- ・少子化だからなのか, 調布市は子どもより高齢者を優遇した街づくりをしているように見える(自分の周りもその意見が多い)。(女性, 30歳代)
- ・福祉については, 本人しかわからないことがあるので, 高齢者, 障害者に聴くとよいと思います。(女性, 40歳代)
- ・ひとりで介護, 仕事, 自分の家庭と息つく間もなくやっていると, 精神をやられてしまいます。ひとりではない, 地域のここへ行けば話を聞いてくれるよ! などと, 声がけ合える地域をつくるため, どんどん発信していってほしいです。(女性, 50歳代)
- ・他の地域の成功事例などもどんどん取り入れて, 市民がお互いに助け合える, または市がそれを全力でサポートできる風通しの良い自治体にしてほしい。(男性, 50歳代)

③ 市の施策(福祉施策・サービス以外)について (17件)

- ・うつ病の妻を養っているのだが, 働けない若年層に対する補助制度が少な過ぎる。準備もできていない状況で養わなくてはいけなくなり, 自分の少ない収入では, 貯金もできず将来に不安を持っている。30才くらいで子どももほしいと考えていたが, 難しいだろう。(男性, 20歳代)

- ・無駄な支出を減らして、それを福祉や医療にまわせるようにしてほしい。将来性のない政策や個人で楽しむべきイベント等は、見直した上で新しい施策に支出をまわしてください。(男性, 50 歳代)
- ・水の民営化は絶対にやらないでください。輸入食品に頼るのではなく、日本の農作物を大切にしていくことが、市民の健康を守ることに繋がると思います。(女性, 30 歳代)

④ 災害について (14 件)

- ・災害時の情報発信に不安を感じます。インターネットが使えなくなった場合、使えない方々が情報を得られるよう、制度を整えていただければと思います。(女性, 30 歳代)
- ・台風の際、市内にペット可の避難所がないことに驚きました。早急に改善してほしい。(女性, 40 歳代)
- ・台風 19 号の経験をもとに、浸水対策等の施策を推進するべき。(男性, 40 歳代)

⑤ 健康・医療について (13 件)

- ・健康のために気軽にジムに行きたいが、市の運動施設が遠い。市内に複数トレーニング施設がいろんなエリアにあれば、近隣の人との交流ができるかもしれないし、健康的になると思う。(女性, 30 歳代)
- ・私の住む所には、医院がとても少ないと思います。高齢者になり歩く、バス、でもとても大変になります。(女性, 80 歳代)
- ・地域福祉施策にはならないかもしれませんが、子どものインフルエンザワクチンは公費にならないのですか？子どもは2回接種が基本となり、大人よりも費用がかかります。65 才以上の高齢者の方も大事でしょうが、子ども達にも同様の対応を望みます。(男性, 40 歳代)

⑥ 保育・子育て・教育について (12 件)

- ・子どもを持つ外国人へのサポートが不足しているように思う。情報が足りないと子どもが学校に行く機会を逃しかねない。また、日本人の子どもが参加できる行事の情報が伝わらず、参加できずにいる。(女性, 30 歳代, 抜粋)
- ・認可保育園が増えているのはありがたい。認証が少なく認可ばかりなので、情報が一元化されており、比較検討しやすい。(女性, 30 歳代)
- ・全て助け合って進むしかないと思います。お金の必要な人には渡るように、学校教育は現場をよく見て、子ども達をみんな元気で楽しくやれるよう、細かく指導する事が重要だと思います。(男性, 60 歳代)

⑦ 高齢者・介護・老後のことについて (12 件)

- ・各地域包括支援センター受け持ち区内の高齢単身者(希望者のみ)に、それぞれ単純回答(元気や、普通、具合悪いなどの例示で)の端末を配備し、毎日一定の時間に回答(ボタンを押すだけ)してもらって、安否確認をする方法を構築してほしい。(男性, 80 歳代)
- ・介護状態になる一歩手前で何とか介護状態にならないよう、啓発してもらい、活動できるようにしてもらいたい。介護のお世話になりたくない、と思いつつ何も

しない高齢者はたくさんいます。(女性, 50 歳代)

⑧ 地域活動・社会参加について (10 件)

- ・日中, 平日働いている人にも参加しやすいボランティア活動の案内, 家族で参加出来る活動など, 市報などで気軽な感じにご案内頂きたいなと思います。(女性, 40 歳代)
- ・何か貢献したいと思っていますが, 何となく時間が過ぎていってしまいます。(男性, 60 歳代)
- ・地域の中で, 「町会」「自治会」にこだわらない, 目的別の組織づくりができれば楽しいと思います。各々が「食事会」とか「日帰り旅行の会」など, 無数にできれば, 何かに将来大きなものに発展していくかもしれません。(女性, 60 歳代)

⑨ 情報について (10 件)

- ・普段仕事でほとんど家にいないせいか, 子どもがいないせいか, 地域情報が入ってこないです。広報誌も見ないで捨ててしまうことが多い。バスでのアナウンスは効果的だと思います。(女性, 40 歳代, 抜粋)
- ・ひきこもりや不登校, DV など家庭内でおきている問題は表面化しづらく, 孤立しやすい。孤立させないためのコミュニティはもちろん, 積極的な情報提供が大切。信頼できて利用しやすい Web サイトがあるとよいのでは? (女性, 50 歳代)
- ・街中にある掲示板など, 目に付きやすい所に相談窓口などのお知らせを頻繁に貼りだしたら良いと思う。広報は読みづらい, 開きにくい, 故に情報不足となる。(男性, 50 歳代)
- ・各種情報提供をいろいろな立場, 状況の人に確実に伝わるようにすることが重要。(男性, 50 歳代)

⑩ 近所づきあいについて (8 件)

- ・私も長く調布で賃貸暮らしですが, 地方の地元と比べ, やはり都会はなかなか地域のつながりや, 支え合いなどつくりにくいかなあと感じます。まずは, したい人, しても良い人などから地域の連携を取って, 楽しみながら横のつながりをつくっていったら良いのかなあと。そこに後から追いついてくる人が増えていくと願います。(女性, 50 歳代)
- ・調布にはまだ昔ながらの良い近隣のおつきあいが残っていると思うので, それを維持しつつ, 新しいことを足していくのが良いのではないかと考える。(女性, 50 歳代)
- ・近所に住んでいる人達の顔, 名前も知らず不安になる。せめてあいさつができるくらいは, 子ども達も含め推進してほしい。(女性, 60 歳代)
- ・マンション住まいであり, 近所付き合いはマンション内が主体 (理事会, 総会など)。町内会, 地域との交流は余りないのが実態と思われます。(男性, 60 歳代)

⑪ 障害のある人への対応について (8 件)

- ・災害時に障害者が避難できる場所がありません。特に精神疾患のある場合, 一般の避難所 (小学校等) ではパニックを起こす可能性があり, 自宅にとどまざるを得ません。人手不足であっても, せめて発達支援センターを避難先として確保し

てほしいです。全国的に福祉避難所は開設が遅れたりしがちです。緊急時に精神障害者が落ち着ける避難先が必要です。(女性, 40 歳代, 抜粋)

- ・教育にもっと力を入れてほしい。(発達障害児) (男性, 40 歳代)

⑫ 相談について (3 件)

- ・もっと利用しやすいように「先ず困ったらここへ」というような窓口を一つつけてほしい。入り口的な相談窓口を一つにして、そこから専門的なところを紹介してくれるようにしてほしい。(女性, 50 歳代, 抜粋)
- ・健康面, 生活面ですぐに相談でき, 対処して頂ける場所が必要です。何かあった時に素早く対処していただけるということは, 生活の安定につながります。(女性, 70 歳代)

⑬ 福祉意識について (3 件)

- ・年齢, 仕事で忙しく, 福祉については残念ながらまだまだ関心を持つことができませんでした。(女性, 20 歳代)
- ・地域が協力し合って安心して暮らせる環境や, 一人ひとりの意識が高まっていくような状態になるといい。(男性, 60 歳代)

⑭ アンケートについて (15 件)

- ・定期的に配布される広報誌にて, 調布市は福祉に力を入れている街と感じておりましたが, 実際に福祉サービスを利用したことないため, 上手く回答することができませんでした。(女性, 20 歳代)
- ・質問が多すぎる。(男性, 90 歳代)

⑮ その他 (7 件)

- ・氷河期世代 (ロスジェネ世代) を救済していただけますか? 身ひとつで転がり込める住居があれば良いのに…と。(女性, 40 歳代)